



## show コマンド

---

この章では、Cisco NX-OS ユニキャスト ルーティング **show** コマンドについて説明します。

# show bgp

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show bgp** コマンドを使用します。

```
show bgp {{ipv4 | ipv6}} {unicast | multicast} | all} [addr | prefix [longer-prefixes]] [vrf
vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>unicast</b>	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>multicast</b>	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>addr</b>	(任意) 選択したアドレス ファミリのネットワーク。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D、IPv6 の場合は A:B::C:D です。
<b>prefix</b>	(任意) 選択したアドレス ファミリのプレフィクス。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D/length、IPv6 の場合は A:B::C:D/length です。
<b>longer-prefixes</b>	(任意) プレフィクスとより詳しいルートを表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.2(1)	IPv6 アドレスおよびプレフィクスのサポートが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show bgp** コマンドは、BGP に関する情報を表示するために使用します。このコマンドにはライセンスが必要ありません。

## 例

次の例では、BGP テーブルのエントリを示します。

```
switch(config-router)# show bgp ipv6 unicast
BGP routing table information for VRF default, address family IPv6 Unicast
```

## | 関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear bgp</code>	BGP テーブルのエントリをクリアします。

# show bgp community

コミュニティと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show bgp community** コマンドを使用します。

```
show bgp {{ipv4 | ipv6} {unicast | multicast} | all} community [as-number] [internet]
[no-advertise] [no-export] [no-export-subconfed] [exact-match]} [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>unicast</b>	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>multicast</b>	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>as-number</b>	AS 番号。AS 番号は、<上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数> 形式の 16 ビットの整数または 32 ビットの整数です。
<b>internet</b>	(任意) インターネット コミュニティを表示します。
<b>no-advertise</b>	(任意) no-advertise コミュニティを表示します。
<b>no-export</b>	(任意) no-export コミュニティを表示します。
<b>no-export-subconfed</b>	(任意) no-export-subconfed コミュニティを表示します。
<b>exact-match</b>	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

ユーザ ロール  
 ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、コミュニティと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show bgp ip unicast community
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>ip community-list</code>	コミュニティリストを作成します。

# show bgp community-list

コミュニティリストと一致する BGP ルートを表示するには、**show bgp community-list** コマンドを使用します。

```
show bgp {{ipv4 | ipv6} {unicast | multicast} | all} community-list commlist-name
[exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>unicast</b>	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>multicast</b>	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<i>commlist-name</i>	コミュニティ リストの名前。 <b>commlist-name</b> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 任意のコマンド モード

**ユーザ ロール** ネットワーク 管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show bgp ip unicast community-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>ip community-list</code>	コミュニティリストを作成します。

# show bgp extcommunity

拡張コミュニティと一致する BGP ルートを表示するには、**show bgp extcommunity** コマンドを使用します。

```
show bgp {{ipv4 | ipv6} {unicast | multicast} | all} extcommunity generic {non-transitive
| transitive} [as4-number] [exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>unicast</b>	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>multicast</b>	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>generic</b>	汎用特定拡張コミュニティを照合するルートを表示します。
<b>non-transitive</b>	非推移的拡張コミュニティを照合するルートを表示します。
<b>transitive</b>	推移的拡張コミュニティを照合するルートを表示します。
<i>as4-number</i>	AS 番号。 <i>as4-number</i> は、プレーンテキスト整数または <上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数> の形式の 32 ビット整数です。
<b>exact-match</b>	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、拡張コミュニティと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show bgp ip unicast xtcommunity generic transitive 1.3:30
```



## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>ip extcommunity-list</code>	拡張コミュニティ リストを作成します。

# show bgp extcommunity-list

拡張コミュニティ リストと一致する BGP ルートを表示するには、**show bgp extcommunity-list** コマンドを使用します。

```
show bgp {{ipv4 | ipv6} {unicast | multicast} | all} extcommunity-list commlist-name
[exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>unicast</b>	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>multicast</b>	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<i>commlist-name</i>	拡張コミュニティ リストの名前。 <i>commlist-name</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 任意のコマンド モード

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show bgp ipv6 unicast extcommunity-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>ip extcommunity-list</code>	拡張コミュニティ リストを作成します。

# show bgp neighbors

BGP ネイバーを表示するには、**show bgp neighbors** コマンドを使用します。

```
show bgp {ip | ipv6} {unicast | multicast} neighbors [addr [advertised-routes |
flap-statistics | paths | received-routes | routes [advertised | dampened | received]] |
prefix] [vrf {all | vrf-name}]
```

## シンタックスの説明

<b>addr</b>	IPv4 アドレス。形式は、x.x.x.x です。
<b>ip</b>	IPv4 ネイバー情報を表示します。
<b>ipv6</b>	IPv6 ネイバー情報を表示します。
<b>unicast</b>	ユニキャスト ネイバー情報を表示します。
<b>multicast</b>	マルチキャスト ネイバー情報を表示します。
<b>advertised-routes</b>	(任意) このネイバーにアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
<b>flap-statistics</b>	(任意) このネイバーから受信されたルートのフラップ統計情報を表示します。
<b>paths</b>	(任意) このネイバーから取得された AS パスを表示します。
<b>received-routes</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
<b>routes</b>	(任意) このネイバーとの間で受信またはアドバタイズされたルートを表示します。
<b>advertised</b>	(任意) このネイバー用にアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
<b>dampened</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのダンプニングされたルートを表示します。
<b>received</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
<b>prefix</b>	(任意) IPv6 プレフィクス。形式は x.x.x.x/length です。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>all</b>	(任意) すべての VRFS を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.1(2)	<b>paths</b> キーワードが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、BGP ネイバーを表示します。

```
switch(config)# show bgp ip unicast neighbors
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<code>show ip bgp neighbors</code>	IPv4 BGP 情報を表示します。
<code>show ipv6 bgp neighbors</code>	IPv6 BGP 情報を表示します。

# show bgp sessions

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) セッションを表示するには、**show bgp sessions** コマンドを使用します。

**show bgp sessions** [*vrf vrf-name*]

シンタックスの説明	<i>vrf vrf-name</i> (任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。	
デフォルト	なし	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
ユーザ ロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ	
コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。	
例	次の例では、BGP セッションを表示します。	
	<pre>switch# show bgp sessions Total peers 0, established peers 0 ASN 33.33 VRF default, local ASN 33.33 peers 0, established peers 0, local router-id 192.168.1.222 State: I-Idle, A-Active, O-Open, E-Established, C-Closing, S-Shutdown Flaps LastUpDn LastRead LastWrit St Port(L/R)  Notif(S/R)</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	clear bgp	BGP セッションをクリアします。

# show forwarding

転送情報を表示するには、**show forwarding** コマンドを使用します。

```
show forwarding [ip | ipv4 | ipv6] {adjacency | interfaces | route | trace [clear] | table id
pss route} [module slot] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>ip</b>	(任意) IPv4 転送情報を表示します。
<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 転送情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 転送情報を表示します。
<b>adjacency</b>	隣接関係情報を表示します。
<b>interfaces</b>	モジュール上のインターフェイスの転送情報を表示します。
<b>route</b>	モジュール上のルートの転送情報を表示します。
<b>trace</b>	モジュール上の転送トレース バッファを表示します。
<b>clear</b>	(任意) モジュール上の転送トレース バッファをクリアします。
<b>table id</b>	ルート テーブルの転送情報を表示します。id の範囲は 0 ~ 2147483647 です。
<b>pss route</b>	永久ストレージからのルート情報を表示します。
<b>module slot</b>	(任意) モジュールに関する情報を表示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## コマンド モード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.1(2)	<b>trace</b> キーワードと <b>clear</b> キーワードが追加されました。
4.2(1)	<b>table pss route</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

モジュールで転送情報を表示するには、スーパーバイザで **show forwarding** コマンドを使用します。任意で **attach module** コマンドを使用してモジュールを接続し、モジュールで **show forwarding** コマンドを使用できます。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、モジュール 2 の転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show forwarding route module 2
```

```
IPv4 routes for table default/base
```

```
-----+-----+-----  
Prefix          | Next-hop      | Interface  
-----+-----+-----  
0.0.0.0/32      | Drop          | Null0  
255.255.255.255/32 | Receive      | sup-eth1
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show ip fib</b>	FIB に関する情報を表示します。



# show forwarding distribution

転送分散情報を表示するには、**show forwarding distribution** コマンドを使用します。

**show forwarding distribution [clients | fib-state]**

シンタックスの説明	<b>clients</b>	(任意) ユニキャストクライアントの転送分散情報を表示します。
	<b>fib-state</b>	(任意) ユニキャスト FIB の転送分散ステートを表示します。

コマンドモード すべて

ユーザ ロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、ユニキャストクライアントの転送情報を表示します。

```
switch# show forwarding distribution clients

id  pid  shmem-start  shmem-end  shmem-name
--  ---  -
1   3646  0x64f70120  0x64fc0000  u6rib-ufdm
2   3647  0x64b50120  0x64d50000  urib-ufdm
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ip fib distribution</b>	FIB に関する分散情報を表示します。

# show forwarding inconsistency

転送不一致チェッカーの結果を表示するには、**show forwarding inconsistency** コマンドを使用します。

**show forwarding inconsistency [ip | ipv4 | ipv6] [unicast] module slot [vrf vrf-name]**

シンタックスの説明	
<b>ip</b>	(任意) IPv4 転送不一致情報を表示します。
<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 転送不一致情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 転送不一致情報を表示します。
<b>unicast</b>	(任意) ユニキャスト ルートの転送不一致情報を表示します。
<b>module slot</b>	モジュールの不一致情報を表示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの不一致情報を表示します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

**コマンド モード**      すべて

**ユーザ ロール**      ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが追加されました。
	4.2(1)	ipv6 キーワードのサポートが追加されました。

**使用上のガイドライン**      **test forwarding inconsistency** コマンドの結果を表示するには、**show forwarding inconsistency** コマンドを使用します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例**      次の例では、モジュール 2 の転送不一致情報を示します。

```
switch# show forwarding inconsistency module 2
Consistency check : table_id(0x1) slot(2)
No inconsistent adjacencies.
No inconsistent routes.
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear forwarding inconsistency</b>	転送不一致チェッカーをクリアします。
<b>test forwarding inconsistency</b>	転送不一致チェッカーをトリガーします。

# show glbp

Gateway Load Balancing Protocol (GLBP) 情報を表示するには、**show glbp** コマンドを使用します。

**show glbp** [*interface type number*] [*group number*] [*state*] [*brief*] [*vrf vrf-name*]

シンタックスの説明	
<b>interface type number</b>	(任意) GLBP 情報を表示するインターフェイスを指定します。
<b>group number</b>	(任意) GLBP グループ番号を指定します。範囲は 0 ~ 1023 です。
<b>state</b>	(任意) GLBP ルータのステート。ステートは、 <b>active</b> 、 <b>disabled</b> 、 <b>init</b> 、 <b>listen</b> 、または <b>standby</b> です。
<b>brief</b>	(任意) 1 行の出力で各仮想ゲートウェイまたは仮想フォワーダの要約を示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。Cisco NX-OS Release 4.0(2) 以降のリリースでサポートされます。

コマンドモード すべて

ユーザ ロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
	4.0(2)	<b>vrf</b> キーワードのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン GLBP グループに関する情報を表示するには、**show glbp** コマンドを使用します。**brief** キーワードは、各仮想ゲートウェイまたは仮想フォワーダに関する情報を 1 行で表示します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、GLBP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show glbp

Ethernet2/1 - Group 10
  State is Active
    2 state changes, last state change 23:50:33
  Virtual IP address is 192.0.2.10
  Hello time 5 sec, hold time 18 sec
    Next hello sent in 4.300 secs
  Redirect time 600 sec, forwarder time-out 7200 sec
  Authentication MD5, key "ThisStringIsTheSecretKey"
  Preemption enabled, min delay 60 sec
  Active is local
```

```

Standby is unknown
Priority 254 (configured)
Weighting 105 (configured 110), thresholds: lower 95, upper 105
  Track object 2 state Down decrement 5
Load balancing: host-dependent
Group members:
  0016.C76C.85DC (7.199.10.1) local
There is 1 forwarder (1 active)
Forwarder 1
  State is Active
    1 state change, last state change 23:50:15
  MAC address is 0007.b400.0101 (default)
  Owner ID is 0005.0050.6c08
  Redirection enabled
  Preemption enabled, min delay 60 sec
  Active is local, weighting 105

```

次に、GLBP 情報の簡単な説明を表示する例を示します。

```
switch# show glbp brief
```

Interface	Grp	Fwd	Pri	State	Address	Active router	Standby router
Eth2/1	10	-	254	Active	192.0.2.10	local	unknown
Eth1/2	10	1	7	Active	0007.b400.0101	local	-

次に、GLBP インターフェイスおよびグループ番号を指定する例を示します。

```
switch# show glbp interface ethernet2/2 group 1
```

```

Ethernet2/2 - Group 1
State is Listen
  64 state changes, last state change 00:00:54
Virtual IP address is 10.1.0.7
Hello time 50 msec, hold time 200 msec
  Next hello sent in 0.030 secs
Redirect time 600 sec, forwarder time-out 14400 sec
Authentication text "authword"
Preemption enabled, min delay 0 sec
Active is 10.1.0.2, priority 105 (expires in 0.184 sec)
Standby is 10.1.0.3, priority 100 (expires in 0.176 sec)
Priority 96 (configured)
Weighting 100 (configured 100), thresholds: lower 95, upper 100
  Track object 1 state Up decrement 10
Load balancing: round-robin
Group members:
  0004.4d83.4801 (10.0.0.0)
  0010.7b5a.fa41 (10.0.0.1)
  00d0.bbd3.bc21 (10.0.0.2) local

```

表 1-1 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-1 show glbp フィールドの説明

フィールド	説明
Ethernet2/1 - Group	インターフェイス タイプおよびインターフェイスの GLBP グループ番号
State is	<p>仮想ゲートウェイのステート。仮想ゲートウェイの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Active</b> : ゲートウェイは AVG で、仮想 IP アドレスの Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 要求に応答します。</li> <li>• <b>Disabled</b> : 仮想 IP アドレスはまだ設定されていない、または学習されていませんが、別の GLBP 設定が存在します。</li> <li>• <b>Initial</b> : 仮想 IP アドレスは設定されている、または学習されていますが、仮想ゲートウェイの設定が完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスが設定されている必要があります。</li> <li>• <b>Listen</b> : 仮想ゲートウェイは hello パケットを受信し、アクティブまたはスタンバイ仮想ゲートウェイが使用できなくなった場合に <b>Speak</b> ステートに変更できます。</li> <li>• <b>Speak</b> : 仮想ゲートウェイはアクティブまたはスタンバイ仮想ゲートウェイになろうとします。</li> <li>• <b>Standby</b> : ゲートウェイは AVG になるラインの次です。</li> </ul> <p>仮想フォワーダの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Active</b> : ゲートウェイは AVF で、仮想フォワーダの MAC アドレスに送信されたパケットを転送します。</li> <li>• <b>Disabled</b> : 仮想 MAC アドレスが割り当てられていないか、学習されていません。Disabled ステートに変更した仮想フォワーダは削除されるので、このステートは移行ステートになります。</li> <li>• <b>Initial</b> : 仮想 MAC アドレスは既知ですが、仮想フォワーダの設定は完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスは設定されている必要があります。仮想 IP アドレスは既知でなければいけません。</li> <li>• <b>Listen</b> : 仮想フォワーダは hello パケットを受信し、AVF が使用できなくなった場合に <b>Active</b> ステートに変更できます。</li> </ul>
Virtual IP address is	GLBP グループの仮想 IP アドレス。すべてのセカンダリ仮想 IP アドレスは、1 行ごとに表示されます。仮想 IP アドレスが別のデバイスに設定されたアドレスと重複している場合、 <b>duplicate</b> としてマークされます。重複アドレスは、ルータが ARP キャッシュ エントリの保護に失敗したことを示します。
Hello time, hold time	hello タイムを示す hello パケットの間隔 (秒またはミリ秒単位)。ホールド時間は、他のルータがアクティブ ルータのダウンを宣言するまでの時間です (秒またはミリ秒単位)。GLBP グループのすべてのルータは現在の AVG の hello 時間値とホールド時間値を使用します。ローカルに設定された値が異なる場合、設定された値が hello 時間値とホールド時間値の後ろのカッコ内に表示されます。

表 1-1 show glbp フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Redirect time, forwarder time-out	スタンバイ仮想フォワーダへの AVF 移行のリダイレクトおよびタイムアウト時間。リダイレクト時間は、GLBP グループの AVG がクライアントをセカンダリ AVF にリダイレクトし続ける時間です。タイムアウトは、セカンダリ仮想フォワーダが使用できなくなるまでの時間です (秒単位)。
Preemption	GLBP ゲートウェイのプリエンプトがイネーブルであるかどうか。イネーブルの場合、最小遅延は、低プライオリティのアクティブ ルータをプリエンプトするまで、高プライオリティの非アクティブ ルータが待つ時間です (秒単位)。  このフィールドも、GLBP フォワーダのプリエンプトを示すフォワーダ セクションの下に表示されます。
Active is	仮想ゲートウェイの Active ステート。値は local、unknown、または IP address です。アドレス (およびアドレスの有効期限) は、現在の AVG のアドレスです。  このフィールドも、現在の AVF のアドレスを示すフォワーダ セクションの下に表示されます。
Standby is	仮想ゲートウェイの Standby ステート。値は local、unknown、または IP address です。アドレス (およびアドレスの有効期限) は、スタンバイ ゲートウェイのアドレスです (ゲートウェイは次に AVG になります)。
Weighting	高いしきい値と低いしきい値のある初期重み値
Track object	追跡対象オブジェクトのリストと対応するステート
Load balancing	GLBP グループに設定されたロード バランシング方式
Group members	このグループのメンバーであるゲートウェイのリスト
Forwarder	このグループのフォワーダのリスト

表 1-2 に、`show glbp brief` コマンド出力のフィールドに関する説明を示します。

表 1-2 show glbp brief フィールドの説明

フィールド	説明
Interface	インターフェイスのタイプと番号 インターフェイスの GLBP グループ番号
Grp	インターフェイスの GLBP グループ番号
Fwd	GLBP グループのフォワーダの数
Pri	このゲートウェイに設定されたプライオリティ
State is	<p>仮想ゲートウェイのステート。仮想ゲートウェイの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Active</b> : ゲートウェイは AVG で、仮想 IP アドレスの Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 要求に応答します。</li> <li>• <b>Disabled</b> : 仮想 IP アドレスはまだ設定されていない、または学習されていませんが、別の GLBP 設定が存在します。</li> <li>• <b>Initial</b> : 仮想 IP アドレスは設定されている、または学習されていますが、仮想ゲートウェイの設定が完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスが設定されている必要があります。</li> <li>• <b>Listen</b> : 仮想ゲートウェイは hello パケットを受信し、アクティブまたはスタンバイ仮想ゲートウェイが使用できなくなった場合に <b>Speak</b> ステートに変更できます。</li> <li>• <b>Speak</b> : 仮想ゲートウェイはアクティブまたはスタンバイ仮想ゲートウェイになろうとします。</li> <li>• <b>Standby</b> : ゲートウェイは AVG になるラインの次です。</li> </ul> <p>仮想フォワーダの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Active</b> : ゲートウェイは AVF で、仮想フォワーダの MAC アドレスに送信されたパケットを転送します。</li> <li>• <b>Disabled</b> : 仮想 MAC アドレスが割り当てられていないか、学習されていません。Disabled ステートに変更した仮想フォワーダは削除されるので、このステートは移行ステートになります。</li> <li>• <b>Initial</b> : 仮想 MAC アドレスは既知ですが、仮想フォワーダの設定は完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスは設定されている必要があります。仮想 IP アドレスは既知でなければいけません。</li> <li>• <b>Listen</b> : 仮想フォワーダは hello パケットを受信し、AVF が使用できなくなった場合に <b>Active</b> ステートに変更できます。</li> </ul>
Address	GLBP グループの仮想 IP アドレス。すべてのセカンダリ仮想 IP アドレスは、1 行ごとに表示されます。仮想 IP アドレスが別のデバイスに設定されたアドレスと重複している場合、 <b>duplicate</b> としてマークされます。重複アドレスは、ルータが ARP キャッシュ エントリの保護に失敗したことを示します。
Active router	AVG の IP アドレス
Standby router	スタンバイ仮想ゲートウェイの IP アドレス



## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>glbp ip</b>	GLBP をイネーブルにします。
<b>glbp timers</b>	hello メッセージの間隔と、他のルータによってアクティブ GLBP ルータのダウンが宣言されるまでの時間を設定します。
<b>glbp weighting track</b>	GLBP ゲートウェイの重みに影響する追跡対象オブジェクトを指定します。

# show glbp capability

Gateway Load Balancing Protocol (GLBP) をサポートするインターフェイスを表示するには、**show glbp capability** コマンドを使用します。

```
show glbp [interface type number] [port-channel number] [vlan number]
```

## シンタックスの説明

<b>interface type number</b>	(任意) 出力が表示されるインターフェイスを指定します。
<b>port-channel number</b>	(任意) 出力が表示されるポート チャンネルを指定します。
<b>vlan number</b>	(任意) 出力が表示される VLAN (仮想 LAN)

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

GLBP をサポートするインターフェイスを表示するには、**show glbp capability** コマンドを使用します。このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、GLBP をサポートするインターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show glbp capability
Nexus 7010 (10 Slot) Chassis * means interface may support GLBP
|
Interface                               Type | Potential Max Groups
-----|-----
Eth1/1 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth1/2 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/1 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/2 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/3 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/4 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/5 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/6 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/7 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/8 2 Gigabit Ethernet * 1024
mgmt0 5 Management Sup Port 0
Eth Inband Port 21 Inband Port 0
Eth Inband Port 21 Inband Port 0
Eth Inband Port 21 Inband Port 0
```

表 1-3 に、この出力に表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-3 show glbp capability フィールドの説明

フィールド	説明
Interface	インターフェイス名
Type	インターフェイス タイプ
GLBP support (  文字 で表示)	* は、インターフェイスが GLBP をサポートすることを示します。
Potential Max Groups	このインターフェイスによってサポートされるグループの最大数

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>glbp ip</b>	GLBP をイネーブルにします。
<b>glbp timers</b>	hello メッセージの間隔と、他のルータによってアクティブ GLBP ルータのダウンが宣言されるまでの時間を設定します。
<b>glbp weighting track</b>	GLBP ゲートウェイの重みに影響する追跡対象オブジェクトを指定します。

# show hardware forwarding dynamic-allocation status

FIB 内の Ternary Content Addressable Memory (TCAM) 割り当てに関する情報を表示するには、**show hardware forwarding dynamic-allocation status** コマンドを使用します。

## show hardware forwarding dynamic-allocation status

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードと引数はありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザ ロール**  
 ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** **show hardware forwarding dynamic-allocation status** コマンドは、1 つまたは複数のモジュールの TCAM 割り当てを表示するために使用します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次に、TCAM 割り当てを表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware forwarding dynamic-allocation status
slot 7
=====

Num 288 bit blocks : 1 (Same as default setting)
Num 144 bit blocks : 8 (Same as default setting)
Num 72 bit blocks : 7 (Same as default setting)

slot 12
=====

Num 288 bit blocks : 1 (Same as default setting)
Num 144 bit blocks : 7 (Different from default setting)
Num 72 bit blocks : 9 (Different from default setting)
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>hardware forwarding dynamic-allocation</b>	モジュールごとのダイナミック TCAM 割り当てを設定します。

# show hardware forwarding ip verify

IP パケット検証に関する情報を表示するには、**show hardware forwarding ip verify** コマンドを使用します。

## show hardware version ip verify

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**コマンド モード** すべて

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、IP パケット検証の設定を示します。

```
switch# show hardware forwarding ip verify
IPv4 and v6 IDS Checks      Status      Packets Failed
-----+-----+-----
address source broadcast    Enabled     0
address source multicast    Enabled     0
address destination zero    Enabled     0
address identical           Enabled     0
address source reserved     Enabled     0
address class-e             Disabled    0
checksum                     Enabled     0
protocol                     Enabled     0
fragment                     Enabled     0
length minimum              Enabled     0
length consistent            Enabled     0
length maximum max-frag     Enabled     0
length maximum udp          Disabled    0
length maximum max-tcp      Enabled     0
tcp flags                    Disabled    0
tcp tiny-frag               Enabled     0
version                      Enabled     0
-----+-----+-----
IPv6 IDS Checks             Status      Packets Failed
-----+-----+-----
length consistent            Enabled     0
length maximum max-frag     Enabled     0
length maximum udp          Disabled    0
length maximum max-tcp      Enabled     0
```

```
tcp tiny-frag          Enabled    0
version                Enabled    0
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>platform ip verify address</b>	アドレスに基づいて、IPv4 および IPv6 パケット検証チェックを設定します。
<b>platform ip verify length</b>	長さに基づいて、IPv4 パケット検証チェックを設定します。
<b>platform ipv6 verify</b>	IPv6 パケット検証チェックを設定します。

# show hsrp

Hot Standby Router Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル) グループごとの HSRP 情報を表示するには、**show hsrp** コマンドを使用します。

```
show hsrp [interface type number] [group group-number] [active | init | listen | standby]
[all] [brief] [detail] [ipv4 | ipv6]
```

## シンタックスの説明

<b>interface type number</b>	(任意) HSRP 情報を表示するインターフェイス タイプおよび番号を指定します。
<b>group group-number</b>	(任意) 情報を表示するインターフェイスの HSRP グループ番号を指定します。
<b>active</b>	(任意) Active ステートである HSRP グループを表示します。
<b>init</b>	(任意) Initialization ステートである HSRP グループを表示します。
<b>listen</b>	(任意) Listen ステートである HSRP グループを表示します。
<b>standby</b>	(任意) Standby ステートである HSRP グループを表示します。
<b>all</b>	(任意) すべての HSRP グループを表示します。
<b>brief</b>	(任意) 1 行の出力で各仮想ゲートウェイまたは仮想フォワーダの要約を示します。
<b>detail</b>	(任意) HSRP グループに関する詳細情報を表示します。
<b>ipv4</b>	(任意) HSRP IPv4 グループを表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) HSRP IPv6 グループを表示します。

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.1(2)	<b>ipv4</b> キーワードが追加されました。
4.2(1)	<b>detail</b> キーワードが追加されました。
5.0(2)	<b>ipv6</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

HSRP グループに関する情報を表示するには、**show hsrp** コマンドを使用します。**brief** キーワードは、各仮想ゲートウェイまたは仮想フォワーダに関する情報を 1 行で表示します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、HSRP 情報の概要を表示する例を示します。

```
switch# show hsrp brief
```



```
P indicates configured to preempt.  
|  
Interface Grp Prio P State Active addr Standby addr Group addr  
Et0/0 1 (V6) 100 Active local FE80:2::1 FE80::205:73FF:FEA0:1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature hsrp</b>	HSRP 機能をイネーブルにします。

# show hsrp bfd-sessions

HSRP bfd セッションを表示するには、**show hsrp bfd-sessions** コマンドを使用します。

## show hsrp bfd-sessions

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**コマンド モード** すべて

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** **show hsrp bfd-sessions** コマンドは、HSRP BFD セッションに関する情報を表示するために使用します。  
このコマンドにはライセンスは必要ありません。

# show hsrp delay

Hot Standby Router Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル) グループの遅延情報を表示するには、**show hsrp delay** コマンドを使用します。

```
show hsrp delay [interface type number] [group group-number] [all] [brief]
```

## シンタックスの説明

**interface** *type number* (任意) HSRP 情報を表示するインターフェイス タイプおよび番号を指定します。

**group** *group-number* (任意) 情報を表示するインターフェイスの HSRP グループ番号を指定します

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

HSRP グループの遅延情報を表示するには、**show hsrp delay** コマンドを使用します。  
このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、GLBP 遅延情報を表示する例を示します。

```
switch# show hsrp delay
```

# show hsrp summary

HSRP グループごとの HSRP サマリー情報を表示するには、**show hsrp summary** コマンドを使用します。

## show hsrp summary

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードと引数はありません。

**コマンドモード** すべて

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** **show hsrp summary** コマンドは、HSRP グループに関するサマリー情報を表示するために使用します。このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次に、HSRP 情報のサマリーを表示する例を示します。

```
switch# show hsrp summary

PHSRP Summary:
-----
Extended-hold (NSF) disabled

Total Groups: 1
  Version:: V1-IPV4: 1   V2-IPV4: 0
  State::   Active: 0   Standby: 0   Listen: 0

Total HSRP Enabled interfaces: 1

Total Packets:
  Tx - Pass: 0           Fail: 0
  Rx - Good: 0

Packet for unknown groups: 0

Total MTS: Rx: 142
-----
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>feature hsrp</code>	HSRP 機能をイネーブルにします。

# show ip adjacency

隣接情報を表示するには、**show ip adjacency** コマンドを使用します。

```
show ip adjacency [ip-addr | interface] [detail] [non-best] [statistics] [summary] [vrf
vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>ip-addr</i>	(任意) IPv4 送信元アドレス。形式は x.x.x.x です。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス。? を使用して サポートされている インターフェイス タイプを特定します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細な隣接関係情報を表示します。
<b>non-best</b>	(任意) 最適な、および最適でない隣接関係情報を表示します。
<b>statistics</b>	(任意) 隣接関係統計情報を表示します。
<b>summary</b>	(任意) 隣接関係情報のサマリーを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show ip adjacency {statistics | detail}** コマンドの出力内のカウンタ値は、スーパーバイザ モジュールのスイッチオーバー後に作成されます。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、隣接関係情報のサマリーを表示します。

```
switch# show ip adjacency summary
```

```
IP AM Table - Adjacency Summary
```

```
Static   : 1
Dynamic  : 22
Others   : 0
Total    : 23
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show forwarding adjacency</code>	転送隣接関係情報を表示します。

# show ip arp

Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 情報を表示するには、**show ip arp** コマンドを使用します。

```
show ip arp [ip-addr | interface] [client] [static] [statistics] [summary] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>ip-addr</i>	(任意) IPv4 送信元アドレス。形式は x.x.x.x です。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス。? を使用して サポートされている インターフェイス タイプを特定します。
<b>client</b>	(任意) ARP クライアント テーブルを表示します。
<b>static</b>	(任意) スタティック ARP エントリを表示します。
<b>statistics</b>	(任意) ARP 統計情報を表示します。
<b>summary</b>	(任意) ARP テーブルのサマリーを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、ARP テーブルのサマリーを表示します。

```
switch# show ip arp summary

IP ARP Table - Adjacency Summary

  Resolved   : 33
  Incomplete : 0
  Unknown    : 0
  Total      : 33
```



## | 関連コマンド

コマンド	説明
ip arp timeout	ARP を設定します。

# show ip as-path-access-list

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) の AS パス アクセス リストを表示するには、**show ip as-path-access-list** コマンドを使用します。

**show ip as-path-access-list** [*name*]

## シンタックスの説明

<i>name</i>	(任意) AS パス アクセス リストの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
-------------	--

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、AS パス アクセス リストを表示します。

```
switch# show ip as-path-access-list
ip as-path access-list Test1 permit "10.0.0.1"
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip as-path access-list</b>	AS パス アクセス リストを設定します。

# show ip bgp

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) テーブルのエントリを表示するには、**show ip bgp** コマンドを使用します。

```
show ip bgp [ip-addr | ip-prefix [longer-prefixes]] [received-paths] [regexp expression]
[route-map map-name] [summary] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>ip-addr</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのネットワーク。形式は x.x.x.x です。
<i>ip-prefix</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのプレフィクス。形式は x.x.x.x/length です。
<b>longer-prefixes</b>	(任意) プレフィクスとより詳しいルートを表示します。
<b>received-paths</b>	(任意) ソフトリコンフィギュレーション用に保存されたパスを表示します。
<b>regexp</b> <i>expression</i>	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
<b>route-map</b> <i>map-name</i>	(任意) ルート マップと一致するルートを表示します。マップ名は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>summary</b>	(任意) ルートのサマリーを表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、BGP ルート テーブルを表示します。

```
switch(config-router)# show ip bgp
BGP routing table information for VRF default, address family IPv4 Unicast
```

## ■ show ip bgp

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear ip bgp</code>	BGP ルート テーブルのエントリをクリアします。

# show ip bgp community-list

コミュニティ リストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ip bgp community-list** コマンドを使用します。

```
show ip bgp [ipv4 {unicast | multicast} | all] community-list commlist-name
[exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>unicast</b>	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>multicast</b>	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>community-list</b> <i>commlist-name</i>	コミュニティ リストと一致するルートを表示します。 <b>commlist-name</b> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip bgp community-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>ip community-list</code>	コミュニティ リストを作成します。

# show ip bgp dampening

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ダンプニング情報を表示するには、**show ip bgp dampening** コマンドを使用します。

```
show ip bgp [ipv4 {unicast | multicast} | all] dampening {dampened-paths [regex
expression] | flap-statistics | history-paths [regex expression] | parameters} [vrf
vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>unicast</b>	ユニキャストアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>multicast</b>	マルチキャストアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>dampened-paths</b>	ダンプニングされたパスをすべて表示します。
<b>regex expression</b>	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
<b>flap-statistics</b>	ルートの統計情報を表示します。
<b>history-paths</b>	履歴パスをすべて表示します。
<b>parameters</b>	ダンプニング パラメータをすべて表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、ダンプニング情報を表示します。

```
switch(config)# show ip bgp dampening dampened-paths
```

## ■ show ip bgp dampening

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show ipv6 bgp dampening</code>	BGP ダンプニング情報を表示します。



# show ip bgp extcommunity

拡張コミュニティと一致する BGP ルートを表示するには、**show ip bgp extcommunity** コマンドを使用します。

```
show ip bgp extcommunity generic {non-transitive | transitive} [as4-number]
[exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>generic</b>	汎用特定拡張コミュニティを照合するルートを表示します。
<b>non-transitive</b>	非推移的拡張コミュニティを照合するルートを表示します。
<b>transitive</b>	推移的拡張コミュニティを照合するルートを表示します。
<b>as4-number</b>	AS 番号。as4-number は、プレーンテキスト整数または <上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数> の形式の 32 ビット整数です。
<b>exact-match</b>	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、拡張コミュニティと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip bgp extcommunity generic transitive 1.3:30
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip extcommunity-list</b>	拡張コミュニティ リストを作成します。

# show ip bgp extcommunity-list

拡張コミュニティ リストと一致する BGP ルートを表示するには、**show ip bgp extcommunity-list** コマンドを使用します。

```
show ip bgp extcommunity-list commlist-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b><i>commlist-name</i></b>	拡張コミュニティ リストの名前。 <b><i>commlist-name</i></b> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。
<b>vrf <i>vrf-name</i></b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip bgp extcommunity-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip extcommunity-list</b>	拡張コミュニティ リストを作成します。

# show ip bgp filter-list

フィルタ リストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ip bgp filter-list** コマンドを使用します。

```
show ip bgp filter-list list-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>list-name</b>	フィルタ リストの名前。commlist-name は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、フィルタ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip bgp filter-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ipv6 bgp filter-list</b>	フィルタ リストと一致する BGP ルートを表示します。

# show ip bgp flap-statistics

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) フラップ統計情報を表示するには、**show ip bgp flap-statistics** コマンドを使用します。

**show ip bgp flap-statistics** [*prefix*] [*vrf vrf-name*]

## シンタックスの説明

<i>prefix</i>	(任意) IPv6 プレフィクス。形式は <i>x.x.x.x/length</i> です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、フラップ統計情報を表示します。

```
switch(config)# show ip bgp flap-statistics
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ipv6 bgp</b>	BGP 情報を表示します。

# show ip bgp history-paths

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) 履歴パスを表示するには、**show ip bgp history-paths** コマンドを使用します。

```
show ip bgp [ipv4 {unicast | multicast} | all] history-paths [regexp expression] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>unicast</b>	ユニキャストアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>multicast</b>	マルチキャストアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<b>regexp <i>expression</i></b>	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
<b>vrf <i>vrf-name</i></b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、BGP 履歴パス情報を表示します。

```
switch(config)# show ip bgp history-paths
```

## ■ show ip bgp history-paths

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show ipv6 bgp history-paths</code>	BGP 履歴パス情報を表示します。

# show ip bgp neighbors

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネイバーを表示するには、**show ip bgp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ip bgp neighbors [ addr [advertised-routes | flap-statistics | paths | received-routes
| routes [advertised | dampened | received]] | prefix] [vrf { all | vrf-name}]
```

## シンタックスの説明

<b>addr</b>	IPv4 アドレス。形式は、x.x.x.x です。
<b>advertised-routes</b>	(任意) このネイバーにアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
<b>es</b>	
<b>flap-statistics</b>	(任意) このネイバーから受信されたルートのフラップ統計情報を表示します。
<b>パス</b>	(任意) このネイバーから取得された AS パスを表示します。
<b>received-routes</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
<b>routes</b>	(任意) このネイバーとの間で受信またはアドバタイズされたルートを表示します。
<b>advertised</b>	(任意) このネイバー用にアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
<b>dampened</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのダンプニングされたルートを表示します。
<b>received</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
<b>prefix</b>	(任意) IPv6 プレフィクス。形式は x.x.x.x/length です。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>all</b>	(任意) すべての VRFS を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.1(2)	<b>paths</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## ■ show ip bgp neighbors

---

例

次の例では、BGP ネイバーを表示します。

```
switch(config)# show ip bgp neighbors
```

---

関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ipv6 bgp neighbors</b>	BGP 情報を表示します。

---



# show ip bgp nexthop

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ情報を表示するには、**show ip bgp nexthop** コマンドを使用します。

```
show ip bgp nexthop addr [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	<i>addr</i>	IPv4 アドレス。形式は、x.x.x.x です。
	<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

ユーザ ロール  
ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP ネクストホップ情報を表示します。  

```
switch(config)# show ip bgp nexthop 192.0.2.1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ipv6 bgp nexthop</b>	BGP 情報を表示します。

# show ip bgp nexthop-database

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ データベースを表示するには、**show ip bgp nexthop-database** コマンドを使用します。

**show ip bgp nexthop-database [vrf vrf-name]**

## シンタックスの説明

**vrf vrf-name** (任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、BGP ネクストホップ データベースを表示します。

```
switch(config)# show ip bgp nexthop-database
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ipv6 bgp nexthop-database</b>	BGP 情報を表示します。

# show ip bgp peer-policy

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ピア ポリシー テンプレート情報を表示するには、**show ip bgp peer-policy** コマンドを使用します。

**show ip bgp peer-policy name**

## シンタックスの説明

<i>name</i>	BGP テンプレートの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
-------------	---

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、BGP ピア ポリシーを表示します。

```
switch(config)# show ip bgp peer-policy test1
Commands configured in this template:
  Send Community
  Suppress Inactive
  Default Originate - route-map:
Inherited commands:
Inherited by the following peers:
  VRF default: 192.0.2.3
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>inherit peer-policy</b>	ネイバーのピア ポリシー テンプレートを継承します。
<b>template peer-policy</b>	ピア ポリシー テンプレートを設定します。

# show ip bgp peer-session

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ピア セッション テンプレート情報を表示するには、**show ip bgp peer-session** コマンドを使用します。

**show ip bgp peer-session** *name*

## シンタックスの説明

<i>name</i>	BGP テンプレートの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
-------------	---

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、BGP ピア セッションを表示します。

```
switch(config)# show ip bgp peer-session test1
Commands configured in this template:
  Update Source - interface: Vlan33
  EBGp Multihop - hop limit: 33
Inherited commands:
Inherited by the following peers:
  VRF default: 192.0.2.3
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>inherit peer-session</b>	ネイバーのピアセッションテンプレートを継承します。
<b>template peer-session</b>	ピアセッションテンプレートを設定します。

# show ip bgp peer-template

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ピア テンプレート情報を表示するには、**show ip bgp peer-template** コマンドを使用します。

**show ip bgp peer-template** *name*

## シンタックスの説明

<i>name</i>	BGP テンプレートの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
-------------	---

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、BGP ピア テンプレートを表示します。

```
switch(config)# show ip bgp peer-template peer1
BGP peer-template is peer1
  Connected check is disabled
  Hold time = 0, keepalive interval is 0 seconds
```

```
Message statistics:
                Sent                Rcvd
Opens:          0                    0
Notifications: 0                    0
Updates:        0                    0
Keepalives:     0                    0
Route Refresh:  0                    0
Capability:     0                    0
Total:          0                    0
Total bytes:    0                    0
Bytes in queue: 0                    0
```

```
Members of peer-template peer1:
default:192.0.2.3
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>inherit peer-template</b>	ネイバーのピア テンプレートを継承します。
<b>template peer</b>	ピア テンプレートを設定します。

# show ip bgp prefix-list

プレフィクスリストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ip bgp prefix-list** コマンドを使用します。

**show ip bgp prefix-list** *list-name* [**exact-match**] [**vrf** *vrf-name*]

<b>シンタックスの説明</b>	<b>list-name</b>	プレフィクスリストの名前。commlist-name は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
	<b>exact-match</b>	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
	<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

<b>コマンドの履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、プレフィクスリストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip bgp prefix-list test1
```

<b>関連コマンド</b>	<b>コマンド</b>	<b>説明</b>
	<b>show ipv6 bgp prefix-list</b>	プレフィクスリストと一致する BGP ルートを表示します。

# show ip client

内部 IP クライアントに関する情報を表示するには、**show ip client** コマンドを使用します。

**show ip client** [*name*]

<b>シンタックスの説明</b>	<i>name</i> (任意) クライアントの名前
------------------	----------------------------

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンドモード</b>	任意のコマンドモード
----------------	------------

<b>ユーザロール</b>	ネットワーク管理者 ネットワークオペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
---------------	--

<b>コマンドの履歴</b>	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

<b>使用上のガイドライン</b>	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

<b>例</b>	次の例では、ARP の IP クライアント情報を表示します。 <pre>switch(config)# show ip client arp</pre> Client: arp, uuid: 268, pid: 3687, extended pid: 3687 Protocol: (none), client-index: 2, routing VRF id: 255 Data MTS-SAP: 0 Data messages, send successful: 33, failed: 0
----------	--

<b>関連コマンド</b>	コマンド	説明
	<b>show ip process</b>	IP プロセスに関する情報を表示します。



# show ip community-list

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のコミュニティ リストを表示するには、**show ip community-list** コマンドを使用します。

**show ip community-list** [*name*]

## シンタックスの説明

<i>name</i>	(任意) コミュニティ リストの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
-------------	--

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、コミュニティ リストを表示します。

```
switch(config)# show ip community-list
Standard Community List test2
  permit internet local-AS
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip community-list</b>	BGP コミュニティ リストを設定します。

# show ip eigrp

Enhanced IGRP (EIGRP) プロセスのサマリーを表示するには、**show ip eigrp** コマンドを使用します。

**show ip eigrp** [*instance-tag*]

シンタックスの説明	<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
デフォルト	なし	
コマンドモード	すべて	
ユーザ ロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者	
コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。	

## 例

次の例では、すべての EIGRP インスタンスを表示します。

```
switch# show ip eigrp
IP-EIGRP AS 0 ID 0.0.0.0 VRF default
  Process-tag: Test1
  Status: shutdown
  Authentication mode: none
  Authentication key-chain: none
  Metric weights: K1=1 K2=0 K3=1 K4=0 K5=0
  IP proto: 88 Multicast group: 224.0.0.10
  Int distance: 90 Ext distance: 170
  Max paths: 8
  Number of EIGRP interfaces: 0 (0 loopbacks)
  Number of EIGRP peers: 0
IP-EIGRP AS 0 ID 0.0.0.0 VRF default
  Process-tag: Test2
  Status: shutdown
  Authentication mode: none
  Authentication key-chain: none
  Metric weights: K1=1 K2=0 K3=1 K4=0 K5=0
  IP proto: 88 Multicast group: 224.0.0.10
  Int distance: 90 Ext distance: 170
  Max paths: 8
  Number of EIGRP interfaces: 0 (0 loopbacks)
  Number of EIGRP peers: 0
```

```
Stub-Routing: Disabled
NSF converge time limit/expiries: 120/0
NSF route-hold time limit/expiries: 240/0
NSF signal time limit/expiries: 20/0
Redistributed max-prefix: Disabled
BFD is enabled
```

# show ip eigrp accounting

Enhanced IGRP (EIGRP) プロセスのプレフィクス アカウンティング情報を表示するには、**show ip eigrp accounting** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] accounting [vrf {vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。このオプションは、VRF インスタンスが指定されていない場合に使用できます。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、EIGRP アカウンティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp accounting
```

```
IP-EIGRP accounting for AS(100)/ID(192.0.2.1) vrf RED
Total Prefix Count: 4
States: A-Adjacency, P-Pending, D-Down
```

State	Address/Source	Interface	Prefix Count	Restart Count	Restart/Reset (s)
P	Redistributed	----	0	3	211
A	192.0.2.2	e2/1	2	0	84
P	192.0.2.4	e3/3	0	2	114
D	192.0.2.3	e4/1	0	3	0

表 1-4 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-4 show ip eigrp accounting フィールドの説明

フィールド	説明
IP-EIGRP accounting for AS...	EIGRP インスタンス、AS 番号、ルータ ID、および ID
Total Prefix Count:	EIGRP インスタンス トポロジ テーブル内のプレフィクスを合計します。カウントには、すべてのネイバーまたは再配布から学習したプレフィクスが含まれます。
States : A-Adjacency、P-Pending、D-Down	<p><b>A-Adjacency</b> : ネイバーとの安定した隣接関係または通常の再配布ステートを示します。</p> <p><b>P-Pending</b> : プレフィクスの上限を超えたため、ネイバーとの隣接関係または再配布が中断されているか、ペナルティを課された状態になっています。</p> <p><b>D-Down</b> : <b>clear route</b> コマンドを使用した手動リセットが実行されるまで、ネイバーとの隣接関係または再配布が中断されています。</p>
Address/Source	再配布送信元のピア IP アドレス
Prefix Count	送信元別の取得されたプレフィクスの総数。 <b>(注)</b> ルートは複数の送信元からの同じプレフィクスとして取得できます。また、このコラム内のすべてのプレフィクス カウントの合計が、「Prefix Count」フィールドに表示された数値を上回る場合があります。
Restart Count	ルート送信元が最大プレフィクス制限を超えた回数
Restart Reset(s)	ルート送信元が P (penalized) ステートである時間 (秒単位)。ルート送信元が A (安定または通常の) ステートである場合、表示された時間は penalization 履歴がリセットされるまでの時間になります (秒単位)。

# show ip eigrp interfaces

Enhanced IGRP (EIGRP) に設定されたインターフェイスに関する情報を表示するには、**show ip eigrp interfaces** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] interfaces [type instance] [brief] [vrf {vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<i>instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス  <i>instance</i> を指定すると、ネイバーテーブルからこのインターフェイスを介して学習されたエントリをすべて削除します。  <i>instance</i> 引数の構文は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>物理インターフェイス インスタンス。名前の表記は <i>slot/port</i> で、値間のスラッシュ記号は表記の一部として必要です。</li> <li>仮想インターフェイス インスタンス。番号の範囲はインターフェイス タイプによって異なります。</li> </ul> ルータ構文の詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<b>brief</b>	(任意) EIGRP インターフェイス情報の簡単な説明を表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

## デフォルト

VRF またはインターフェイスが指定されていない場合、このコマンドはデフォルトの VRF のすべてのインターフェイスを表示します。

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.0(3)	<b>brief</b> キーワードが追加されました。

**使用上のガイドライン**

どのインターフェイス EIGRP がアクティブであり、インターフェイスに関連した EIGRP の情報を学習するかを決定するには、**show ip eigrp interfaces** コマンドを使用します。

インターフェイスを指定すると、そのインターフェイスのみが表示されます。指定しないと、EIGRP が稼動するすべてのインターフェイスが表示されます。

Autonomous System (AS; 自律システム) を指定すると、指定された AS のルーティング システムのみが表示されます。指定しないと、すべての EIGRP プロセスが表示されます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例**

次に、EIGRP インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp interfaces brief
```

```
IP EIGRP interfaces for process 1 vrf default
```

Interface	Peers	Xmit Queue Un/Reliable	Mean SRTT	Pacing Time Un/Reliable	Multicast Flow Timer	Pending Routes
e2/2	0	0/0	0	11/434	0	0
e2/20	1	0/0	337	0/10	0	0
e4/2	1	0/0	10	1/63	103	0
e3/2	1	0/0	330	0/16	0	0

```
switch#
```

表 1-5 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-5 show ip eigrp interfaces フィールドの説明**

フィールド	説明
Interface	EIGRP が設定されているインターフェイス
Peers	直接接続された EIGRP ネイバーの数
Xmit Queue Un/Reliable	信頼できない、または信頼できる送信キューにあるパケットの数
Mean SRTT	平均 smoothed round-trip time (SRTT) インターバル (ミリ秒単位)
Pacing Time Un/Reliable	EIGRP パケット (信頼できない、または信頼できるパケット) をインターフェイスに送信するときを決定するペーシング時間
Multicast Flow Timer	ルータがマルチキャスト EIGRP パケットを送信する最大秒数
Pending Routes	送信されるのを待っている、送信キュー内のパケット内のルート数

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show ip eigrp neighbors</b>	EIGRP が検出したネイバーを表示します。

# show ip eigrp neighbors

Enhanced IGRP (EIGRP) によって検出されたネイバーの情報を表示するには、**show ip eigrp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] neighbors [detail] [interface-type interface-instance] [static]
[vrf {vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>detail</b>	(任意) 詳細な EIGRP ネイバー情報を表示します。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<i>interface-instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス  <i>instance</i> を指定すると、ネイバーテーブルからこのインターフェイスを介して学習されたエントリをすべて削除します。  <i>instance</i> 引数の構文は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>物理インターフェイス インスタンス。名前の表記は <i>slot/port</i> で、値の間のスラッシュ記号は表記の一部として必要です。</li> <li>仮想インターフェイス インスタンス。番号の範囲はインターフェイス タイプによって異なります。</li> </ul> ルータ構文の詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<b>static</b>	(任意) スタティック EIGRP インターフェイス情報を表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

## デフォルト

VRF またはインターフェイスが指定されていない場合、このコマンドはすべてのインターフェイス上のデフォルト VRF に関するすべてのネイバーを表示します。

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。



## 使用上のガイドライン

ネイバーがアクティブになる、また非アクティブになるときを決定するには、**show ip eigrp neighbors** コマンドを使用します。このコマンドは、特定の転送問題のデバッグにも役立ちます。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、EIGRP ネイバーに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp neighbors

IP-EIGRP Neighbors for process 77 vrf default

Address                Interface      Holdtime  Uptime    Q      Seq  SRTT  RTO
                   (secs)      (h:m:s)  Count    Num   (ms)  (ms)
-----
192.0.2.28             e1/3          13        0:00:41  0      11    4      20
192.0.2.2              e4/4          14        0:02:01  0      10   12      24

switch#
```

表 1-6 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-6 show ip eigrp neighbors フィールドの説明

フィールド	説明
process	ルータ コンフィギュレーション コマンドで指定された Autonomous System (AS; 自律システム) 番号
vrf	VRF 名
Address	EIGRP ピアの IP アドレス
Interface	ルータがピアから hello パケットを受信するインターフェイス
Holdtime	ピアがダウンしていると宣言するまでに、Cisco NX-OS ソフトウェア がピアからの受信を待機する時間 (秒単位)
Uptime	ローカル ルータがこのネイバーから最初に受信して以降の経過時間 (時分秒単位)
Q Count	ソフトウェアが送信を待機する EIGRP パケット (アップデート、クエリー、および応答) の数
Seq Num	このネイバーから受信した最後のアップデート、クエリー、または応答パケットのシーケンス番号
SRTT	smoothed round-trip time (SRTT)。このフィールドは、EIGRP パケットをこのネイバーに送信し、ローカル ルータがパケットの acknowledgment (ACK; 確認応答) を受信するのに必要なミリ秒数を示します。
RTO	再送信タイムアウト (ミリ秒単位)。このフィールドは、再送信キューからパケットをネイバーに再送信するまでソフトウェアが待機する時間を示します。

次に、EIGRP ネイバーに関する詳細な情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp neighbors detail

IP-EIGRP neighbors for AS 1 vrf default

H  Address                Interface      Hold Uptime    SRTT  RTO  Q  Seq
```

## ■ show ip eigrp neighbors

```

0    192.0.2.10          e1/5          (sec)      (ms)      Cnt Num
      14 01:00:52      3      200  0 10

      Version 12.4/1.2, Retrans: 0, Retries: 0, Prefixes: 3

switch#

```

表 1-7 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-7 show ip eigrp neighbors detail フィールドの説明**

フィールド	説明
Version	ノードおよびネイバーで稼動する EIGRP ソフトウェアのバージョン
Retrans:	このネイバーへの再送信の数
Retries:	最後の ACK 以降の、このネイバーへの再送信の数
Prefixes	このネイバーから学習したプレフィックスの数

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>clear ip eigrp neighbors</b>	EIGRP のネイバーをクリアします。

# show ip eigrp policy statistics

EIGRP のポリシー統計情報を表示するには、任意のモードで **show ip eigrp policy statistics** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis
id | ospf id | rip id | static} [vrf {vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>bgp</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
<b>direct</b>	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
<b>eigrp</b>	EIGRP のポリシー統計情報を表示します。
<b>isis</b>	IS-IS ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<b>ospf</b>	OSPF プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<b>rip</b>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>id</i>	<p><b>bgp</b> キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p><b>eigrp</b> キーワードは、ルートの再配布元である EIGRP インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p><b>isis</b> キーワードは、ルートの再配布元である IS-IS インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p><b>ospf</b> キーワードは、ルートの再配布元である OSPF インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p>
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

デフォルト なし

コマンド モード すべて

ユーザ ロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## ■ show ip eigrp policy statistics

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.0(13)	このコマンドは削除され、 <b>show ip eigrp route-map statistics</b> コマンドに置き換えられました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、EIGRP のポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip eigrp policy statistics redistribute direct
C: No. of comparisons, M: No. of matches

route-map rmap1 permit 1

Total accept count for policy: 10
Total reject count for policy: 0
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear ip eigrp policy statistics</b>	EIGRP のポリシー統計情報をクリアします。
<b>show ip eigrp traffic</b>	EIGRP トラフィック統計情報を表示します。

# show ip eigrp route-map statistics

Enhanced IGRP (EIGRP) のルート再配布統計情報を表示するには、任意のモードで **show ip eigrp route-map statistics** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] [route-map statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id
| isis id | ospf id | rip id | static} vrf {vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>bgp</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
<b>direct</b>	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
<b>eigrp</b>	EIGRP のポリシー統計情報を表示します。
<b>isis</b>	IS-IS ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<b>ospf</b>	OSPF プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<b>rip</b>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>id</i>	<p><b>bgp</b> キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p><b>eigrp</b> キーワードは、ルートの再配布元である EIGRP インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p><b>isis</b> キーワードは、ルートの再配布元である IS-IS インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p><b>ospf</b> キーワードは、ルートの再配布元である OSPF インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p>
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

デフォルト なし

コマンド モード すべて

ユーザ ロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## ■ show ip eigrp route-map statistics

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(3)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、**show ip eigrp policy statistics** コマンドから置き換えられました。このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、EIGRP のルート マップ統計情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip eigrp route-map statistics redistribute direct
C: No. of comparisons, M: No. of matches

route-map rmap1 permit 1

Total accept count for policy: 10
Total reject count for policy: 0
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear ip eigrp route-map statistics</b>	EIGRP のルート マップ統計情報をクリアします。
<b>show ip eigrp traffic</b>	EIGRP トラフィック統計情報を表示します。

# show ip eigrp topology

EIGRP トポロジ テーブルを表示するには、**show eigrp topology** コマンドを使用します。

**show ip eigrp** [*instance-tag*] **topology** [*ip-address/length*] [**active** | **all-links** | **detail-links** | **pending** | **summary** | **zero-successors**] [**vrf** {*vrf-name* | \*}]

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>ip-address/length</i>	(任意) スラッシュ (/) と数字で表示されたネットワーク マスクを使用した、4 つの部分からなるドット付き 10 進表記の IP アドレス。たとえば、/8 は、マスクの最初の 8 ビットが 1 であり、アドレスの対応するビットはネットワーク アドレスであることを示します。
<b>active</b>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのアクティブ エントリのみを表示します。
<b>all-links</b>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのエントリをすべて表示します。
<b>detail-links</b>	(任意) EIGRP トポロジ テーブル内の全エントリの詳細情報を表示します。
<b>pending</b>	(任意) ネイバーからアップデートを待機する、またはネイバーへの応答を待機する EIGRP トポロジ テーブルのすべてのエントリを表示します。
<b>summary</b>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのサマリーを表示します。
<b>zero-successors</b>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルで使用可能なルートを表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

## デフォルト

VRF が指定されていない場合、このコマンドはデフォルトの VRF の情報を表示します。

## コマンド モード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン**

Diffusing Update Algorithm (DUAL; Diffusing アップデート アルゴリズム) ステートを判断し、DUAL 問題をデバッグするには、**show ip eigrp topology** コマンドを使用します。

キーワードまたは引数を指定せずに **show ip eigrp topology** コマンドを使用すると、Cisco NX-OS はフィージブル サクセサであるルートのみを表示します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例**

次に、EIGRP トポロジ テーブルを表示する例を示します。指定された内部ルートおよび外部ルートの EIGRP メトリックが表示されます。

```
switch# show ip eigrp topology 192.0.2.0/24

IP-EIGRP (AS 1): Topology entry for 192.0.2.0/24
  State is Passive, Query origin flag is 1, 1 Successor(s), FD is 281600
  Routing Descriptor Blocks:
    192.0.2.22 (Ethernet 2/1), from 192.0.2.1, Send flag is 0x0
    Composite metric is (409600/128256), Route is External
    Vector metric:
      Minimum bandwidth is 10000 Kbit
      Total delay is 6000 microseconds
      Reliability is 255/255
      Load is 1/255
      Minimum MTU is 1500
      Hop count is 1
    External data:
      Originating router is 10.89.245.1
      AS number of route is 0
      External protocol is Connected, external metric is 0
      Administrator tag is 0 (0x00000000)
switch#
```

次の例では、**all-links** オプションを示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology all-links
IP-EIGRP Topology Table for AS(100)/ID(4.4.4.4) VRF default

Codes: P - Passive, A - Active, U - Update, Q - Query, R - Reply,
       r - reply Status, s - sia Status

P 3.3.3.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 58
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 2.2.2.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 57
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 1.1.1.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 56
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 192.168.6.0/24, 1 successors, FD is 2816, serno 25
   via Connected, Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (26112/2816), Ethernet2/1
P 6.6.6.0/24, 1 successors, FD is 128256, serno 24
   via Connected, loopback6
P 5.5.5.0/24, 1 successors, FD is 128256, serno 23
   via Connected, loopback5
P 4.4.4.0(1)/24, 1 successors, FD is 128256, serno 16
   via Connected, loopback4
P 192.168.5.0/24, 1 successors, FD is 25856, serno 1
   via Connected, Ethernet2/1
   via 192.168.6.2 (3072/2816), Ethernet2/2
```



次の例では、詳細を示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology detail-links
IP-EIGRP Topology Table for AS(100)/ID(4.4.4.4) VRF default

Codes: P - Passive, A - Active, U - Update, Q - Query, R - Reply,
       r - reply Status, s - sia Status

P 3.3.3.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 58
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 2.2.2.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 57
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 1.1.1.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 56
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 192.168.6.0/24, 1 successors, FD is 2816, serno 25
   via Connected, Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (26112/2816), Ethernet2/1
P 6.6.6.0/24, 1 successors, FD is 128256, serno 24
   via Connected, loopback6
P 5.5.5.0/24, 1 successors, FD is 128256, serno 23
   via Connected, loopback5
P 4.4.4.0(1)/24, 1 successors, FD is 128256, serno 16
   via Connected, loopback4
P 192.168.5.0/24, 1 successors, FD is 25856, serno 1
   via Connected, Ethernet2/1
   via 192.168.6.2 (3072/2816), Ethernet2/2
```

次の例では、トポロジ テーブルのサマリーを示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology summary
IP-EIGRP Topology Table for AS(100)/ID(4.4.4.4) VRF default

Head serial 1, next serial 59
8 routes, 0 pending replies, 0 dummies
IP-EIGRP(0) enabled on 5 interfaces, 2 neighbors present on 2 interfaces
Quiescent interfaces: Eth2/2 Eth2/1
```

次の例では、トポロジ テーブルのアクティブ エントリを示します。

```
switch(config-if)# show ip eigrp topology active
IP-EIGRP Topology Table for AS(101)/ID(80.86.2.3) VRF default

Codes: P - Passive, A - Active, U - Update, Q - Query, R - Reply,
       r - reply Status, s - sia Status

A 8.3.2.0/24, 1 successors, FD is Inaccessible
   1 replies, active 00:00:04, query-origin: Local origin
   via Connected (Infinity/Infinity), loopback8
   Remaining replies:
     via 5.5.5.6, r, Ethernet2/6
```

次の例では、トポロジ テーブルのゼロ サクセサを示します。

```
switch(config-router)# show ip eigrp topology zero-successors
IP-EIGRP Topology Table for AS(101)/ID(10.1.48.4) VRF default

Codes: P - Passive, A - Active, U - Update, Q - Query, R - Reply,
       r - reply Status, s - sia Status

P 10.1.49.0/24, 0 successors, FD is Inaccessible
   via 5.5.5.5 (28416/28160), Ethernet2/6
```

次の例では、保留中のエントリを示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology pending
IP-EIGRP Topology Table for AS(100)/ID(1.1.1.1) VRF default

Codes: P - Passive, A - Active, U - Update, Q - Query, R - Reply,
       r - reply Status, s - sia Status

P 6.6.6.0/24, 1 successors, FD is 130816, U
    via 192.168.5.1 (130816/128256), Ethernet2/1
P 5.5.5.0/24, 1 successors, FD is 130816, U
    via 192.168.5.1 (130816/128256), Ethernet2/1
P 4.4.4.0(1)/24, 1 successors, FD is 130816, U
    via 192.168.5.1 (130816/128256), Ethernet2/1
P 8.8.8.0/24, 1 successors, FD is 130816, U
    via 192.168.5.1 (130816/128256), Ethernet2/1
```

表 1-8 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-8 show ip eigrp topology フィールドの説明

フィールド	説明
Query origin	クエリーの origin ステート
Successors	このプレフィックスのフィージブル サクセサの数
FD	このプレフィックスのフィージブル ディスタンス
192.0.2.22(Ethernet 2/1)	このパスが学習されたネクストホップとインターフェイス
from 192.0.2.1	このパスの情報送信元
Send flag	このネイバーへのこのプレフィックスの送信が中断されているかどうかの状態
Composite metric is...	最初の番号は、宛先へのコストを示す EIGRP メトリックです。2 番目の番号は、このピアがアダプタイズした EIGRP メトリックです。
Route is	ルート タイプ (内部または外部)
Vector Metric	ネイバーによってアダプタイズされたメトリック (帯域幅、遅延、信頼性、負荷、MTU、およびホップ カウント)
External Data	ネイバーによってアダプタイズされた外部情報 (発信元ルータ ID、AS 番号、外部プロトコル、メトリック、およびタグ)

# show ip eigrp traffic

送受信される Enhanced IGRP (EIGRP) パケットの数を表示するには、**show ip eigrp traffic** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] traffic [vrf {vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

## デフォルト

VRF が指定されていない場合、このコマンドはデフォルトの VRF の情報を表示します。

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

この EIGRP インスタンスによって送受信されたパケットの数を確認するには、**show ip eigrp traffic** コマンドを使用します。

さらに、このコマンドは、接続問題または設定問題によって、1 つのノードからのパケットがネイバーノードに到達していないかどうか判断するのに役立ちます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、EIGRP トラフィック統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp traffic

IP-EIGRP Traffic Statistics for AS 1 vrf default

Hellos sent/received: 736/797
Updates sent/received: 6/6
Queries sent/received: 0/1
Replies sent/received: 1/0
Acks sent/received: 6/6
Input queue high water mark 0, 0 drops
SIA-Queries sent/received: 0/0
SIA-Replies sent/received: 0/0
```

表 1-9 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-9 show ip eigrp traffic フィールドの説明

フィールド	説明
AS	<b>router eigrp</b> コマンドで指定された Autonomous System (AS; 自律システム) 番号
vrf	<b>show</b> コマンドで指定された VRF
Hellos sent/received:	送受信された hello パケットの数
Updates sent/received:	送受信されたアップデート パケットの数
Queries sent/received:	送受信されたクエリー パケットの数
Replies sent/received:	送受信された応答パケットの数
Acks sent/received:	送受信された acknowledgment (ACK; 確認応答) パケットの数
Input queue high water mark	入力キューのパケットの最大数とドロップの数
SIA-Queries sent/received	送受信された Stuck-in-Active クエリー パケットの数
SIA-Replies sent/received:	送受信された Stuck-in-Active 応答パケットの数

# show ip fib

転送情報を表示するには、**show ip fib** コマンドを使用します。

**show ip fib {adjacency | interfaces | route} module slot**

シンタックスの説明	adjacency	隣接関係情報を表示します。
	interfaces	モジュール上のインターフェイスの転送情報を表示します。
	route	(任意) モジュール上のルートの転送情報を表示します。
	module slot	モジュールに関する情報を表示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。

**コマンドモード**      すべて

**ユーザ ロール**      ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン**      モジュールで転送情報を表示するには、スーパーバイザで **show ip fib** コマンドを使用します。任意で **attach module** コマンドを使用してモジュールを接続し、モジュールで **show ip fib** コマンドを使用できます。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例**      次の例では、モジュール 2 の転送情報を表示します。

```
switch# show ip fib route module 2
```

```
IPv4 routes for table default/base
```

```
-----+-----+-----
Prefix          | Next-hop          | Interface
-----+-----+-----
0.0.0.0/32      | Drop              | Null0
255.255.255.255/32 | Receive           | sup-eth1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show forwarding</b>	FIB に関する情報を表示します。

# show ip fib distribution

転送分散情報を表示するには、**show ip fib distribution** コマンドを使用します。

**show ip fib distribution [clients | state]**

## シンタックスの説明

<b>clients</b>	(任意) ユニキャスト クライアントの転送分散情報を表示します。
<b>state</b>	(任意) ユニキャスト FIB の転送分散ステートを表示します。

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、ユニキャスト クライアントの転送情報を表示します。

```
switch# show ip fib distribution clients

id  pid  shmem-start  shmem-end  shmem-name
--  ---  -
1   3646  0x64f70120  0x64fc0000  u6rib-ufdm
2   3647  0x64b50120  0x64d50000  urib-ufdm
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show forwarding distribution</b>	FIB に関する分散情報を表示します。

# show ip interface

インターフェイスの IP 情報を表示するには、**show ip interface** コマンドを使用します。

**show ip interface** [*type number*] [**brief**] [**vrf vrf-name**]

シンタックスの説明	
<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。? を使用して オプションを表示します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。? を使用して 範囲を表示します。
<b>brief</b>	(任意) IP 情報のサマリーを表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

**コマンドモード**      すべて

**ユーザ ロール**      ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン**      このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例**      次の例では、イーサネット 2/1 の IP 情報を表示します。

```
switch# show ip interface ethernet 2/1
Ethernet2/1, Interface status: protocol-down/link-down/admin-down, iod: 80,
  IP VRF context: "default"
  IP address: 192.0.2.1, IP subnet: 192.0.0.0/8
  IP broadcast address: 255.255.255.255
  IP multicast groups locally joined: none
  IP MTU: 1500 bytes (using link MTU)
  IP primary address route-preference: 0, tag: 0
  IP proxy ARP : disabled
  IP Local Proxy ARP : disabled
  IP multicast routing: disabled
  IP icmp redirects: enabled
  IP directed-broadcast: disabled
  IP icmp unreachable (except port): disabled
  IP icmp port-unreachable: enabled
  IP RP inbound packet-filtering policy: none
  IP RP outbound packet-filtering policy: none
  IP inbound packet-filtering policy: none
  IP outbound packet-filtering policy: none
  IP unicast reverse path forwarding: none
  IP unicast reverse path forwarding fail policy: none
  IP interface statistics last reset: never
```

```
IP interface software stats: (sent/received/forwarded/originated/consumed)
  Unicast packets   : 0/0/0/0/0
  Unicast bytes     : 0/0/0/0/0
  Multicast packets : 0/0/0/0/0
  Multicast bytes   : 0/0/0/0/0
  Broadcast packets : 0/0/0/0/0
  Broadcast bytes   : 0/0/0/0/0
  Labeled packets   : 0/0/0/0/0
  Labeled bytes     : 0/0/0/0/0
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show ipv6 interface</b>	インターフェイスの IPv6 情報を表示します。

---



# show ip load-sharing

IP ロードシェアリング情報を表示するには、**show ip load-sharing** コマンドを使用します。

## show ip load-sharing

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**コマンドモード** すべて

**ユーザロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、IP ロードシェアリング情報を表示します。

```
switch# show ip load-sharing
IPv4/IPv6 ECMP load sharing:
Universal-id (Random Seed): 2823428857
Load-share mode : address source-destination port source-destination Broadcast bytes      :
0/0/0/0/0
    Labeled packets      : 0/0/0/0/0
    Labeled bytes       : 0/0/0/0/0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip load-sharing	IP ロードシェアリングを表示します。

# show ip mbgp

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MP-BGP) テーブル内のエントリを表示するには、**show ip mbgp** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp [p-addr | ip-prefix [longer-prefixes]] [received-paths] [regex expression]
[route-map map-name] [summary] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>ip-addr</i>	(任意) MBGP ルート テーブルからのネットワーク。形式は x.x.x.x です。
<i>ip-prefix</i>	(任意) MBGP ルート テーブルからのプレフィクス。形式は x.x.x.x/length です。
<b>longer-prefixes</b>	(任意) プレフィクスとより詳しいルートを表示します。
<b>received-paths</b>	(任意) ソフト リコンフィギュレーション用に保存されたパスを表示します。
<b>regex expression</b>	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
<b>route-map map-name</b>	(任意) ルート マップと一致するルートを表示します。マップ名は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>summary</b>	(任意) ルートのサマリーを表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、MBGP ルート テーブルを表示します。

```
switch(config-router)# show ip mbgp
BGP routing table information for VRF default, address family IPv4 Multicast
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
clear ip mbgp	MBGP ルート テーブルのエントリをクリアします。

# show ip mbgp community

コミュニティと一致する MP-BGP ルートを表示するには、**show ip mbgp community** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp community [as-number] [internet] [no-advertise] [no-export]
[no-export-subconfed] [exact-match]} [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>as-number</i>	AS 番号。AS 番号は、<上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数> 形式の 16 ビットの整数または 32 ビットの整数です。
<b>internet</b>	(任意) インターネット コミュニティを表示します。
<b>no-advertise</b>	(任意) no-advertise コミュニティを表示します。
<b>no-export</b>	(任意) no-export コミュニティを表示します。
<b>no-export-subconfed</b>	(任意) no-export-subconfed コミュニティを表示します。
<b>exact-match</b>	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、コミュニティと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip mbgp community
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip community-list</b>	コミュニティ リストを作成します。

# show ip mbgp community-list

コミュニティ リストと一致する MP-BGP ルートを表示するには、**show ip mbgp community-list** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp community-list commlist-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>commlist-name</b>	コミュニティ リストの名前。commlist-name は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip mbgp community-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip community-list</b>	コミュニティ リストを作成します。

# show ip mbgp dampening

MP-BGP ダンプニング情報を表示するには、**show ip mbgp dampening** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp dampening {dampened-paths [regex expression] | flap-statistics |
  history-paths [regex expression] | parameters} [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの MBGP 情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 アドレス ファミリの MBGP 情報を表示します。
<b>unicast</b>	ユニキャスト アドレス ファミリの MBGP 情報を表示します。
<b>multicast</b>	マルチキャスト アドレス ファミリの MBGP 情報を表示します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの MBGP 情報を表示します。
<b>dampened-paths</b>	ダンプニングされたパスをすべて表示します。
<b>regex expression</b>	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
<b>flap-statistics</b>	ルートの統計情報を表示します。
<b>history-paths</b>	履歴パスをすべて表示します。
<b>parameters</b>	ダンプニング パラメータをすべて表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、ダンプニング情報を表示します。

```
switch(config)# show ip mbgp dampening dampened-paths
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show ipv6 bgp dampening</code>	BGP ダンプニング情報を表示します。

# show ip mbgp extcommunity

拡張コミュニティと一致する MP-BGP ルートを表示するには、**show ip mbgp extcommunity** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp extcommunity generic {non-transitive | transitive} [as4-number]
[exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>generic</b>	汎用特定拡張コミュニティを照合するルートを表示します。
<b>non-transitive</b>	非推移的拡張コミュニティを照合するルートを表示します。
<b>transitive</b>	推移的拡張コミュニティを照合するルートを表示します。
<b>as4-number</b>	AS 番号。 <i>as4-number</i> は、プレーンテキスト整数または <上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数> の形式の 32 ビット整数です。
<b>exact-match</b>	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
 ネットワークオペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、拡張コミュニティと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip mbgp extcommunity generic transitive 1.3:30
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip extcommunity-list</b>	拡張コミュニティリストを作成します。



# show ip mbgp extcommunity-list

拡張コミュニティ リストと一致する MP-BGP ルートを表示するには、**show ip mbgp extcommunity-list** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp extcommunity-list commlist-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>commlist-name</b>	拡張コミュニティ リストの名前。 <b>commlist-name</b> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip mbgp extcommunity-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip extcommunity-list</b>	拡張コミュニティ リストを作成します。

# show ip mbgp filter-list

フィルタ リストと一致する MP-BGP ルートを表示するには、**show ip mbgp filter-list** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp filter-list list-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>list-name</i>	フィルタ リストの名前。commlist-name は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

ユーザ ロール  
 ネットワーク 管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、フィルタ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip mbgp filter-list test1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ipv6 bgp filter-list</b>	フィルタ リストと一致する BGP ルートを表示します。

# show ip mbgp flap-statistics

MP-BGP フラップ統計情報を表示するには、**show ip mbgp flap-statistics** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp flap-statistics [prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	<i>prefix</i>	(任意) IPv6 プレフィクス。形式は <code>x.x.x.x/length</code> です。
	<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

ユーザ ロール  
ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、フラップ統計情報を表示します。  

```
switch(config)# show ip mbgp flap-statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ipv6 bgp</b>	BGP 情報を表示します。

# show ip mbgp history-paths

MP-BGP 履歴パスを表示するには、**show ip mbgp history-paths** コマンドを使用します。

**show ip mbgp history-paths** [*regex expression*] [*vrf vrf-name*]

## シンタックスの説明

<b>regex expression</b>	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、BGP 履歴パス情報を表示します。

```
switch(config)# show ip mbgp history-paths
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ipv6 bgp history-paths</b>	BGP 履歴パス情報を表示します。

# show ip mbgp neighbors

MP-BGP ネイバーを表示するには、**show ip mbgp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ip bgp neighbors [ addr [advertised-routes | flap-statistics | paths | received-routes
| routes [advertised | dampened | received]] | prefix] [vrf { all | vrf-name}]
```

## シンタックスの説明

<b>addr</b>	IPv4 アドレス。形式は、x.x.x.x です。
<b>advertised-routes</b>	(任意) このネイバーにアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
<b>flap-statistics</b>	(任意) このネイバーから受信されたルートのフラップ統計情報を表示します。
<b>paths</b>	(任意) このネイバーから取得された AS パスを表示します。
<b>received-routes</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
<b>routes</b>	(任意) このネイバーとの間で受信またはアドバタイズされたルートを表示します。
<b>advertised</b>	(任意) このネイバー用にアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
<b>dampened</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのダンプニングされたルートを表示します。
<b>received</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
<b>prefix</b>	(任意) IPv6 プレフィクス。形式は x.x.x.x/length です。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>all</b>	(任意) すべての VRFS を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.1(2)	<b>paths</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## ■ show ip mbgp neighbors

---

例

次の例では、MBGP ネイバーを表示します。

```
switch(config)# show ip mbgp neighbors
```

---

関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ipv6 bgp neighbors</b>	BGP 情報を表示します。

# show ip mbgp nexthop

MP-BGP ネクストホップ情報を表示するには、**show ip mbgp nexthop** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp nexthop addr [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>addr</i>	IPv4 アドレス。形式は、x.x.x.x です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、BGP ネクストホップ情報を表示します。

```
switch(config)# show ip mbgp nexthop 192.0.2.1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ipv6 bgp nexthop</b>	BGP 情報を表示します。

# show ip mbgp nexthop-database

MP-BGP ネクストホップ データベースを表示するには、**show ip mbgp nexthop-database** コマンドを使用します。

**show ip mbgp nexthop-database [vrf vrf-name]**

<b>シンタックスの説明</b>	<b>vrf vrf-name</b> (任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。				
<b>デフォルト</b>	なし				
<b>コマンドモード</b>	任意のコマンドモード				
<b>ユーザロール</b>	ネットワーク管理者 ネットワークオペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
<b>コマンドの履歴</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが追加されました。				
<b>使用上のガイドライン</b>	このコマンドにはライセンスは必要ありません。				
<b>例</b>	次の例では、BGP ネクストホップ データベースを表示します。 switch(config)# <b>show ip mbgp nexthop-database</b>				
<b>関連コマンド</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>show ipv6 bgp nexthop-database</b></td> <td>BGP 情報を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	<b>show ipv6 bgp nexthop-database</b>	BGP 情報を表示します。
コマンド	説明				
<b>show ipv6 bgp nexthop-database</b>	BGP 情報を表示します。				



# show ip mbgp prefix-list

プレフィクスリストと一致する MP-BGP ルートを表示するには、**show ip mbgp prefix-list** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp prefix-list list-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>list-name</i>	プレフィクスリストの名前。commlist-name は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、プレフィクスリストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip mbgp prefix-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ipv6 bgp prefix-list</b>	プレフィクスリストと一致する BGP ルートを表示します。

# show ip ospf

OSPF ルーティング インスタンスに関する一般情報を表示するには、**show ip ospf** コマンドを使用します。

**show ip ospf** [*instance-tag*] [*vrf vrf-name*]

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。特定の OSPF インスタンスに関する OSPF 情報を表示するのにこのタグを使用します。 <i>instance-tag</i> 引数は、任意の英数字文字列にできます。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** すべて

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** 1 つまたは複数の OSPF インスタンスに関する情報を表示するには、**show ip ospf** コマンドを使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、特定の 1 つの OSPF インスタンスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf 201
Routing Process 201 with ID 192.0.2.15 vrf default
Stateful High Availability enabled
Graceful-restart is configured
  Notify period: 15, grace period: 60, state: Inactive
  Last graceful restart exit status: (null)
Supports only single TOS(TOS0) routes
Supports opaque LSA
Reference Bandwidth is 40000 Mbps
Initial SPF schedule delay 200.000 msecs,
  minimum inter SPF delay of 1000.000 msecs,
  maximum inter SPF delay of 5000.000 msecs
Minimum hold time for Router LSA throttle 5000.000 ms
Minimum hold time for Network LSA throttle 5000.000 ms
Minimum LSA arrival 1000.000 msec
Maximum paths to destination 8
```

```

Number of external LSAs 0, checksum sum 0
Number of opaque AS LSA 0, checksum sum 0
Number of areas is 2, 2 normal, 0 stub, 0 nssa
Number of active areas is 0, 0 normal, 0 stub, 0 nssa
BFD is enabled
  Area BACKBONE(0) (Inactive)
    Area has existed for 1w0d
    Interfaces in this area: 1 Active interfaces: 0
    No authentication available
    SPF calculation has run 3 times
    Last SPF ran for 0.000132s
    Area ranges are
    Number of LSAs: 0, checksum sum 0
  Area (10) (Inactive)
    Area has existed for 1w0d
    Interfaces in this area: 1 Active interfaces: 0
    No authentication available
    SPF calculation has run 3 times
    Last SPF ran for 0.000035s
    Area ranges are
    Number of LSAs: 0, checksum sum 0

```

表 1-10 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-10 show ip ospf フィールドの説明

フィールド	説明
Routing Process...	OSPF インスタンス タグおよび OSPF ルータ ID
Stateful High Availability	ステートフル再起動機能のステータス
Graceful-restart	グレースフル リスタート設定のステータス
grace period	OSPF がグレースフル リスタートを開始する必要がある秒数
Last graceful restart exit status	最後のグレースフル リスタートの終了ステータス
Supports...	サポートされるサービス タイプの数 (タイプ 0 のみ)
Reference Bandwidth	コスト計算に使用する帯域幅
Initial SPF schedule delay	SPF 計算の遅延時間
Minimum LSA arrival	Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) の間の最小インターバル
Number of...	受信した LSA の数およびタイプ
Number of areas is...	ルータ用に設定されたエリアの数およびタイプ

# show ip ospf border-routers

Area Border Router (ABR; エリア境界ルータ) および Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) に対して、OSPF ルーティング テーブル エントリを表示するには、**show ip ospf border-routers** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] border-routers [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。特定の OSPF インスタンスに関する OSPF 情報を表示するのにこのタグを使用します。 <i>instance-tag</i> 引数は、任意の英数字文字列にできます。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show ip ospf border-routers** コマンドは、ABR と ASBR に関する情報を表示するために使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、境界ルータに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf border-routers

OSPF Process ID p1, vrf default Internal Routing Table
Codes: i - Intra-area route, I - Inter-area route

i 40.40.40.40 [10], ABR, Area 0.0.0.0, SPF 71 via
    192.0.2.1, Ethernet2/1
i 60.60.60.60 [20], ABR, Area 0.0.0.0, SPF 71 via
    192.0.2.1, Ethernet2/1
i 40.40.40.40 [10], ABR, Area 0.0.0.1, SPF 71 via
    192.0.2.1, Ethernet2/2
i 60.60.60.60 [20], ABR, Area 0.0.0.1, SPF 71 via
    192.0.2.1, Ethernet2/2
```

表 1-11 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-11 show ip ospf border-routers フィールドの説明

フィールド	説明
40.40.40.40	宛先のルータ ID
[10]	このルートを使用するコスト
ABR	宛先のルータ タイプ。タイプは ABR、ASBR、または両方です。
Area	このルートが学習されたエリアのエリア ID
SPF 71	このルートをインストールする Shortest Path First (SPF) 計算の内部番号
via 192.0.2.1	宛先に対するネクストホップ
Ethernet2/1	発信インターフェイスのインターフェイス タイプ

# show ip ospf database

特定のルータの OSPF データベースを表示するには、**show ip ospf database** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] database [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database asbr-summary [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database database-summary[ vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database external [ext_tag value] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database network [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database nssa-external [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database opaque-area [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database opaque-as [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database opaque-link [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database router [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database summary [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<i>area-id</i>	(任意) 特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) のいずれかで指定します。
<i>link-state-id</i>	(任意) アドバタイズメントによって説明されるインターネット環境の部分。入力値は、アドバタイズメントのリンクステートタイプによって異なります。IP アドレスの形式で指定します。
<b>adv-router</b> <i>ip-address</i>	(任意) 指定されたルータのすべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) を表示します。
<b>self-originate</b>	(任意) 自動送信 LSA (ローカル ルータから) を表示します。
<b>asbr-summary</b>	(任意) Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) サマリー LSA に関する情報を表示します。
<b>database-summary</b>	(任意) データベースの各エリアの各 LSA タイプと、LSA の総数を表示します。
<b>external</b>	(任意) 外部 LSA に関する情報を表示します。

<b>ext_tag value</b>	(任意) 外部タグに基づいた情報を表示します。範囲は 1 ~ 4294967295 です。
<b>network</b>	(任意) ネットワーク LSA に関する情報を表示します。
<b>nssa-external</b>	(任意) Not-So-Stubby Area (NSSA) 外部 LSA に関する情報を表示します。
<b>opaque-area</b>	(任意) 不透明なエリア LSA に関する情報を表示します。
<b>opaque-as</b>	(任意) 不透明な AS LSA に関する情報を表示します。
<b>opaque-link</b>	(任意) 不透明なリンクローカル LSA に関する情報を表示します。
<b>router</b>	(任意) ルータ LSA に関する情報を表示します。
<b>summary</b>	(任意) 集約 LSA に関する情報を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** すべて

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** 異なる OSPF LSA に関する情報を表示するには、**ip ospf database** コマンドを使用します。

LSA がネットワークを学習すると、*link-state-id* 引数は次のいずれかの形式を使用します。

- ネットワークの IP アドレス (タイプ 3 サマリー リンク アドバタイズメントや自律システム外部リンク アドバタイズメントなど)。
- リンク ステート ID から取得された派生アドレス (ネットワークのサブネット マスクを使用してネットワーク リンク アドバタイズメントのリンク ステート ID をマスクすることによって、ネットワークの IP アドレスが生成されることに注意してください)。
- リンク ステート アドバタイズメントにルータの説明が記載されている場合は、必ず、リンク ステート ID が、記載されたルータの OSPF ルータ ID になります。
- AS 外部アドバタイズメント (LS タイプ = 5) がデフォルトのルートを説明する場合、そのリンク ステート ID はデフォルトの宛先 (0.0.0.0) に設定されます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、OSPF データベースを表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf database

OSPF Router with ID (50.50.50.50) (Process ID p1)

      Router Link States (Area 0)

Link ID        ADV Router    Age         Seq#          Checksum Link Count
40.40.40.40    40.40.40.40   930        0x80000004   0x2ea1   3
50.50.50.50    50.50.50.50   935        0x80000002   0x8b52   1
60.60.60.60    60.60.60.60   943        0x800003c5   0x9854   2

      Network Link States (Area 0)

Link ID        ADV Router    Age         Seq#          Checksum
209.165.201.3  60.60.60.60   944        0x80000001   0x7179
192.0.2.1      50.50.50.50   935        0x80000001   0x516a

      Summary Network Link States (Area 0)

Link ID        ADV Router    Age         Seq#          Checksum
209.165.201.1  40.40.40.40   929        0x80000001   0x2498
209.165.201.1  50.50.50.50   928        0x80000001   0x5b2f
209.165.201.1  60.60.60.60   1265       0x800003c3   0xf49b
192.0.2.0      40.40.40.40   943        0x80000001   0x53f3
192.0.2.0      50.50.50.50   935        0x80000001   0x26f8
192.0.2.0      60.60.60.60   930        0x80000001   0x7b51
```

表 1-12 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-12 show ip ospf database フィールドの説明

フィールド	説明
Link ID	ルータ ID 番号
ADV Router	アドバタイズするルータの ID
Age	リンク ステート経過時間
Seq#	リンク ステート シーケンス番号 (以前の、または重複した LSA を検出します)
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Link count	ルータ用に検出されたインターフェイスの数

次に、ASBR のサマリーを表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf database asbr-summary

OSPF Router with id(192.168.239.66) (Process ID 300)

      Displaying Summary ASB Link States(Area 0.0.0.0)

LS age: 1463
Options: (No TOS-capability)
LS Type: Summary Links(AS Boundary Router)
Link State ID: 172.16.245.1 (AS Boundary Router address)
Advertising Router: 172.16.241.5
LS Seq Number: 80000072
Checksum: 0x3548
Length: 28
Network Mask: 0.0.0.0 TOS: 0 Metric: 1
```



表 1-13 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-13 show ip ospf database asbr-summary フィールドの説明

フィールド	説明
OSPF Router with id	ルータ ID 番号
Process ID	OSPF プロセス ID
LS age	リンク ステート経過時間
Options	サービス オプションのタイプ (タイプ 0 のみ)
LS Type	リンク ステート タイプ
Link State ID	リンク ステート ID (ASBR)
Advertising Router	アドバタイズするルータの ID
LS Seq Number	リンク ステート シーケンス (以前の、または重複した LSA を検出します)
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Length	LSA の長さ (バイト単位)
Network Mask	実行されたネットワーク マスク
TOS	ToS
Metric	リンク ステート メトリック

次に、外部リンクに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf database external

OSPF Router with id(192.168.239.66) (Autonomous system 300)

      Displaying AS External Link States

LS age: 280
Options: (No TOS-capability)
LS Type: AS External Link
Link State ID: 10.105.0.0 (External Network Number)
Advertising Router: 172.16.70.6
LS Seq Number: 80000AFD
Checksum: 0xC3A
Length: 36
Network Mask: 255.255.0.0
      Metric Type: 2 (Larger than any link state path)
      TOS: 0
      Metric: 1
      Forward Address: 0.0.0.0
      External Route Tag: 0
```

表 1-14 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-14 show ip ospf database external フィールドの説明

フィールド	説明
OSPF Router with id	ルータ ID 番号
Autonomous system	OSPF AS 番号 (OSPF プロセス ID)
LS age	リンク ステート経過時間
Options	サービス オプションのタイプ (タイプ 0 のみ)

表 1-14 show ip ospf database external フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
LS Type	リンク ステート タイプ
Link State ID	リンク ステート ID (外部ネットワーク番号)
Advertising Router	アドバタイズするルータの ID
LS Seq Number	リンク ステート シーケンス番号 (以前の、または重複した LSA を検出します)
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Length	LSA の長さ (バイト単位)
Network Mask	実行されたネットワーク マスク
Metric Type	外部タイプ
TOS	ToS
Metric	リンク ステート メトリック
Forward Address	転送アドレス。アドバタイズされた宛先へのデータ トラフィックは、このアドレスに転送されます。転送アドレスが 0.0.0.0 に設定されている場合は、代わりに、データ トラフィックがアドバタイズメントの送信元に転送されます。
External Route Tag	外部ルート タグ。外部ルートごとに付加された 32 ビットのフィールド。このフィールドは、OSPF プロトコルには使用されません。

次に、OSPF データベースのサマリーを表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf database database-summary
```

```
OSPF Router with ID (100.0.0.1) (Process ID 1)
```

```
Area 0 database summary
```

LSA Type	Count	Delete	Maxage
Router	3	0	0
Network	0	0	0
Summary Net	0	0	0
Summary ASBR	0	0	0
Type-7 Ext	0	0	0
Self-originated Type-7	0		
Opaque Link	0	0	0
Opaque Area	0	0	0
Subtotal	3	0	0

```
Process 1 database summary
```

LSA Type	Count	Delete	Maxage
Router	3	0	0
Network	0	0	0
Summary Net	0	0	0
Summary ASBR	0	0	0
Type-7 Ext	0	0	0
Opaque Link	0	0	0
Opaque Area	0	0	0
Type-5 Ext	0	0	0
Self-originated Type-5	200		
Opaque AS	0	0	0
Total	203	0	0

表 1-15 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-15 show ip ospf database database-summary フィールドの説明

フィールド	説明
Area 0 database summary	エリア番号
Count	最初のカラムで特定されたタイプの LSA の数
Router	エリアのルータ LSA の数
Network	エリアのネットワーク LSA の数
Summary Net	エリアの要約 LSA の数
Summary ASBR	エリアの要約 ASBR LSA の数
Type-7 Ext	タイプ 7 LSA の数
Self-originated Type-7	自動送信タイプ 7 LSA
Opaque Link	タイプ 9 LSA の数
Opaque Area	タイプ 10 LSA の数
Subtotal	エリアの LSA の合計
Delete	エリア内で「Deleted」とマークされた LSA の数
Maxage	エリア内で「Maxaged」とマークされた LSA の数
Process 1 database summary	プロセスのデータベース サマリー
Count	最初のカラムで特定されたタイプの LSA の数
Router	プロセスのルータ LSA の数
Network	プロセスのネットワーク LSA の数
Summary Net	プロセスのサマリー LSA の数
Summary ASBR	プロセスの要約 ASBR LSA の数
Type-7 Ext	タイプ 7 LSA の数
Opaque Link	タイプ 9 LSA の数
Opaque Area	タイプ 10 LSA の数
Type-5 Ext	タイプ 5 LSA の数
Self-Originated Type-5	自動送信タイプ 5 LSA の数
Opaque AS	タイプ 11 LSA の数
Total	プロセスの LSA の合計

# show ip ospf interface

OSPF 関連のインターフェイス情報を表示するには、**show ip ospf interface** コマンドを使用します。

```
show ip ospf interface [instance-tag] [interface-type interface-number] [brief] [vrf
vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。 <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	(任意) インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<b>brief</b>	(任意) ルータ上の OSPF インターフェイス、ステート、アドレス、マスク、およびエリアの概要情報を表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

インターフェイスの OSPF ステータスを表示するには、**show ip ospf interface** コマンドを使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、インターフェイス Ethernet 1/2 の OSPF 情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf interface ethernet 1/2
Ethernet1/2 is up, line protocol is up
  IP address 192.0.2.1, Process ID 201 vrf default, area 10
  State UP, Network type BROADCAST, cost 65535
  Index 2, Transmit delay 1 sec, Router Priority 1
```

```

No designated router on this network
No backup designated router on this network
0 Neighbors, flooding to 0, adjacent with 0
Timer intervals: Hello 10, Dead 40, Wait 40, Retransmit 5
Simple authentication
Number of link LSAs: 0, checksum sum 0

```

表 1-16 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-16** show ip ospf interface フィールドの説明

フィールド	説明
Ethernet	プロトコルの物理リンクのステータスおよび動作ステータス
IP Address	インターフェイス IP アドレス、サブネット マスク、およびエリア アドレス
vrf	VRF インスタンス
Transmit Delay	転送遅延、インターフェイス ステート、およびルータ プライオリティ
designated router	代表ルータ ID およびインターフェイス IP アドレス
backup designated router	バックアップ代表ルータ ID およびインターフェイス IP アドレス
Timer intervals	タイマー インターバルの設定
Hello	次の hello パケットをこのインターフェイスに送信するまでの秒数

# show ip ospf lsa-content-changed-list

変更された内容のあるすべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) のリストを表示するには、**show ip ospf lsa-content-changed-list** コマンドを使用します。

**show ip ospf lsa-content-changed-list** *neighbor-id interface-type interface-number*

## シンタックスの説明

<i>neighbor id</i>	ネイバーのルータ ID
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。 <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	(任意) インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、イーサネット 2/1 用に変更された LSA のリストを表示する例を示します。

Router# **show ip ospf lsa-content-changed-list 192.0.2.2 ethernet 2/1**  
表 1-17 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-17 show ip ospf lsa-content-changed-list フィールドの説明

フィールド	説明

表 1-17 show ip ospf lsa-content-changed-list フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明

# show ip ospf memory

OSPF プロトコルのメモリ使用統計情報を表示するには、**show ip ospf memory** コマンドを使用します。

## show ip ospf memory

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードと引数はありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** すべて

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
	4.0(3)	このコマンドは削除されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、OSPF のメモリ統計情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf memory
OSPF Process ID sd, Memory statistics
Process memory: 2096 KB
Byte usage:   needed 0, overhead 192, using 192 bytes
Allocations:  current 6, created 6, failed 0, free 0
Bitfields:    current 30, created 30, failed 0, free 0, using 248010 bytes
Slabs:        current 2, created 2, failed 0, free 0, using 80 bytes
Index failure: Interface 0, Neighbor 0

Slab Memory
OSPF vertex slab
Alloc 1, max allocs 1, total allocs 1, total frees 0
Total block allocs 1, total block frees 0, max blocks 1
Bytes (size/allocated) 68/69720
OSPF IPv4 prefix routes slab
Alloc 0, max allocs 0, total allocs 0, total frees 0
Total block allocs 0, total block frees 0, max blocks 0
Bytes (size/allocated) 188/64
OSPF router routes slab
Alloc 0, max allocs 0, total allocs 0, total frees 0
Total block allocs 0, total block frees 0, max blocks 0
Bytes (size/allocated) 100/64
OSPF IPv4 next-hops slab
```



```
Alloc 1, max allocs 1, total allocs 1, total frees 0  
Total block allocs 1, total block frees 0, max blocks 1  
Bytes (size/allocated) 32/262232
```

# show ip ospf neighbors

インターフェイス単位で OSPF ネイバー情報を表示するには、**show ip ospf neighbor** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] neighbors [interface-type interface-number] [neighbor-id]
[detail] [summary] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<i>area-id</i>	(任意) 特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) で指定します。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。 <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	(任意) インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<i>neighbor-id</i>	(任意) ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
<b>detail</b>	(任意) 特定のすべてのネイバーを詳細に表示します (すべてのネイバーを表示します)。
<b>summary</b>	(任意) ネイバーのサマリーを表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

この OSPF インスタンスのすべての、または一部のネイバーに関する情報を表示するには、**show ip ospf neighbors** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、ネイバー ID と一致するネイバーに関するサマリー情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf neighbors 10.199.199.137

Neighbor 10.199.199.137, interface address 192.0.2.37
  In the area 0.0.0.0 via interface Ethernet2/1
  Neighbor priority is 1, State is FULL
  Options 2
  Dead timer due in 0:00:32
  Link State retransmission due in 0:00:04
Neighbor 10.199.199.137, interface address 209.165.201.189
  In the area 0.0.0.0 via interface Ethernet4/3
  Neighbor priority is 5, State is FULL
  Options 2
  Dead timer due in 0:00:32
  Link State retransmission due in 0:00:03
```

次に、インターフェイスのネイバー ID と一致するネイバーを表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf neighbors ethernet 2/1 10.199.199.137

Neighbor 10.199.199.137, interface address 192.0.2.37
  In the area 0.0.0.0 via interface Ethernet2/1
  Neighbor priority is 1, State is FULL
  Options 2
  Dead timer due in 0:00:37
  Link State retransmission due in 0:00:04
```

次に、OSPF ネイバーに関する詳細な情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf neighbors detail

Neighbor 192.168.5.2, interface address 10.225.200.28
  In the area 0 via interface GigabitEthernet1/0/0
  Neighbor priority is 1, State is FULL, 6 state changes
  DR is 10.225.200.28 BDR is 10.225.200.30
  Options is 0x42
  LLS Options is 0x1 (LR), last OOB-Resync 00:03:08 ago
  Dead timer due in 00:00:36
  Neighbor is up for 00:09:46
  Index 1/1, retransmission queue length 0, number of retransmission 1
  First 0x0(0)/0x0(0) Next 0x0(0)/0x0(0)
  Last retransmission scan length is 1, maximum is 1
  Last retransmission scan time is 0 msec, maximum is 0 msec
```

表 1-18 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-18 show ip ospf neighbor detail フィールドの説明

フィールド	説明
Neighbor	ネイバー ルータ ID
interface address	インターフェイスの IP アドレス
In the area	OSPF ネイバーが知られているエリアおよびインターフェイス
Neighbor priority	ネイバーのルータ プライオリティ
State	OSPF ステート

表 1-18 show ip ospf neighbor detail フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
state changes	ネイバーが作成されてから変更されたステートの数。この値は <b>clear ip ospf counters neighbor</b> コマンドを使用してリセットできます。
DR is	インターフェイスの代表ルータのルータ ID
BDR is	インターフェイスのバックアップ代表ルータのルータ ID
Options	hello packet options フィールドの内容 (E ビット専用。可能な値は 0 と 2 です。2 はエリアがスタブでないことを、0 はエリアがスタブであることを示します)
LLS Options..., last OOB-Resync	時間 : 分 : 秒前に実行されたリンクローカル シグナリングおよびアウトオブバンド (OOB) リンクステート データベースの再同期化 (NSF 情報)。このフィールドは、最後に成功した NSF 対応ルータとのアウトオブバンド再同期化を示します。
Dead timer due in	ネイバーが非稼働であることを Cisco NX-OS が宣言するまでの予想時間
Neighbor is up for	ネイバーが双方向ステートになってからの時間 : 分 : 秒数
Index	エリア全体および自律システム全体の再送信キュー内のネイバー位置
retransmission queue length	再送信キューのエレメントの数
number of retransmission	フラッディング中にアップデート パケットを再送信した回数
First	フラッディングの最初のメモリ位置
Next	フラッディングの次のメモリ位置
Last retransmission scan length	最後の再送信パケット内の Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) の数
maximum	任意の再送信パケットで送信された LSA の最大数
Last retransmission scan time	最後の再送信パケットの構築にかかった時間
maximum	任意の再送信パケットの構築にかかった最大時間

# show ip ospf policy statistics area

エリアの OSPF ポリシー統計情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics area** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] policy statistics area area id filter-list {in | out} [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<b>area</b> <i>area-id</i>	特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号を指定します。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) で指定します。
<b>filter-list</b>	OSPF エリアの間のプレフィックスをフィルタリングします。
<b>in</b>	着信ルートのポリシー統計情報を表示します。
<b>out</b>	発信ルートのポリシー統計情報を表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

エリアに適用されたフィルタ リストに関する情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics area** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、OSPF のポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf policy statistics area 201
```

# show ip ospf policy statistics redistribute

OSPF ポリシー統計情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis id
| ospf id | rip id | static} [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<b>bgp</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
<b>direct</b>	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
<b>eigrp</b>	Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を表示します。
<b>isis</b>	IS-IS ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<b>ospf</b>	OSPF のポリシー統計情報を表示します。
<b>rip</b>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>id</i>	<b>bgp</b> キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。  <b>eigrp</b> キーワードは、AS 番号です。有効範囲は 1 ~ 65535 です。  <b>isis</b> 、 <b>ospf</b> 、および <b>rip</b> キーワードの場合は、再配布されるルートのインスタンス名です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

再配布統計情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics redistribute** コマンドを使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例**

次に、再配布ルートのパリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf policy statistics redistribute
```

# show ip ospf request-list

ルータが要求した、すべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) のリストを表示するには、**show ip ospf request-list** コマンドを使用します。

**show ip ospf request-list** *neighbor-id interface interface-number*

## シンタックスの説明

<i>neighbor-id</i>	ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
<i>interface-type</i>	インターフェイス タイプ <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

OSPF ルーティング動作をトラブルシューティングするには、**show ip ospf request-list** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、ルータが要求したすべての LSA のリストを表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf request-list 40.40.40 ethernet 2/1
OSPF Process ID p1
Neighbor 40.40.40.40, interface Ethernet2/1, address 192.0.2.1
1 LSAs on request-list

Type  LS ID          ADV RTR          Seq NO          Age          Checksum
  1   192.0.2.12      192.0.2.12      0x8000020D     8           0x6572
```



表 1-19 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-19 show ip ospf request-list フィールドの説明

フィールド	説明
Type	LSA タイプ
LS ID	ネイバー ルータの IP アドレス
ADV RTR	アドバタイズ ルータの IP アドレス
Seq NO	LSA のパケット シーケンス番号
Age	LSA の経過時間 (秒単位)
Checksum	LSA のチェックサム番号

# show ip ospf retransmission-list

ネイバーへの再送信を待機する、すべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタ イズメント) のリストを表示するには、**show ip ospf retransmission-list** コマンドを使用します。

**show ip ospf retransmission-list** *neighbor-id interface interface-number*

## シンタックスの説明

<i>neighbor-id</i>	ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
<i>interface-type</i>	インターフェイス タイプ <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

OSPF ルーティング動作をトラブルシューティングするには、**show ip ospf retransmission-list** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、ネイバーへの再送信を待機するすべての LSA を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf retransmission-list 192.0.2.11 ethernet 2/1

      OSPF Router with ID (192.0.2.12) (Process ID 1)

Neighbor 192.0.2.11, interface Ethernet2/1 address 209.165.201.11
Link state retransmission due in 3764 msec, Queue length 2

Type  LS ID          ADV RTR          Seq NO          Age          Checksum
  1   192.0.2.12      192.0.2.12      0x80000210     0           0xB196
```

表 1-20 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-20 show ip ospf retransmission-list フィールドの説明

フィールド	説明
Type	LSA タイプ
LS ID	ネイバー ルータの IP アドレス
ADV RTR	アドバタイズ ルータの IP アドレス
Seq NO	LSA のパケット シーケンス番号
Age	LSA の経過時間 (秒単位)
Checksum	LSA のチェックサム番号

# show ip ospf routes

OSPF トポロジ テーブルを表示するには、**show ip ospf routes** コマンドを使用します。

```
show ospf [instance-tag] routes [prefix/length | summary] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<i>prefix /length</i>	(任意) IP プレフィクス。特定のルートへの出力を制限します。スラッシュ (/) と 1 ~ 31 の数値として長さを示します。たとえば、/8 は、IP プレフィクスの最初の 8 ビットがネットワーク ビットであることを示します。
<b>summary</b>	(任意) すべてのルートのサマリーを表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

デフォルト なし

コマンドモード すべて

ユーザ ロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** OSPF プライベート ルーティング テーブル (OSPF によって計算されるルートのみを含む) を表示するには、**show ospf routes** コマンドを使用します。ルーティング情報ベース (RIB) 内のルートに異常がある場合、ルートの OSPF コピーをチェックして、RIB 内容と一致するかどうか判断してください。一致しない場合、OSPF と RIB の間に同期化問題があります。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、OSPF ルートを表示する例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show ip ospf routes
OSPF Process ID sd vrf default, Routing Table
(D) denotes route is directly attached (R) denotes route is in RIB
61.61.61.61/32 (i) area 1
   via 192.168.2.1/Ethernet2/2, cost 21
100.100.2.0/24 (i) area 1
   via 192.168.2.1/Ethernet2/22, cost 20
192.168.2.0/24 (i) area 1
   via directly connected
```

表 1-21 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-21 show ospf route フィールドの説明

フィールド	説明
61.61.61.61/32	このルートを実行したルータのルータ ID。
via...	任意のプレフィクス宛てのパケットは、リストされたインターフェイスを介して送信されるか、このデバイスに直接接続されます。

# show ip ospf statistics

OSPF Shortest Path First (SPF) 計算統計情報を表示するには、**show ip ospf statistics** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] statistics [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。最大 20 文字の英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF の名前 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

LSA に関する情報を表示するには、**show ip ospf statistics** コマンドを使用します。この情報は、OSPF ネットワークのメンテナンスとトラブルシューティング両方に役立ちます。たとえば、LSA フラッピングのトラブルシューティングの第一段階として **show ip ospf statistics** コマンドを使用することを推奨します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、SPF 計算に関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf statistics
OSPF Process pl vrf default, Event statistics (cleared 2w3d ago)
  Router ID changes: 0
  DR elections: 50
  Older LSAs received: 16
  Neighbor state changes: 82
  Neighbor dead postponed: 0
  Neighbor dead interval expirations: 2
  Neighbor bad lsreqs: 0
  Neighbor sequence number mismatches: 0
  SPF computations: 101 full, 23 summary, 23 external
```

```
LSA Type Generated Refreshed Flushed Aged out
Router          41      1678         4         3
```

```

Network          12          2          15          1
Summary Net      53          6         120          6
Summary ASBR     0           0           0           0
AS External      0           0           0           0
Opaque Link      0           0           0           0
Opaque Area      0           0           0           0
Opaque AS        0           0           0           0

```

Following counters can not be reset:

```

LSA deletions: 0 pending, 14 hwm, 183 deleted, 14 revived, 27 runs
Hello queue: 0/200, hwm 2, drops 0
Flood queue: 0/100, hwm 2, drops 0
LSDB additions failed: 0

```

```

Buffers:      in use      hwm permanent      alloc      free
128 bytes    0           2           2      350300    350300
512 bytes    0           2           2       114       114
1520 bytes   0           0           0         0         0
4500 bytes   0           1           1       355       355
huge         0           0           0         0         0

```

表 1-22 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-22 show ip ospf statistics フィールドの説明

フィールド	説明
OSPF process	設定内の OSPF インスタンスに割り当てられた一意な値
vrf	この OSPF インスタンスの VRF
DR elections	新しい代表ルータが選択された回数
Neighbor...	ネイバーの詳細
LSA Type	各タイプの LSA が送信された数
Hello queue	処理する hello パケットのキュー <ul style="list-style-type: none"> <li>キュー内の現在数/キュー内の最大許容数</li> <li>hwm : 最高水準点。キュー内に保存されていたパケットの最大数</li> <li>drops : キューがいっぱいでドロップされたパケットの数</li> </ul>
flood queue	処理するフラッドパケットのキュー
buffers	パケットの保存に使用するメモリ量

# show ip ospf summary-address

OSPF インスタンスに設定されたすべてのサマリー アドレス再配布情報のリストを表示するには、**show ip ospf summary-address** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] summary-address [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、サマリー アドレスに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf summary-address

OSPF Process 2, Summary-address

10.2.0.0/255.255.0.0 Metric -1, Type 0, Tag 0
10.2.0.0/255.255.0.0 Metric -1, Type 0, Tag 10
```

表 1-23 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-23 show ip ospf summary-address フィールドの説明

フィールド	説明
10.2.0.0/255.255.0.0	OSPF プロセスのルータの IP アドレスおよびマスク
Metric -1	OSPF メトリック タイプ



表 1-23 show ip ospf summary-address フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Type 0	LSA のタイプ
Tag 0	OSPF プロセス タグの ID

# show ip ospf traffic

OSPF トラフィック統計情報を表示するには、**show ip ospf traffic** コマンドを使用します。

**show ip ospf** [*instance-tag*] **traffic** [*vrf vrf-name*]

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

1 つまたは複数の OSPF インスタンスのトラフィック情報を表示するには、**show ip ospf traffic** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、OSPF トラフィック情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf traffic
```

```
OSPF Process ID p1, vrf Red, Packet Counters (cleared 2w3d ago)
Total: 1690 in, 349230 out
LSU transmissions: first 100, rxmit 108, for req 16
Flooding packets output throttled (IP/tokens): 0 (0/0)
Ignored LSAs: 0, LSAs dropped during SPF: 0
LSAs dropped during graceful restart: 0
Errors: drops in      0, drops out      0, errors in      0
      errors out     0, unknown in     0, unknown out     0
      no ospf        0, bad version   0, bad crc         0
      dup rid        0, dup src       0, invalid src      0
      invalid dst    0, no nbr        0, passive         0
      wrong area     0, nbr changed  0, ip addr         0
      bad auth       0
      hellos         dbds      lsreqs      lsus        acks
In:      1411        70         16         136         57
Out:    348871      62          4         224         69
```

表 1-24 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-24 show ospf traffic フィールドの説明

フィールド	説明
OSPF Process	これらのトラフィック統計情報の OSPF インスタンス タグ
vrf	この OSPF インスタンスの VRF
Errors	
drops	ドロップされたパケットの数
bad version	間違ったバージョンで受信されたパケットの数
dup rid	重複したルータ ID のあるパケットの数
dup src	重複した送信元アドレスのあるパケットの数
no nbr	フル ネイバーではないルータからのパケットの数
nbr changed rid/ip addr	ネイバーの値と一致しないルータ ID/IP アドレスのペアのあるパケットの数
lsreq	タイプ LSREQ のパケットの数 (必要な LSA)
lsacks	タイプ LSACK のパケットの数 (確認応答された LSA)

#### 関連コマンド

コマンド	説明
clear ip ospf traffic	OSPF トラフィック統計情報をクリアします。

# show ip ospf virtual-links

OSPF 仮想リンクのパラメータと現在のステータスを表示するには、**show ip ospf virtual-links** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] virtual-links [brief] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。特定の OSPF インスタンスに関する OSPF 情報を表示するのにこのタグを使用します。
<b>brief</b>	(任意) 設定済み仮想リンクのサマリーを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) OSPF VRF の名前。 <i>vrf-name</i> 引数には、任意の文字列で指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの <i>vrf-names</i> です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

設定済み仮想リンクに関する情報を表示するには、**show ip ospf virtual-links** コマンドを使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、仮想リンクに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf virtual-links

Virtual link 2 to router 40.40.40.40 is up
  Process ID pl vrf default, Transit area 1, via interface Ethernet1/2, cost 10
  Local Address 192.0.2.2, Remote Address 192.0.2.1
  Index 4, Transmit delay 1 sec
  1 Neighbors, flooding to 1, adjacent with 1
  Timer intervals: hello 10, dead 40, wait 40, retransmit 5
    Hello timer due in 00:00:04
  No authentication
  Number of link LSAs: 0, checksum sum 0
```

```
Neighbor State is FULL, 4 state changes, last change 00:00:03
Hello options 0x2, dbd options 0x42
Last non-hello packet received 00:00:01
Dead timer due in 00:00:36
```

表 1-25 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-25 show ip ospf virtual-links フィールドの説明**

フィールド	説明
Virtual Link	OSPF ネイバーと、そのネイバーへのリンクがアップまたはダウンであるかを示します。
vrf	この OSPF インスタンスの VRF
Transit area...	仮想リンクが形成される通過エリア
via interface...	仮想リンクが形成されるインターフェイス
cost	仮想リンクによって OSPF ネイバーに到達するコスト
Transmit delay	仮想リンク上の送信遅延 (秒単位)
Timer intervals...	リンク用に設定されたさまざまなタイマー インターバル
Hello timer due in 0:00:04	次の hello をネイバーから送信する時間

# show ip policy

ルート ポリシー情報を表示するには、**show ip policy** コマンドを使用します。

**show ip policy** [*vrf vrf-name*]

<b>シンタックスの説明</b>	<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
------------------	---------------------	--

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンドモード</b>	すべて
----------------	-----

<b>ユーザ ロール</b>	ネットワーク管理者 VDC 管理者
----------------	----------------------

<b>コマンドの履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

<b>使用上のガイドライン</b>	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

<b>例</b>	次の例では、インターフェイスに付加されたポリシーを示します。
----------	--------------------------------

```
switch(config-if)# show ip policy
Interface          Route-map          Status   VRF-Name
Ethernet2/45      floor1            Inactive --
```

<b>関連コマンド</b>	<b>コマンド</b>	<b>説明</b>
	<b>ip policy</b>	インターフェイスにルート ポリシーを設定します。

# show ip prefix-list

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のプレフィクス リストを表示するには、**show ip prefix-list** コマンドを使用します。

**show ip prefix-list** [*name*]

## シンタックスの説明

<i>name</i>	(任意) コミュニティ リストの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
-------------	--

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、プレフィクス リストを表示します。

```
switch(config)# show ip prefix-list
ip prefix-list test2: 1 entries
    seq 5 permit 10.0.0.0/8
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip prefix-list</b>	BGP プレフィクス リストを設定します。

# show ip process

IP プロセスに関する情報を表示するには、**show ip process** コマンドを使用します。

**show ip process** [*vrf vrf-name*]

シンタックスの説明	<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
-----------	----------------------------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	すべて
---------	-----

ユーザ ロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
---------	----------------------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
------------	------------------------

**例** 次の例では、IP プロセスに関する詳細を示します。

```
switch(config)# show ip process
VRF default
  VRF id is 1
  Base table id is 1
  Auto discard is disabled
  Auto discard is not added
  Auto Null broadcast is configured
  Auto Punt broadcast is configured
  Static discard is not configured
  Number of static default route configured is 0
  Number of ip unreachable configured is 0
  Iodlist: 80
  Local address list:
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ipv6 process</b>	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。



# show ip rip

RIP の設定およびステータスを表示するには、任意のモードで **show ip rip** コマンドを使用します。

```
show ip rip [instance-tag] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) RIP インスタンスを選択します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

**デフォルト** デフォルトの動作または値はありません。

**コマンドモード** すべて

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次に、**show ip rip** コマンドの出力例を示します。

```
switch(config-if)# show ip rip
Process Name "rip-sd" vrf "default"
RIP port 520, multicast-group 224.0.0.9
Admin-distance: 40
Updates every 30 sec, expire in 180 sec
Collect garbage in 120 sec
Default-metric: 1
Max-paths: 8
Process is up and running
  Interfaces supported by ipv4 RIP :
    Ethernet1/2
```

表 1-26 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-26 show ip rip フィールドの説明

フィールド	説明
Process Name	RIP インスタンス タグ
Admin-distance	RIP に割り当てられた管理ディスタンス。ルータ アドレスファミリー コンフィギュレーション モードで <b>distance</b> コマンドを使用して、この値を設定できます。
Updates	RIP アップデートのタイマー値。インターフェイス コンフィギュレーション モードで <b>ip rip timer basic</b> コマンドを使用して、この値を設定できます。
expire	有効期限が満了する RIP アップデートのタイマー値。インターフェイス コンフィギュレーション モードで <b>ip rip timer basic</b> コマンドを使用して、この値を設定できます。
Collect garbage	RIP ルート テーブルで不要なデータを収集するためのタイマー値。インターフェイス コンフィギュレーション モードで <b>ip rip timer basic</b> コマンドを使用して、この値を設定できます。
Default metric	デフォルトのメトリック値。ルータ アドレスファミリー モードで <b>default-metric</b> コマンドを使用して、この値を設定します。
Max-paths	RIP ルート単位で許可された最大パスの数。ルータ アドレスファミリー モードで <b>max-paths</b> コマンドを使用して、この値を設定します。
Process	この RIP インスタンスの管理および動作ステート
Interfaces supported	RIP バージョン、およびこの RIP インスタンス用に設定されたインターフェイスのリスト。インターフェイス コンフィギュレーション モードで <b>ip router rip</b> コマンドを使用して、インターフェイスを追加または削除します。

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip rip interface</b>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip neighbor</b>	RIP ネイバー情報を表示します。
<b>show ip rip policy statistics</b>	RIP ポリシー統計情報を表示します。
<b>show ip rip route</b>	RIP ルート情報を表示します。
<b>show ip rip statistics</b>	RIP 統計情報を表示します。

# show ip rip interface

RIP トポロジ テーブルからインターフェイス エントリ情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip interface** コマンドを使用します。

**show ip rip interface** [*type instance*] [**vrf** *vrf-name*]

## シンタックスの説明

<b>interface</b> <i>type slot/port</i>	(任意) インターフェイスを指定します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定はありません。

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、**show ip rip interface** コマンドの出力例を示します。

```
switch(config-if)# show ip rip interface ethernet 1/2
Process Name "rip-sd" vrf "default"
RIP-configured interface information
```

```
GigabitEthernet1/2, protocol-down/link-down/admin-down, RIP state : down
address/mask NotConfigured, metric 1, split-horizon
```

表 1-27 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-27 show ip rip interface フィールドの説明

フィールド	説明
Process Name	RIP インスタンス タグ
vrf	このインターフェイスの VRF
Interface information	インターフェイス管理および動作ステート
RIP state	このインターフェイスの RIP 情報

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip rip</b>	RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip neighbor</b>	RIP ネイバー情報を表示します。
<b>show ip rip policy statistics</b>	RIP ポリシー統計情報を表示します。
<b>show ip rip route</b>	RIP ルート情報を表示します。
<b>show ip rip statistics</b>	RIP 統計情報を表示します。

# show ip rip neighbor

RIP トポロジ テーブルからネイバー情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip neighbor** コマンドを使用します。

**show ip } rip neighbor** [*interface-type instance*] [**vrf vrf-name**]

## シンタックスの説明

<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<i>instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

## コマンド モード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、**show rip neighbor** コマンドの出力例を示します。

```
switch(config-if)# show ip rip neighbor
Process Name "rip-sd" vrf "default"
RIP Neighbor Information (number of neighbors = 0)
('dead' means more than 300 seconds ago)
```

表 1-28 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-28 show ip rip neighbor フィールドの説明**

フィールド	説明
Process Name	RIP インスタンス タグ
vrf	このインターフェイスの VRF
Neighbor information	このインターフェイスで認識された RIP ネイバーの数

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip rip</b>	RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip interface</b>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip policy statistics</b>	RIP ポリシー統計情報を表示します。
<b>show ip rip route</b>	RIP ルート情報を表示します。
<b>show ip rip statistics</b>	RIP 統計情報を表示します。

# show ip rip policy statistics

RIP のポリシー統計情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip policy statistics** コマンドを使用します。

```
show ip rip policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis id | ospf id | ospfv3
id | static} [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>bgp</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
<b>direct</b>	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
<b>eigrp</b>	Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を表示します。
<b>isis</b>	IS-IS ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<b>ospf</b>	OSPF プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<b>ospfv3</b>	OSPF バージョン 3 (OSPFv3) プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
<b>id</b>	<p><b>bgp</b> キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p><b>eigrp</b> キーワードは、ルートの再配布元である EIGRP インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p><b>isis</b> キーワードは、ルートの再配布元である IS-IS インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p><b>ospf</b> キーワードは、ルートの再配布元である OSPF インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p>
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

## コマンド モード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次に、EIGRP のポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip rip policy statistics redistribute eigrp 201
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>clear ip rip policy statistics</b>	RIP のポリシー統計情報をクリアします。
<b>show ip rip</b>	RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip interface</b>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip neighbor</b>	ネイバーの RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip route</b>	RIP ルート情報を表示します。
<b>show ip rip statistics</b>	RIP 統計情報を表示します。



# show ip rip route

RIP トポロジ テーブルからルート情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip route** コマンドを使用します。

```
show ip rip route [prefix/length] [summary] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>prefix/length</i>	(任意) ルーティング情報を表示する IP または IPv6 プレフィクス
<b>summary</b>	(任意) 集約経路に関する情報を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

## コマンド モード

すべて

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、**show ip rip route** コマンドの出力例を示します。

```
:switch# show ip rip route
```

表 1-29 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-29 show ip rip route フィールドの説明

フィールド	説明
-------	----

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip rip</b>	RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip interface</b>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip neighbor</b>	ネイバーの RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip policy statistics</b>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<b>show ip rip statistics</b>	RIP 統計情報を表示します。

# show ip rip statistics

RIP トポロジテーブルから統計エントリ情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip statistics** コマンドを使用します。

**show ip rip statistics** [*interface-type instance*] [*vrf vrf-name*]

## シンタックスの説明

<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## コマンドのデフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

すべて

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、**show ip rip statistics** コマンドの出力例を示します。

```
switch# show ip rip statistics
Global update stats:
  Sent Multicast Updates: periodic 0,triggered 0
  Sent Multicast Requests: 0
  Sent Unicast Updates: 544
  Sent Unicast Requests: 544
  Recv Multicast Updates: 0
  Recv Multicast Requests: 0
  Recv Unicast Updates: 500
  Recv Unicast Requests: 544
  Recv Bad Pkts: 0
  Recv Bad Routes: 0
```

表 1-30 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-30 show ip rip statistics フィールドの説明

フィールド	説明
Sent Multicast Updates:	送信された RIP マルチキャスト アップデートの数
Sent Multicast Requests:	送信された RIP マルチキャスト要求の数
Sent Unicast Updates:	送信された RIP ユニキャスト アップデートの数
Sent Unicast Requests:	送信された RIP ユニキャスト要求の数
Recv Multicast Updates:	受信された RIP マルチキャスト アップデートの数
Recv Multicast Requests:	受信された RIP マルチキャスト要求の数
Recv Unicast Updates:	受信された RIP ユニキャスト アップデートの数
Recv Unicast Requests:	受信された RIP ユニキャスト要求の数
Recv Bad Pkts:	受信された不良 RIP パケットの数
Recv Bad Routes:	受信された不良 RIP ルートの数

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip rip</b>	RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip interface</b>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip neighbor</b>	ネイバーの RIP 情報を表示します。
<b>show ip rip policy statistics</b>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<b>show ip rip route</b>	RIP ルート情報を表示します。

# show ip route

ユニキャスト RIB からルートを表示するには、**show ip route** コマンドを使用します。

```
show ip route [all | addr | hostname | prefix | route-type | interface type number | next-hop
addr]] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>all</b>	(任意) すべてのルートを表示します。
<b>addr</b>	(任意) IPv4 アドレス。形式は x.x.x.x です。
<b>hostname</b>	ホスト名。name は、大文字と小文字が区別される 80 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>prefix</b>	(任意) IPv4 プレフィクス。形式は x.x.x.x/length です。length の範囲は 1 ~ 32 です。
<b>route-type</b>	(任意) ルート タイプ。? を使用して タイプのリストを表示します。
<b>interface type number</b>	(任意) インターフェイスのルートを表示します。? を使用して サポートされているインターフェイスを表示します。
<b>next-hop addr</b>	(任意) このネクストホップ アドレスのあるルートを表示します。形式は x.x.x.x です。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(3)	このコマンドが追加されました。
4.1(2)	hostname 引数が追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、ルート テーブルを表示します。

```
switch(config)# show ip route all
IP Route Table for VRF "default"
'*' denotes best ucast next-hop      '*' denotes best mcast next-hop
'[x/y]' denotes [preference/metric]
```

```
0.0.0.0/32, 1 ucast next-hops, 0 mcast next-hops
  *via Null0, [220/0], 00:45:24, local, discard
255.255.255.255/32, 1 ucast next-hops, 0 mcast next-hops
  *via sup-eth1, [0/0], 00:45:24, local
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>clear ip route</b>	ルート テーブルのエントリをクリアします。

# show ip static-route

ユニキャスト RIB からスタティック ルートを表示するには、**show ip static-route** コマンドを使用します。

```
show ip static-route [vrf {vrf-name | all}]
```

## シンタックスの説明

<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>all</b>	(任意) すべての VRF 名を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.2(1)	<b>all</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、スタティック ルートを表示します。

```
switch(config)# show ip static-route
IPv4 Unicast Static Routes:

Total number of routes: 0, unresolved: 0
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip route</b>	スタティック ルートを設定します。

# show ip traffic

IP トラフィック情報を表示するには、**show ip traffic** コマンドを使用します。

## show ip traffic

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードと引数はありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、IP トラフィック情報を表示します。

```
switch(config)# show ip traffic

IP Software Processed Traffic Statistics
-----
Transmission and reception:
  Packets received: 14121, sent: 3415, consumed: 0,
  Forwarded, unicast: 0, multicast: 0, Label: 0
Opts:
  end: 0, nop: 0, basic security: 0, loose source route: 0
  timestamp: 0, extended security: 0, record route: 0
  stream ID: 0, strict source route: 0, alert: 45, cipso: 0, ump: 0
  other: 0
Errors:
  Bad checksum: 0, packet too small: 0, bad version: 0,
  Bad header length: 0, bad packet length: 0, bad destination: 0,
  Bad ttl: 0, could not forward: 126, no buffer dropped: 0,
  Bad encapsulation: 0, no route: 0, non-existent protocol: 0
Fragmentation/reassembly:
  Fragments received: 0, fragments sent: 0, fragments created: 0,
  Fragments dropped: 0, packets with DF: 0, packets reassembled: 0,
  Fragments timed out: 0
```

```
ICMP Software Processed Traffic Statistics
-----
Transmission:
  Redirect: 0, unreachable: 0, echo request: 0, echo reply: 1,
  Mask request: 0, mask reply: 0, info request: 0, info reply: 0,
  Parameter problem: 0, source quench: 0, timestamp: 0,
  Timestamp response: 0, time exceeded: 0,
  Irdp solicitation: 0, irdp advertisement: 0
Reception:
  Redirect: 0, unreachable: 337, echo request: 1, echo reply: 0,
  Mask request: 0, mask reply: 0, info request: 0, info reply: 0,
  Parameter problem: 0, source quench: 0, timestamp: 0,
  Timestamp response: 0, time exceeded: 0,
  Irdp solicitation: 0, irdp advertisement: 0,
  Format error: 0, checksum error: 0

Statistics last reset: never
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show ip process</b>	IP プロセスに関する情報を表示します。



# show ip wccp

Web Cache Communication Protocol (WCCP) に関連するグローバル統計情報を表示するには、**show ip wccp** コマンドを使用します。

```
show ip wccp [vrf vrf-name] [service-number | web-cache] [detail | mask | service | view]
```

## シンタックスの説明

<b>vrf vrf-name</b>	(任意) サービス グループを作成する必要がある VRF を指定します。VRF が指定されなかった場合は、デフォルト グローバル VRF 内にサービス番号が作成されます。 <i>vrf-name</i> は、大文字と小文字が区別される 32 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>service-number</b>	(任意) ダイナミック サービス識別情報。 <i>service-number</i> の範囲は 1 ~ 255 です。
<b>web-cache</b>	(任意) 既知の Web キャッシュ サービスに関する情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) デバイスとすべての Web キャッシュに関する情報を表示します。
<b>mask</b>	(任意) WCCP マスクに関する情報を表示します。
<b>service</b>	(任意) WCCP サービスに関する情報を表示します。
<b>view</b>	(任意) 削除された、または削除されていないサービス グループのメンバーに関する情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show ip wccp service-number** コマンドは、Total Packets Redirected カウントを提供するために使用します。Total Packets Redirected カウントは、リダイレクトされたフローまたはセッションの数です。

**show ip wccp service-number detail** コマンドは、Pakets Redirected カウントを提供するために使用します。Packets Redirected カウントは、リダイレクトされたフローまたはセッションの数です。

**clear ip wccp** コマンドは、統計情報をリセットするために使用します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、サービス 90 の WCCP 情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip wccp 90
Service Identifier: 90
  Number of Service Group Clients:    1
  Number of Service Group Routers:   1
  Total Packets Redirected:           0
  Service mode:                       Closed
  Service Access-list:                tcp91
  Total Packets Dropped Closed:       0
  Redirect Access-list:               -none-
  Total Packets Denied Redirect:      0
  Total Packets Unassigned:           0
  Total Authentication failures:      0
  Total Bypassed Packets Received:    0
```

表 1-31 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-31 show ip rip フィールドの説明

フィールド	説明
Service Identifier	サービスの識別情報
Number of Service Group Clients	サービス グループ内のルータ数
Total Packets Redirected	ルータによってリダイレクトされたパケットの総数
Service mode	WCCP サービス モード。オプションは <b>open</b> と <b>closed</b> です。
Service Access-list	サービスと一致するパケットが定義された名前付き IP アクセス リスト
Total Packets Dropped Closed	WCCP が、クローズされたサービス用に設定されており、サービスの処理に中継装置が使用できない場合に破棄されたパケットの総数
Redirect Access-list	リダイレクトするパケットが決定されるアクセスリストの名前
Total Packets Denied Redirect	アクセス リストと一致しないためにリダイレクトされなかったパケットの総数
Total Packets Unassigned	どのキャッシュ エンジンにも割り当てられていないためにリダイレクトされなかったパケット数。キャッシュ エンジンの初期検出中またはクラスタからキャッシュが取り外されたときは、パケットが割り当てられない可能性があります。
Total Authentication failures	パスワードが一致しなかったインスタンス数
Total Bypassed Packets Received	バイパスされた (ネゴシエート済みのリターン方式を通して到着した) パケット数

次に、サービス 10 の WCCP グループ メンバーの詳細を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip wccp 10 view
WCCP Router Informed of:
  10.168.88.10
  10.168.88.20

WCCP Cache Engines Visible
  10.168.88.11
  10.168.88.12

WCCP Cache Engines Not Visible:
  -none-
```

WCCP Cache Engines Not Visible フィールドにキャッシュ エンジンが表示されない場合は、認識できないキャッシュ エンジンマップするようにルータを設定し直す必要があります。

表 1-32 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-32 show ip wccp view フィールドの説明

フィールド	説明
WCCP Router Informed of	現在のルータによって削除されたルータのリスト
WCCP Clients Visible	サービス グループ内のルータで認識可能なクライアントとその他のクライアントのリスト
WCCP Clients Not Visible	サービス グループ内のルータで認識できないクライアントとその他のクライアントのリスト

次に、サービス タイプを含む WCCP クライアント情報と WCCP ルータ統計情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip wccp 91 detail
WCCP Client information:

WCCP Client ID:          10.1.1.1
Protocol Version:        2.0
State:                   Usable (Usable)
Redirection:             L2
Packet Return:           L2
Packets Redirected:      0
Connect Time:            00:01:15
Assignment:              MASK
Bypassed Packets:        0
Mask  SrcAddr    DstAddr    SrcPort  DstPort
-----
0001: 0x00000001 0x00000000 0x0000    0x0000
Value SrcAddr    DstAddr    SrcPort  DstPort  CE-IP
-----
0001: 0x00000000 0x00000000 0x0000    0x0000    0x0a010101 (10.1.1.1)
0002: 0x00000001 0x00000000 0x0000    0x0000    0x0a010101 (10.1.1.1)
```

表 1-33 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-33 show ip wccp detail フィールドの説明

フィールド	説明
WCCP Router information	サービス グループ内のキャッシュ エンジンに接続されたルータに関連付けられた WCCP の IP アドレスとバージョン用のフィールドを含むエリアのヘッダー
IP Address	サービス グループ内のキャッシュ エンジンに接続されたルータの IP アドレス
WCCP Client Information	クライアントの情報に関するフィールドを含むエリアのヘッダー
IP Address	サービス グループ内のキャッシュ エンジンの IP アドレス
State	キャッシュ エンジンが正常に動作しており、サービス グループ内のルータやその他のキャッシュ エンジンから認識できるかどうか
Packets Redirected	キャッシュ エンジンにリダイレクトされたパケット数

表 1-33 show ip wccp detail フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Connect Time	キャッシュ エンジンがルータに接続されている時間
Bypassed Packets	バイパスされたパケット数

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear ip wccp</b>	WCCP によってリダイレクトされたパケットのカウンタをクリアします。
<b>ip wccp</b>	ルータ上で WCCP をイネーブルにして、使用するサービス タイプを指定します。
<b>show ip interface</b>	インターフェイスの IP 情報とステータスのサマリーを列挙します。

# show ipv6 adjacency

隣接情報を表示するには、**show ipv6 adjacency** コマンドを使用します。

```
show ipv6 adjacency [ipv6-addr | interface] [detail] [non-best] [statistics] [summary] [vrf
vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>ipv6-addr</i>	(任意) IPv6 送信元アドレス。形式は A:B::C:D です。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス。? を使用して サポートされている インターフェイス タイプを特定します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細な隣接関係情報を表示します。
<b>non-best</b>	(任意) ベスト隣接関係エントリと代替隣接関係エントリを表示します。
<b>statistics</b>	(任意) 隣接関係統計情報を表示します。
<b>summary</b>	(任意) 隣接関係情報のサマリーを表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	<b>non-best</b> キーワードと <b>summary</b> キーワードが追加されました。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、隣接関係情報のサマリーを表示します。

```
switch# show ipv6 adjacency summary
IPv6 Adjacency Table for VRF default
Total number of entries: 0
Address          Age          MAC Address      Pref Source      Interface
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show forwarding adjacency</code>	転送隣接関係情報を表示します。

# show ipv6 bgp

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) テーブルのエントリを表示するには、**show ipv6 bgp** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp [ipv6-addr | ipv6-prefix [longer-prefixes]] [received-paths] [regex
expression] [route-map map-name] [summary] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>ipv6-addr</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのネットワーク。形式は A:B::C:D です。
<i>ipv6-prefix</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのプレフィクス。形式は A:B::C:D/length です。
<b>longer-prefixes</b>	(任意) プレフィクスとより詳しいルートを表示します。
<b>received-paths</b>	(任意) ソフトリコンフィギュレーション用に保存されたパスを表示します。
<b>regex</b> <i>expression</i>	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
<b>route-map</b> <i>map-name</i>	(任意) ルート マップと一致するルートを表示します。マップ名は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>summary</b>	(任意) ルートのサマリーを表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、BGP ルート テーブルを表示します。

```
switch(config-router)# show ipv6 bgp
BGP routing table information for VRF default, address family IPv6 Unicast
```

■ show ipv6 bgp

## 関連コマンド

コマンド	説明
clear bgp	BGP ルート テーブルのエントリをクリアします。



# show ipv6 bgp community

コミュニティと一致する BGP ルートを表示するには、**show ipv6 bgp community** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp community [as-number] [internet] [no-advertise] [no-export]
[no-export-subconfed] [exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>as-number</b>	AS 番号。AS 番号は、<上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数> 形式の 16 ビットの整数または 32 ビットの整数です。
<b>internet</b>	(任意) インターネット コミュニティを表示します。
<b>no-advertise</b>	(任意) no-advertise コミュニティを表示します。
<b>no-export</b>	(任意) no-export コミュニティを表示します。
<b>no-export-subconfed</b>	(任意) no-export-subconfed コミュニティを表示します。
<b>exact-match</b>	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、コミュニティと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp community
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip community-list</b>	コミュニティ リストを作成します。

# show ipv6 bgp community-list

コミュニティ リストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ipv6 bgp community-list** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp [community-list commlist-name [exact-match]] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>community-list</b>	コミュニティ リストと一致するルートを表示します。commlist-name は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>commlist-name</b>	
<b>exact-match</b>	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク 管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp community-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip community-list</b>	コミュニティ リストを作成します。

# show ipv6 bgp dampening

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ダンプニング情報を表示するには、**show ipv6 bgp dampening** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp dampening {dampened-paths [regex expression] | flap-statistics |  
history-paths [regex expression] | parameters} [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>dampened-paths</b>	ダンプニングされたパスをすべて表示します。
<b>regex expression</b>	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
<b>flap-statistics</b>	ルートの統計情報を表示します。
<b>history-paths</b>	履歴パスをすべて表示します。
<b>parameters</b>	ダンプニング パラメータをすべて表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク 管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、ダンプニング情報を表示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp dampening dampened-paths
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip bgp dampening</b>	BGP ダンプニング情報を表示します。

# show ipv6 bgp extcommunity-list

拡張コミュニティ リストと一致する BGP ルートを表示するには、**show ipv6 bgp extcommunity-list** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp extcommunity-list commlist-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>commlist-name</i>	拡張コミュニティ リストの名前。 <i>commlist-name</i> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp extcommunity-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip extcommunity-list</b>	拡張コミュニティ リストを作成します。

# show ipv6 bgp filter-list

フィルタ リストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ipv6 bgp filter-list** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp filter-list list-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>list-name</b>	フィルタ リストの名前。commlist-name は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、フィルタ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp filter-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip bgp filter-list</b>	フィルタ リストと一致する BGP ルートを表示します。

# show ipv6 bgp flap-statistics

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) フラップ統計情報を表示するには、**show ipv6 bgp flap-statistics** コマンドを使用します。

**show ipv6 bgp flap-statistics** [*prefix*] [*vrf vrf-name*]

## シンタックスの説明

<i>prefix</i>	(任意) IPv6 プレフィクス。形式は A:B::C:D/length です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、フラップ統計情報を表示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp flap-statistics
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip bgp</b>	BGP 情報を表示します。

# show ipv6 bgp history-paths

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) 履歴パスを表示するには、**show ipv6 bgp history-paths** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp history-paths [regex expression] [vrf vrf-name]
```

<b>シンタックスの説明</b>	<b>regex expression</b> (任意) 正規表現と一致する情報を表示します。				
	<b>vrf vrf-name</b> (任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。				
<b>デフォルト</b>	なし				
<b>コマンド モード</b>	任意のコマンド モード				
<b>ユーザ ロール</b>	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
<b>コマンドの履歴</b>	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが追加されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが追加されました。				
<b>使用上のガイドライン</b>	このコマンドにはライセンスは必要ありません。				
<b>例</b>	次の例では、BGP 履歴パス情報を表示します。 <pre>switch(config)# show ipv6 bgp history-paths</pre>				
<b>関連コマンド</b>	<table><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td><b>show ip bgp history-paths</b></td><td>BGP 履歴パス情報を表示します。</td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	<b>show ip bgp history-paths</b>	BGP 履歴パス情報を表示します。
コマンド	説明				
<b>show ip bgp history-paths</b>	BGP 履歴パス情報を表示します。				

# show ipv6 bgp neighbors

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネイバーを表示するには、**show ipv6 bgp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp neighbors [ addr [advertised-routes | flap-statistics | paths |
received-routes | routes [advertised | dampened | received]] | prefix] [vrf { all |
vrf-name}]
```

## シンタックスの説明

<b>addr</b>	IPv6 アドレス。形式は A:B::C:D です。
<b>advertised-routes</b>	(任意) このネイバーにアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
<b>flap-statistics</b>	(任意) このネイバーから受信されたルートのフラップ統計情報を表示します。
<b>paths</b>	(任意) このネイバーから取得された AS パスを表示します。
<b>received-routes</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
<b>routes</b>	(任意) このネイバーとの間で受信またはアドバタイズされたルートを表示します。
<b>advertised</b>	(任意) このネイバー用にアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
<b>dampened</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのダンプニングされたルートを表示します。
<b>received</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
<b>prefix</b>	(任意) IPv6 プレフィクス。形式は A:B::C:D/length です。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>all</b>	(任意) すべての VRFS を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク 管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.1(2)	<b>paths</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。



---

**例**

次の例では、BGP ネイバーを表示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp neighbors
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show ip bgp neighbors</b>	BGP 情報を表示します。

---

# show ipv6 bgp nexthop

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ情報を表示するには、**show ipv6 bgp nexthop** コマンドを使用します。

**show ipv6 bgp nexthop** *addr* [*vrf vrf-name*]

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>addr</i>	IPv4 アドレス。形式は A:B::C:D です。
	<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 任意のコマンド モード

**ユーザ ロール** ネットワーク 管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、BGP ネクストホップ情報を表示します。  

```
switch(config)# show ipv6 bgp nexthop 2001:0DB8::1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ip bgp nexhop</b>	BGP 情報を表示します。

# show ipv6 bgp nexthop-database

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ データベースを表示するには、**show ipv6 bgp nexthop-database** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp nexthop-database [vrf vrf-name]
```

<b>シンタックスの説明</b>	<b>vrf vrf-name</b> (任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。				
<b>デフォルト</b>	なし				
<b>コマンドモード</b>	任意のコマンドモード				
<b>ユーザロール</b>	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
<b>コマンドの履歴</b>	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが追加されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが追加されました。				
<b>使用上のガイドライン</b>	このコマンドにはライセンスは必要ありません。				
<b>例</b>	次の例では、BGP ネクストホップ データベースを表示します。 <pre>switch(config)# show ipv6 bgp nexthop-database</pre>				
<b>関連コマンド</b>	<table><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td><b>show ip bgp nexthop-database</b></td><td>BGP 情報を表示します。</td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	<b>show ip bgp nexthop-database</b>	BGP 情報を表示します。
コマンド	説明				
<b>show ip bgp nexthop-database</b>	BGP 情報を表示します。				

# show ipv6 bgp prefix-list

プレフィクス リストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ipv6 bgp prefix-list** コマンドを使用します。

**show ipv6 bgp prefix-list** *list-name* [**exact-match**] [**vrf vrf-name**]

## シンタックスの説明

<i>list-name</i>	プレフィクス リストの名前。commlist-name は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、プレフィクス リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp prefix-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip bgp prefix-list</b>	プレフィクス リストと一致する BGP ルートを表示します。

# show ipv6 client

内部 IPv6 クライアントに関する情報を表示するには、**show ipv6 client** コマンドを使用します。

**show ipv6 client** [*name*]

シンタックスの説明	<i>name</i> (任意) クライアントの名前
-----------	----------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
---------	------------

ユーザ ロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
---------	---

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
------------	------------------------

例	次の例では、ICMPv6 の IPv6 クライアント情報を表示します。
---	-------------------------------------

```
switch(config-if)# show ipv6 client icmpv6
IPv6 Registered Client Status

Client: icmpv6, status: up, pid: 3688, extended pid: 3688
  Protocol: 58, pib-index: 2, routing context id: 255
  Control mts SAP: 1551
  Data mts SAP: 1552
  IPC messages to control mq: 3
  IPC messages to data mq: 0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ipv6 process</b>	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。

# show ipv6 eigrp

EIGRP for IPv6 プロセスのサマリーを表示するには、**show ipv6 eigrp** コマンドを使用します。

**show ipv6 eigrp** [*instance-tag*]

シンタックスの説明	<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
デフォルト	なし	
コマンドモード	すべて	
ユーザ ロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者	
コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.1(2)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。	

**例** 次に、すべての EIGRP for IPv6 インスタンスを表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 eigrp
IP-EIGRP AS 0 ID 0.0.0.0 VRF default
  Process-tag: Test1
  Status: shutdown
  Authentication mode: none
  Authentication key-chain: none
  Metric weights: K1=1 K2=0 K3=1 K4=0 K5=0
  IP proto: 88 Multicast group: ff02::000a
  Int distance: 90 Ext distance: 170
  Max paths: 8
  Number of EIGRP interfaces: 0 (0 loopbacks)
  Number of EIGRP peers: 0
```

# show ipv6 eigrp accounting

EIGRP for IPv6 プロセスのプレフィクス アカウンティング情報を表示するには、**show ipv6 eigrp accounting** コマンドを使用します。

```
show ipv6 eigrp [instance-tag] accounting [vrf {vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。このオプションは、VRF インスタンスが指定されていない場合に使用できます。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、EIGRP アカウンティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 eigrp accounting
```

```
IPv6-EIGRP accounting for AS(100)/ID(192.0.2.1) vrf RED
Total Prefix Count: 4
States: A-Adjacency, P-Pending, D-Down
```

State	Address/Source	Interface	Prefix Count	Restart Count	Restart/Reset (s)
P	Redistributed	----	0	3	211
A	2001:0DB8::2	e2/1	2	0	84
P	2001:0DB8::3	e3/3	0	2	114
D	2001:0DB8::4	e4/1	0	3	0

表 1-34 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-34 show ipv6 eigrp accounting フィールドの説明

フィールド	説明
IPv6-EIGRP accounting for AS...	EIGRP インスタンス、AS 番号、ルータ ID、および ID
Total Prefix Count:	EIGRP インスタンス トポロジ テーブル内のプレフィクスを合計します。カウントには、すべてのネイバーまたは再配布から学習したプレフィクスが含まれます。
States : A-Adjacency、P-Pending、D-Down	<p>A-Adjacency : ネイバーまたは通常の再配布ステータスが安定した隣接関係であることを示します。</p> <p>P-Pending : プレフィクスの上限を超えたため、ネイバーとの隣接関係または再配布が中断されているか、ペナルティを課された状態になっています。</p> <p>D-Down : <b>clear route</b> コマンドを使用した手動リセットが実行されるまで、ネイバーとの隣接関係または再配布が中断されています。</p>
Address/Source	再配布送信元のピア IP アドレス
Prefix Count	送信元別の取得されたプレフィクスの総数。 <b>(注)</b> ルートは複数の送信元からの同じプレフィクスとして取得できます。また、このカラム内のすべてのプレフィクス カウントの合計が、「Prefix Count」フィールドに表示された数値を上回る場合があります。
Restart Count	ルート送信元が最大プレフィクス制限を超えた回数
Restart Reset(s)	ルート送信元が P (penalized) ステートである時間 (秒単位)。ルート送信元が A (安定または通常の) ステートである場合、表示された時間は penalization 履歴がリセットされるまでの時間になります (秒単位)。



# show ipv6 eigrp interfaces

EIGRP for IPv6 に設定されたインターフェイスに関する情報を表示するには、**show ipv6 eigrp interfaces** コマンドを使用します。

```
show ipv6 eigrp [instance-tag] interfaces [type instance] [brief] [vrf {vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>vrf *</b>	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<i>instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス  <i>instance</i> を指定すると、ネイバーテーブルからこのインターフェイスを介して学習されたエントリをすべて削除します。  詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<b>brief</b>	(任意) EIGRP インターフェイス情報の概要を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

VRF またはインターフェイスが指定されていない場合、このコマンドはデフォルト VRF のすべてのインターフェイスを表示します。

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show ipv6 eigrp interfaces** コマンドは、どのインターフェイス EIGRP がアクティブかを決定し、それらのインターフェイスに関連した EIGRP に関する情報を取得するために使用します。

インターフェイスを指定すると、そのインターフェイスのみが表示されます。指定しないと、EIGRP が稼動するすべてのインターフェイスが表示されます。

Autonomous System (AS; 自律システム) を指定すると、指定された AS のルーティング システムのみが表示されます。指定しないと、すべての EIGRP プロセスが表示されます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、EIGRP インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 eigrp interfaces brief

IPv6 EIGRP interfaces for process 1 vrf default

Interface          Peers    Xmit Queue    Mean    Pacing Time    Multicast    Pending
                   Un/Reliable  SRTT          Un/Reliable  Flow Timer    Routes
-----
e2/2                0        0/0           0        11/434         0           0
e2/20               1        0/0           337      0/10          0           0
e4/2                1        0/0           10       1/63          103         0
e3/2                1        0/0           330      0/16          0           0

switch#
```

表 1-35 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-35 show ip eigrp interfaces フィールドの説明**

フィールド	説明
Interface	EIGRP が設定されているインターフェイス
Peers	直接接続された EIGRP ネイバーの数
Xmit Queue Un/Reliable	信頼できない、または信頼できる送信キューにあるパケットの数
Mean SRTT	平均 smoothed round-trip time (SRTT) インターバル (ミリ秒単位)
Pacing Time Un/Reliable	EIGRP パケット (信頼できない、または信頼できるパケット) をインターフェイスに送信するときを決定するペーシング時間
Multicast Flow Timer	ルータがマルチキャスト EIGRP パケットを送信する最大秒数
Pending Routes	送信されるのを待っている、送信キュー内のパケット内のルート数

## 関連コマンド

コマンド	説明
show ipv6 eigrp neighbors	EIGRP が検出したネイバーを表示します。

# show ipv6 eigrp neighbors

EIGRP for IPv6 によって検出されたネイバーに関する情報を表示するには、**show ipv6 eigrp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ipv6 eigrp [instance-tag] neighbors [detail] [interface-type interface-instance]
[static] [vrf {vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細な EIGRP ネイバー情報を表示します。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<i>interface-instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス  <i>instance</i> を指定すると、ネイバーテーブルからこのインターフェイスを介して学習されたエントリをすべて削除します。  ルータ構文の詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<b>static</b>	(任意) スタティック EIGRP インターフェイス情報を表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

VRF またはインターフェイスが指定されていない場合、このコマンドはすべてのインターフェイス上のデフォルト VRF に関するすべてのネイバーを表示します。

## コマンド モード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show ipv6 eigrp neighbors** コマンドは、ネイバーがアクティブまたは非アクティブになるタイミングを特定するために使用します。このコマンドは、特定の転送問題のデバッグにも役立ちます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、EIGRP ネイバーに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 eigrp neighbors

IPv6-EIGRP Neighbors for process 77 vrf default

Address                Interface    Holdtime Uptime    Q      Seq  SRTT  RTO
                   (secs)    (h:m:s)  Count  Num  (ms)  (ms)
-----
2001:0DB8::28         e1/3        13      0:00:41  0     11   4     20
2001:0DB8:2          e4/4        14      0:02:01  0     10  12     24

switch#
```

表 1-36 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-36 show ip eigrp neighbors フィールドの説明

フィールド	説明
process	ルータ コンフィギュレーション コマンドで指定された Autonomous System (AS; 自律システム) 番号
vrf	VRF 名。
Address	EIGRP ピアの IPv6 アドレス
Interface	ルータがピアから hello パケットを受信するインターフェイス
Holdtime	ピアがダウンしていると宣言するまでに、Cisco NX-OS ソフトウェアがピアからの受信を待機する時間 (秒単位)
Uptime	ローカル ルータがこのネイバーから最初に受信して以降の経過時間 (時分秒単位)
Q Count	ソフトウェアが送信を待機する EIGRP パケット (アップデート、クエリー、および応答) の数
Seq Num	このネイバーから受信した最後のアップデート、クエリー、または応答パケットのシーケンス番号
SRTT	smoothed round-trip time (SRTT)。このフィールドは、EIGRP パケットをこのネイバーに送信し、ローカル ルータがパケットの acknowledgment (ACK; 確認応答) を受信するのに必要なミリ秒数を示します。
RTO	再送信タイムアウト (ミリ秒単位)。このフィールドは、再送信キューからパケットをネイバーに再送信するまでソフトウェアが待機する時間を示します。

次に、EIGRP ネイバーに関する詳細な情報を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 eigrp neighbors detail

IPv6-EIGRP neighbors for AS 1 vrf default

H  Address                Interface    Hold Uptime    SRTT  RTO  Q  Seq
                   (sec)    (h:m:s)  (ms)  (ms)  Cnt  Num
0  2001:0DB9::10         e1/5        14 01:00:52   3    200  0  10

    Version 12.4/1.2, Retrans: 0, Retries: 0, Prefixes: 3

switch#
```

表 1-37 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-37 show ip eigrp neighbors detail フィールドの説明

フィールド	説明
Version	ノードおよびネイバーで稼動する EIGRP ソフトウェアのバージョン
Retrans:	このネイバーへの再送信の数
Retries:	最後の ACK 以降の、このネイバーへの再送信の数
Prefixes	このネイバーから学習したプレフィックスの数

#### 関連コマンド

コマンド	説明
clear ipv6 eigrp neighbors	EIGRP のネイバーをクリアします。

# show ipv6 eigrp route-map statistics

EIGRP for IPv6 のルート再配布統計情報を表示するには、任意のモードで **show ipv6 eigrp route-map statistics** コマンドを使用します。

```
show ipv6 eigrp [instance-tag] route-map statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id
| isis id | ospfv3 id | rip id | static} [vrf {vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>vrf *</b>	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
<b>bgp</b>	BGP のポリシー統計情報を表示します。
<b>direct</b>	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
<b>eigrp</b>	EIGRP のポリシー統計情報を表示します。
<b>isis</b>	IS-IS ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<b>ospfv3</b>	OSPFv3 プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<b>rip</b>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>id</i>	<p><b>bgp</b> キーワードの場合の <i>id</i> は、自律システム番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p><b>eigrp</b> キーワードの場合の <i>id</i> は、ルートが再配布される EIGRP インスタンス名です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p><b>isis</b> キーワードの場合の <i>id</i> は、ルートが再配布される IS-IS インスタンス名です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p><b>ospf</b> キーワードの場合の <i>id</i> は、ルートが再配布される OSPF インスタンス名です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p>
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.1(2)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次に、EIGRP のルート マップ統計情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ipv6 eigrp route-map statistics redistribute direct
C: No. of comparisons, M: No. of matches
```

```
route-map rmap1 permit 1
```

```
Total accept count for policy: 10
```

```
Total reject count for policy: 0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>clear ipv6 eigrp route-map statistics</b>	EIGRP のルート マップ統計情報をクリアします。
	<b>show ipv6 eigrp traffic</b>	EIGRP トラフィック統計情報を表示します。

# show ipv6 eigrp topology

EIGRP for IPv6 トポロジ テーブルを表示するには、**show ipv6 eigrp topology** コマンドを使用します。

**show ipv6 eigrp** [*instance-tag*] **topology** [*ipv6-address/length*] [**active** | **all-links** | **detail-links** | **pending** | **summary** | **zero-successors**] [**vrf** {*vrf-name* | \*}]

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>ipv6-address/length</i>	(任意) スラッシュ (/) と数値としてネットワーク マスクが指定された A::B::C:D 形式の IP アドレス。length の範囲は 1 ~ 128 です。
<b>active</b>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのアクティブ エントリのみを表示します。
<b>all-links</b>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのエントリをすべて表示します。
<b>detail-links</b>	(任意) EIGRP トポロジ テーブル内の全エントリの詳細情報を表示します。
<b>pending</b>	(任意) ネイバーからアップデートを待機する、またはネイバーへの応答を待機する EIGRP トポロジ テーブルのすべてのエントリを表示します。
<b>summary</b>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのサマリーを表示します。
<b>zero-successors</b>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルで使用可能なルートを表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

## デフォルト

VRF が指定されていない場合、このコマンドはデフォルトの VRF の情報を表示します。

## コマンド モード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show ipv6 eigrp topology** コマンドは、DUAL ステータスを特定し、可能性のある DUAL 問題をデバッグするために使用します。

キーワードまたは引数を指定せずに **show ipv6 eigrp topology** コマンドを使用すると、Cisco NX-OS はフィージブル サクセサであるルートのみを表示します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。



## 例

次に、EIGRP トポロジテーブルを表示する例を示します。指定された内部ルートおよび外部ルートの EIGRP メトリックが表示されます。

```
switch# show ipv6 eigrp topology 2001:0DB8::/24

IP-EIGRP (AS 1): Topology entry for 2001:0DB8::/24
  State is Passive, Query origin flag is 1, 1 Successor(s), FD is 281600
  Routing Descriptor Blocks:
    2001:0DB8::10 (Ethernet 2/1), from 2001:0DB8::1, Send flag is 0x0
    Composite metric is (409600/128256), Route is External
  Vector metric:
    Minimum bandwidth is 10000 Kbit
    Total delay is 6000 microseconds
    Reliability is 255/255
    Load is 1/255
    Minimum MTU is 1500
    Hop count is 1
  External data:
    Originating router is 192.0.2.1
    AS number of route is 0
    External protocol is Connected, external metric is 0
    Administrator tag is 0 (0x00000000)

switch#
```

表 1-38 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-38 show ip eigrp topology フィールドの説明**

フィールド	説明
Query origin	クエリーの origin ステート
Successors	このプレフィックスのフィージブル サクセサの数
FD	このプレフィックスのフィージブル ディスタンス
2001:0DB8::10 (Ethernet 2/1)	このパスが学習されたネクストホップとインターフェイス
from 2001:0DB8::1	このパスの情報送信元
Send flag	このネイバーへのこのプレフィックスの送信が中断されているかどうかの状態
Composite metric is...	最初の番号は、宛先へのコストを示す EIGRP メトリックです。2 番目の番号は、このピアがアダプタイズした EIGRP メトリックです。
Route is	ルート タイプ (内部または外部)
Vector Metric	ネイバーによってアダプタイズされたメトリック (帯域幅、遅延、信頼性、負荷、MTU、およびホップ カウント)
External Data	ネイバーによってアダプタイズされた外部情報 (発信元ルータ ID、AS 番号、外部プロトコル、メトリック、およびタグ)

# show ipv6 eigrp traffic

送受信された EIGRP for IPv6 パケット数を表示するには、**show ipv6 eigrp traffic** コマンドを使用します。

```
show ipv6 eigrp [instance-tag] traffic [vrf {vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグは、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

## デフォルト

VRF が指定されていない場合、このコマンドはデフォルトの VRF の情報を表示します。

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show ipv6 eigrp traffic** コマンドは、この EIGRP インスタンスによって送受信されたパケット数を確認するために使用します。

さらに、このコマンドは、接続問題または設定問題によって、1 つのノードからのパケットがネイバーノードに到達していないかどうか判断するのに役立ちます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、EIGRP トラフィック統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 eigrp traffic

IPv6-EIGRP Traffic Statistics for AS 1 vrf default

  Hellos sent/received: 736/797
  Updates sent/received: 6/6
  Queries sent/received: 0/1
  Replies sent/received: 1/0
  Acks sent/received: 6/6
  Input queue high water mark 0, 0 drops
  SIA-Queries sent/received: 0/0
  SIA-Replies sent/received: 0/0
```

表 1-39 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-39 show ipv6 eigrp traffic フィールドの説明

フィールド	説明
AS	<b>router eigrp</b> コマンドで指定された Autonomous System (AS; 自律システム) 番号
vrf	<b>show</b> コマンドで指定された VRF
Hellos sent/received:	送受信された hello パケットの数
Updates sent/received:	送受信されたアップデート パケットの数
Queries sent/received:	送受信されたクエリー パケットの数
Replies sent/received:	送受信された応答パケットの数
Acks sent/received:	送受信された acknowledgment (ACK; 確認応答) パケットの数
Input queue high water mark	入力キューのパケットの最大数とドロップの数
SIA-Queries sent/received	送受信された Stuck-in-Active クエリー パケットの数
SIA-Replies sent/received:	送受信された Stuck-in-Active 応答パケットの数

# show ipv6 fragments

キューイングされた IPv6 フラグメントに関する情報を表示するには、**show ipv6 fragments** コマンドを使用します。

**show ipv6 fragments** [*ipv6-addr*]

## シンタックスの説明

*name* (任意) IPv6 アドレス。形式は A:B::C:D です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、IPv6 フラグメントを表示します。

```
switch(config-if)# show ipv6 fragments
No IPv6 fragments queued
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ipv6 process</b>	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。

# show ipv6 icmp interface

ICMPv6 に関する情報を表示するには、**show ipv6 icmp interface** コマンドを使用します。

**show ipv6 icmp interface** [*type number*] [**detail**] [**vrf vrf-name**]

シンタックスの説明	
<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。? を使用して サポートされているインターフェイスのリストを表示します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。? を使用して 範囲を表示します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細な ICMPv6 情報を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 任意のコマンド モード

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、ICMPv6 情報を表示します。  

```
switch(config-if)# show ipv6 icmp interface
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>ipv6 icmp</b>	インターフェイスに ICMPv6 を設定します。

# show ipv6 interface

インターフェイスの IPv6 情報を表示するには、**show ipv6 interface** コマンドを使用します。

```
show ipv6 interface [type number] [brief][vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。? を使用して オプションを表示します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。? を使用して 範囲を表示します。
<i>brief</i>	(任意) IP 情報のサマリーを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、イーサネット 2/1 の IPv6 情報を表示します。

```
switch# show ipv6 interface ethernet 2/1
Ethernet2/1, Interface status: protocol-down/link-down/admin-down, iod: 80
Context:"default"
IPv6 address: 2001:0db8:0000:0000:0000:0000:0000:0001
IPv6 subnet: 2001:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000/16
IPv6 link-local address: fe80::0218:baff:fed8:3ffd (default)
IPv6 multicast routing: disabled
IPv6 multicast groups locally joined:
    ff02::0001:ff00:0001 ff02::0002 ff02::0001 ff02::0001:ffd8:3ffd
IPv6 multicast (S,G) entries joined: none
IPv6 MTU: 1500 (using link MTU)
IPv6 RP inbound packet-filtering policy: none
IPv6 RP outbound packet-filtering policy: none
IPv6 inbound packet-filtering policy: none
IPv6 outbound packet-filtering policy: none
IPv6 interface statistics last reset: never
IPv6 interface RP-traffic statistics: (forwarded/originated/consumed)
    Unicast packets: 0/0/0
    Unicast bytes: 0/0/0
    Multicast packets: 0/0/0
    Multicast bytes: 0/0/0
IPv6 interface hardware statistics not available
Reason: unsupported platform
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show ip interface	インターフェイスの IP 情報を表示します。

# show ipv6 mbgp

MP-BGP テーブル内のエントリを表示するには、**show ipv6 mbgp** コマンドを使用します。

```
show ipv6 mbgp [ipv6-addr | ipv6-prefix [longer-prefixes]] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>ipv6-addr</i>	(任意) MBGP ルート テーブルからのネットワーク。形式は A:B::C:D です。
<i>ipv6-prefix</i>	(任意) MBGP ルート テーブルからのプレフィクス。形式は A:B::C:D/length です。
<b>longer-prefixes</b>	(任意) プレフィクスとより詳しいルートを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、MBGP ルート テーブルを表示します。

```
switch(config-router)# show ipv6 mbgp
BGP routing table information for VRF default, address family IPv6 Multicast
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>clear ip mbgp</b>	MBGP ルート テーブルのエントリをクリアします。



# show ipv6 mbgp community

コミュニティと一致する MP-BGP ルートを表示するには、**show ipv6 mbgp community** コマンドを使用します。

```
show ipv6 mbgp community [as-number] [no-advertise] [no-export]
[no-export-subconfed] [exact-match] } [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>as-number</i>	AS 番号。AS 番号は、<上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数> 形式の 16 ビットの整数または 32 ビットの整数です。
<b>no-advertise</b>	(任意) no-advertise コミュニティを表示します。
<b>no-export</b>	(任意) no-export コミュニティを表示します。
<b>no-export-subconfed</b>	(任意) no-export-subconfed コミュニティを表示します。
<b>exact-match</b>	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

ユーザ ロール  
ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、コミュニティと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ipv6 mbgp community
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>ipv6 community-list</b>	コミュニティ リストを作成します。

# show ipv6 mbgp community-list

コミュニティ リストと一致する MP-BGP ルートを表示するには、**show ipv6 mbgp community-list** コマンドを使用します。

```
show ipv6 mbgp community-list commlist-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>community-list</b>	コミュニティ リストと一致するルートを表示します。 <b>commlist-name</b> は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>commlist-name</b>	小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>exact-match</b>	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを表示します。

```
switch(config)# show ip v6mbgp community-list test1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ipv6 community-list</b>	コミュニティ リストを作成します。

# show ipv6 mbgp neighbors

MP-BGP ネイバーを表示するには、**show ipv6 mbgp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ipv6 mbgp neighbors [ addr [advertised-routes | flap-statistics | paths |
received-routes | routes [advertised | dampened | received]] | prefix] [vrf { all |
vrf-name}]
```

## シンタックスの説明

<i>addr</i>	IPv6 アドレス。形式は A:B::C:D です。
<b>advertised-routes</b>	(任意) このネイバーにアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
<b>flap-statistics</b>	(任意) このネイバーから受信されたルートのフラップ統計情報を表示します。
<b>paths</b>	(任意) このネイバーから取得された AS パスを表示します。
<b>received-routes</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
<b>routes</b>	(任意) このネイバーとの間で受信またはアドバタイズされたルートを表示します。
<b>advertised</b>	(任意) このネイバー用にアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
<b>dampened</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのダンプニングされたルートを表示します。
<b>received</b>	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
<i>prefix</i>	(任意) IPv6 プレフィクス。形式は A:B::C:D/length です。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>all</b>	(任意) すべての VRFS を指定します。

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.1(2)	<b>paths</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## ■ show ipv6 mbgp neighbors

---

例

次の例では、MBGP ネイバーを表示します。

```
switch(config)# show ipv6 mbgp neighbors
```

---

関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip mbgp neighbors</b>	BGP 情報を表示します。

---

# show ipv6 nd interface

ネイバー探索 (ND) に関する情報を表示するには、**show ipv6 nd interface** コマンドを使用します。

**show ipv6 nd interface** [*type number*] [*detail*] [*vrf vrf-name*]

シンタックスの説明	
<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。? を使用して サポートされているインターフェイスのリストを表示します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。? を使用して 範囲を表示します。
<i>detail</i>	(任意) 詳細な ND 情報を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 任意のコマンド モード

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、ND 情報を表示します。

```
switch(config-if)# show ipv6 nd interface
ICMPv6 ND Interfaces for VRF "default"
Ethernet2/45, Interface status: protocol-down/link-down/admin-down
IPv6 address: 2001:0db8:0000:0000:0000:0000:0001
ICMPv6 active timers:
  Last Neighbor-Solicitation sent: never
  Last Neighbor-Advertisement sent: never
  Last Router-Advertisement sent: never
  Next Router-Advertisement sent in: 0.000000
Router-Advertisement parameters:
  Periodic interval: 200 to 600 seconds
  Send "Managed Address Configuration" flag: false
  Send "Other Stateful Configuration" flag: false
  Send "Current Hop Limit" field: 64
  Send "MTU" option value: 1500
```

## ■ show ipv6 nd interface

```
Send "Router Lifetime" field: 1800 secs
Send "Reachable Time" field: 0 ms
Send "Retrans Timer" field: 0 ms
Neighbor-Solicitation parameters:
NS retransmit interval: 1000 ms
ICMPv6 error message parameters:
Send redirects: true
Send unreachable: false
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
ipv6 nd	インターフェイスに ICMPv6 ND を設定します。

# show ipv6 neighbor

IPv6 ネイバーを表示するには、**show ipv6 neighbor** コマンドを使用します。

```
show ipv6 neighbor [ipv6-addr | interface] [detail] [non-best] [statistics] [summary] [vrf
vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>ipv6-addr</i>	(任意) IPv6 送信元アドレス。形式は A:B::C:D です。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス。? を使用して サポートされているインターフェイス タイプを特定します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細なネイバー情報を表示します。
<b>non-best</b>	(任意) ベスト隣接関係エントリと代替ネイバー エントリを表示します。
<b>statistics</b>	(任意) ネイバー統計情報を表示します。
<b>summary</b>	(任意) ネイバー関係情報のサマリーを表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	<b>non-best</b> キーワードと <b>summary</b> キーワードが追加されました。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

IPv6 隣接関係テーブルを表示するには、**show ipv6 neighbor** コマンドを使用します。  
このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、IPv6 ネイバーを表示します。

```
switch# show ipv6 neighbor
```

```
IPv6 Adjacency Table for VRF default
Total number of entries: 0
Address          Age          MAC Address      Pref Source      Interface
```

■ show ipv6 neighbor

## 関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 nd	インターフェイスに ICMPv6 ND を設定します。



# show ipv6 policy

ルート ポリシー情報を表示するには、**show ipv6 policy** コマンドを使用します。

```
show ipv6 policy [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
-----------	---------------------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	すべて
---------	-----

ユーザ ロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
---------	----------------------

コマンドの履歴	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	4.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
------------	------------------------

例	次の例では、インターフェイスに付加されたポリシーを示します。
---	--------------------------------

```
switch(config-if)# show ipv6 policy
Interface          Route-map          Status    VRF-Name
Ethernet2/45      floor1            Inactive  --
```

関連コマンド	<b>コマンド</b>	<b>説明</b>
	<b>ipv6 policy</b>	インターフェイスにルート ポリシーを設定します。

# show ipv6 prefix-list

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のプレフィクス リストを表示するには、**show ipv6 prefix-list** コマンドを使用します。

**show ipv6 prefix-list** [*name*]

## シンタックスの説明

<i>name</i>	(任意) コミュニティ リストの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
-------------	--

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、プレフィクス リストを表示します。

```
switch(config)# show ipv6 prefix-list
ip prefix-list test2: 1 entries
    seq 5 permit 2001:0DB8::/8
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ipv6 prefix-list</b>	BGP プレフィクス リストを設定します。

# show ipv6 process

IPv6 プロセスに関する情報を表示するには、**show ipv6 process** コマンドを使用します。

**show ipv6 process [vrf vrf-name]**

<b>シンタックスの説明</b>	<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
------------------	---------------------	--

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンドモード</b>	すべて
----------------	-----

<b>ユーザ ロール</b>	ネットワーク管理者 VDC 管理者
----------------	----------------------

<b>コマンドの履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

<b>使用上のガイドライン</b>	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

<b>例</b>	次の例では、IPv6 プロセスに関する詳細を示します。
----------	-----------------------------

```
switch(config)# show ipv6 process
VRF default
  VRF id is 1
  Auto discard is disabled
  Auto discard is not added
  Static discard is not configured
  Number of static default route configured is 0
  Number of ipv6 unreachable configured is 0
  Iodlist: 80
  Local address list:  2001:0db8::0001  fe80::0218:baff:fed8:3ffd
```

<b>関連コマンド</b>	<b>コマンド</b>	<b>説明</b>
	<b>show ip process</b>	IPv4 プロセスに関する情報を表示します。

# show ipv6 route

ユニキャスト RIB からルートを表示するには、**show ipv6 route** コマンドを使用します。

**show ipv6 route** [*addr* | *hostname* | *prefix*] [*route-type*][*summary*] [*vrf vrf-name*]

シンタックスの説明	
<i>addr</i>	(任意) IPv6 アドレス。形式は A:B::C:D です。
<i>hostname</i>	ホスト名。 <i>name</i> は、大文字と小文字が区別される 80 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>prefix</i>	(任意) IPv6 プレフィクス。形式は A:B::C:D/length です。length の範囲は 1 ~ 128 です。
<i>route-type</i>	(任意) ルート タイプ。? を使用して タイプのリストを表示します。
<i>summary</i>	(任意) ルート カウントを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

ユーザ ロール  
 ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが追加されました。
	4.1(2)	<i>hostname</i> 引数が追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、ルート テーブルを表示します。

```
switch(config)# show ipv6 route
IPv6 Routing Table for VRF "default"

0::/127, ubest/mbest: 1/0
  *via 0::, Null0, [220/0], 18:03:20, discard, discard
fe80::/10, ubest/mbest: 1/0
  *via 0::, Null0, [220/0], 18:03:20, discard, discard
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear ipv6 route</code>	ルート テーブルのエントリをクリアします。

# show ipv6 routers

IPv6 ネイバー ルータを表示するには、**show ipv6 routers** コマンドを使用します。

**show ipv6 routers** [**interface** *intif*][**vrf** {*vrf-name* | **all**}]

## シンタックスの説明

<b>interface</b> <i>intif</i>	(任意) インターフェイスを指定します。? を使用して サポートされているインターフェイス タイプを特定します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが追加されました。
5.0(2)	<b>interface</b> キーワードと <b>vrf</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、IPv6 ネイバーを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ipv6 routers
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear ipv6 neighbors</b>	IPv6 ネイバーの詳細を表示します。

# show ipv6 static-route

ユニキャスト RIB からスタティック ルートを表示するには、**show ipv6 static-route** コマンドを使用します。

```
show ipv6 static-route [vrf {vrf-name | all}]
```

## シンタックスの説明

<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>all</b>	(任意) すべての VRF 名を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.2(1)	<b>all</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、スタティック ルートを表示します。

```
switch(config)# show ipv6 static-route  
IPv6 Unicast Static Routes:
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ipv6 route</b>	スタティック ルートを設定します。

# show ipv6 traffic

IPv6 トラフィック情報を表示するには、**show ipv6 traffic** コマンドを使用します。

## show ipv6 traffic

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードと引数はありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザ ロール**  
 ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次の例では、IPv6 トラフィック情報を表示します。

```
switch(config)# show ipv6 traffic
IPv6 Software Processed Traffic and Error Statistics, last reset: never

RP-Traffic Statistics:
  Counter          Unicast  Multicast
  -----          -
Packets forwarded:          0  0
Bytes forwarded:           0  0
Packets originated:        0  0
Bytes originated:          0  0
Packets consumed:         0  0
Bytes consumed:            0  0
Fragments originated:     0  0
Fragments consumed:       0  0

Error Statistics:
Bad version: 0, route lookup failed: 0, hop limit exceeded: 0
Option header errors: 0, payload length too small: 0
PM errors: 0, MBUF errors: 0, encapsulation errors: 0
```



## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show ipv6 process</code>	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。

# show isis

IS-IS に関する情報を表示するには、**show isis** コマンドを使用します。

**show isis** [*instance-tag*] [**vrf** *vrf-name*]

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、IS-IS に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis

ISIS process : foo
VRF: default
  System ID : None  IS-Type : L1-L2
  SAP : 412  Queue Handle : 12
  Maximum LSP MTU: 1492
  Stateful HA enabled
  Graceful Restart enabled. State: Inactive
  Last graceful restart status : none
  Start-Mode Cold
  BFD is enabled
  Metric-style : advertise(wide), accept(narrow, wide)
  Area address(es) :
    None
  Process is disabled because :
    NET is not specified
  VRF ID: 1
```

```
Stale routes during non-graceful controlled restart
Interfaces supported by IS-IS :
Address family IPv4 unicast :
  Number of interface : 0
  Distance : 115
Address family IPv6 unicast :
  Number of interface : 0
  Distance : 115
Level1
No auth type and keychain
Auth check set
Level2
No auth type and keychain
Auth check set
L1 Next SPF: Inactive
L2 Next SPF: Inactive
```

**関連コマンド IS-I**

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis adjacency

IS-IS に関する隣接関係情報を表示するには、**show isis adjacency** コマンドを使用します。

```
show isis [instance-tag] adjacency [interface] [detail] [summary] [system-id sid] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス名。? を使用して サポートされているインターフェイスタイプを特定します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細な隣接関係情報を表示します。
<b>summary</b>	(任意) 隣接関係情報のサマリーを表示します。
<b>system-id <i>sid</i></b>	(任意) このシステム ID に関する隣接関係情報を表示します。 <i>sid</i> の形式は XXXX.XXXX.XXXX です。
<b>vrf <i>vrf-name</i></b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、隣接関係情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis adjacency

IS-IS process: 1 VRF: default
IS-IS adjacency database:
System ID      SNPA          Level  State  Hold Time  Interface
test11-m9      001b.210d.e3bd 1      UP     00:00:07  Ethernet2/3
test11-m9      001b.210d.e3bd 2      UP     00:00:06  Ethernet2/3
test11-m9      0015.1757.d82c 1      UP     00:00:33  Ethernet2/4
test11-m9      0015.1757.d82c 2      UP     00:00:28  Ethernet2/4
```

```

test11-m9      N/A              1-2    UP      00:00:28    Ethernet2/5
test11-m9      0015.1757.d82f  1      UP      00:00:31    Ethernet2/7
test11-m9      0015.1757.d82f  2      UP      00:00:24    Ethernet2/7

```

次に、イーサネット 2/3 とシステム ID test11-m9 に関する隣接関係情報を表示する例を示します。

```

switch# show isis adjacency ethernet 2/3 system-id test1
IS-IS process: 1 VRF: default
IS-IS adjacency database for Ethernet2/3:
System ID      SNPA              Level  State  Hold Time  Interface
test11-m9      001b.210d.e3bd   1      UP     00:00:08   Ethernet2/3
  Up/Down transitions: 1, Last transition: 00:06:44 ago
  Circuit Type: L1-2
  IPv4 Address: 23.1.1.9
  IPv6 Address: 0::
  Circuit ID: test11-m9.01, Priority: 64

test11-m9      001b.210d.e3bd   2      UP     00:00:06   Ethernet2/3
  Up/Down transitions: 1, Last transition: 00:06:37 ago
  Circuit Type: L1-2
  IPv4 Address: 23.1.1.9
  IPv6 Address: 0::
  Circuit ID: test11-m9.01, Priority: 64

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis database

IS-IS に関するデータベース情報を表示するには、**show isis database** コマンドを使用します。

```
show isis [instance-tag] database [lspid] [detail | summary] [level-1 | level-2] {[adjacency
sid] | [{ip | ipv6} prefix filter] | [router-id id] | [zero-sequence]} [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>lspid</i>	(任意) LSP ID。sid の形式は XXXX.XXXX.XXXX.XX-XX です。
<b>detail</b>	(任意) 詳細なデータベース情報を表示します。
<b>summary</b>	(任意) データベース情報のサマリーを表示します。
<b>level-1</b>	(任意) レベル 1 ルータ データベース情報を表示します。
<b>level-2</b>	(任意) レベル 2 ルータ データベース情報を表示します。
<b>adjacency sid</b>	(任意) 隣接関係フィルタと一致するデータベース情報を表示します。sid の形式は XXXX.XXXX.XXXX.XX です。
{ <b>ip</b>   <b>ipv6</b> } <b>prefix filter</b>	(任意) プレフィクス フィルタと一致するデータベース情報を表示します。IPv4 用の filter の形式は x.x.x.x/length です。ここで、length の範囲は 1 ~ 32 です。IPv6 用の filter の形式は A:B::C:D/length です。ここで、length の範囲は 1 ~ 128 です。
<b>router-id id</b>	(任意) ルータ ID と一致するデータベース情報を表示します。id の形式は x.x.x.x です。
<b>zero-sequence</b>	(任意) シーケンス番号が 0 の LSP に関するデータベース情報を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis database

IIS-IS Process: 1 LSP database VRF: default
IS-IS Level-1 Link State Database
LSPID          Seq Number    Checksum    Lifetime    A/P/O/T
test11-m9.00-00 0x000006AB    0xD715     1115       0/0/0/3
test11-m9.01-00 0x00000002    0xB7DF     1008       0/0/0/3
test-m10.00-00  * 0x0000000C  0xC457     1125       0/0/0/3
test-m10.02-00  * 0x00000002  0x8673     1024       0/0/0/3
test-m10.04-00  * 0x00000002  0x787F     1029       0/0/0/3

IS-IS Level-2 Link State Database
LSPID          Seq Number    Checksum    Lifetime    A/P/O/T
test11-m9.00-00 0x0000065F    0x98A0     1115       0/0/0/3
test11-m9.01-00 0x00000002    0xB7DF     1067       0/0/0/3
test-m10.00-00  * 0x0000000C  0x1903     1125       0/0/0/3
test-m10.02-00  * 0x00000002  0x8673     1018       0/0/0/3
test-m10.04-00  * 0x00000002  0x787F     1040       0/0/0/3
```

次に、test11-m9 の詳細なデータベース情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show isis database level-1 detail test11-m9.00-00
IS-IS Process: 1 LSP database VRF: default
IS-IS Level-1 Link State Database
LSPID          Seq Number    Checksum    Lifetime    A/P/O/T
test11-m9.00-00 0x000006AB    0xD715     1079       0/0/0/3
  Instance      : 0x00000006
  Area Address  : 48
  NLPID        : 0xCC 0x8E
  Router ID    : 9.1.1.1
  IP Address   : 9.1.1.1
  Hostname     : test11-m9          Length : 9
  Extended IS  : test-m10.02      Metric : 40
  Extended IS  : test-m10.04      Metric : 40
  Extended IS  : test11-m9.01     Metric : 400
  Extended IS  : test-m10.00      Metric : 40
  Extended IP  : 25.1.1.0/24      Metric : 40          (U)
  Extended IP  : 24.1.1.0/24      Metric : 40          (U)
  Extended IP  : 80.1.1.0/24      Metric : 10         (U)
  Extended IP  : 70.1.1.0/24      Metric : 10         (U)
  Extended IP  : 60.1.1.0/24      Metric : 10         (U)
  Extended IP  : 50.1.1.0/24      Metric : 10         (U)
  Extended IP  : 23.1.1.0/24      Metric : 400        (U)
  Extended IP  : 9.1.1.0/24      Metric : 1          (U)
  IPv6 Prefix  : 0027::/64      Metric : 40          (U/I)
  Digest Offset : 0
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
feature isis	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
router isis	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis hostname

IS-IS のホスト名情報を表示するには、**show isis hostname** コマンドを使用します。

**show isis** [*instance-tag*] **hostname** [**detail**] [**vrf** *vrf-name*]

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>detail</b>	(任意) 詳細なホスト名情報を表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、ホスト名情報を表示する例を示します。

```
test11-m9# show isis hostname
IS-IS Process: 1 dynamic hostname table VRF: default
  Level System ID      Dynamic hostname
  1      0015.1757.d82c  test11-m9
  1      0015.1757.d8c8* test-m10
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
	<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。



# show isis interface

IS-IS に関するインターフェイス情報を表示するには、**show isis interface** コマンドを使用します。

**show isis** [*instance-tag*] **interface** [*interface*] [**brief**] [**level-1** | **level-2**] [**vrf** *vrf-name*]

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス名とインターフェイス番号。? を使用してインターフェイスのリストを表示します。
<b>brief</b>	(任意) インターフェイス情報のサマリーを表示します。
<b>level-1</b>	(任意) レベル 1 インターフェイス情報を表示します。
<b>level-2</b>	(任意) レベル 2 インターフェイス情報を表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、インターフェイス情報の概要を表示する例を示します。

```
switch# show isis interface brief
```

```
IIS-IS process: 1 VRF: default
Interface      Type  Idx  State      Circuit  MTU  Metric  Priority  Adjs/AdjsUp
              L1   L2   L1  L2   L1  L2   L1  L2   L1   L2
loopback1     Loop  5    Up/Ready   0x01/L1-2 1500 1   1   64  64   0/0  0/0
Ethernet2/3   Bcast 1    Up/Ready   0x01/L1-2 1500 400 400 64  64   1/1  1/1
Ethernet2/4   Bcast 2    Up/Ready   0x02/L1-2 1500 40  40  64  64   1/1  1/1
Ethernet2/5   P2P   3    Up/Ready   0x01/L1-2 1500 40  40  64  64   1/1  1/1
Ethernet2/6   Bcast 4    Down/Ready 0x03/L1-2 1500 40  40  64  64   0/0  0/0
Ethernet2/7   Bcast 6    Up/Ready   0x04/L1-2 1500 40  40  64  64   1/1  1/1
```

次に、イーサネット 2/5 に関するインターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis interface ethernet 2/5
IS-IS process: 1 VRF: default
Ethernet2/5, Interface status: protocol-up/link-up/admin-up
  IP address: 192.0.2.1 IP subnet: 192.0.2.0/24
  IPv6 routing is disabled
  Index: 0x0003, Local Circuit ID: 0x01, Circuit Type: L1-2
  Extended Local Circuit ID: 0x1A084000, P2P Circuit ID: 0000.0000.0000.00
  Retx interval: 5, Retx throttle interval: 66 ms
  LSP interval: 33 ms, MTU: 1500
  P2P Adjs: 1, AdjsUp: 1, Priority 64
  Hello Interval: 10, Multi: 3, Next IIH: 00:00:08
Level  Adjs  AdjsUp  Metric  CSNP  Next CSNP  Last LSP ID
1      1      1      40      60   00:00:48  ffff.ffff.ffff.ff-ff
2      1      1      40      60   00:00:19  ffff.ffff.ffff.ff-ff
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis ip route-map statistics redistribute

IS-IS のルート再配布に関する統計情報を表示するには、**show isis ip route-map statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
show isis [instance-tag] ip route-map statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis
id | ospf id | rip id | static} [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>bgp</b>	BGP の統計情報を表示します。
<b>direct</b>	直接接続されたルートの統計情報のみを表示します。
<b>eigrp</b>	EIGRP ルーティング プロトコルの統計情報を表示します。
<b>isis</b>	IS-IS ルーティング プロトコルの統計情報を表示します。
<b>ospf</b>	OSPF プロトコルの統計情報を表示します。
<b>rip</b>	RIP の統計情報を表示します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートの統計情報を表示します。
<i>id</i>	<b>bgp</b> キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。  <b>isis</b> 、 <b>eigrp</b> 、 <b>ospf</b> 、 <b>rip</b> の各キーワードの場合は、ルートを再配布するインスタンス名です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show isis ip route-map statistics redistribute** コマンドは、再配布統計情報を表示するために使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例**

次に、再配布されたルートの統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis ip route-map statistics redistribute static
IS-IS process: 1
VRF: default
C: No. of comparisons, M: No. of matches

route-map rm10 permit 10

Total accept count for policy: 9
Total reject count for policy: 0
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis mesh-group

IS-IS のメッシュ グループを表示するには、**show isis mesh-group** コマンドを使用します。

```
show isis [instance-tag] mesh-group [number] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>number</i>	(任意) IS-IS メッシュ グループの番号。範囲は 1 ~ 4294967295 です。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 任意のコマンド モード

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、メッシュ グループを表示する例を示します。

```
switch# show isis mesh-group  
IS-IS Process: Test1 mesh-groups VRF: default  
  Mesh-group 33:  
    Ethernet7/45
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
	<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis protocol

IS-IS のプロセス レベル情報を表示するには、**show isis protocol** コマンドを使用します。

**show isis** [*instance-tag*] [**protocol**] [*vrf vrf-name*]

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、IS-IS プロトコル情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis protocol
ISIS process : 1
VRF: default
  System ID : 0015.1757.d8c8  IS-Type : L1-L2
  SAP : 412  Queue Handle : 11
  Graceful Restart enabled
  Metric-style : advertise(wide), accept(narrow, wide)
  Area address(es) :
    48
  Process is up and running
  VRF ID: 1
  Stale routes during non-graceful controlled restart
  Interfaces supported by IS-IS :
    loopback1
    Ethernet2/3
    Ethernet2/4
    Ethernet2/5
    Ethernet2/6
```

```
Ethernet2/7
Address family IPv4 unicast :
  Number of interface : 5
  Distance : 115
Address family IPv6 unicast :
  Number of interface : 1
  Distance : 115
L1 Next SPF: Inactive
L2 Next SPF: Inactive
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis redistribute route

IS-IS のルート再配布情報を表示するには、**show isis redistribute route** コマンドを使用します。

```
show isis [instance-tag] [ip | ipv6] redistribute route [address | prefix [longer-prefixes
[summary]] | summary] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>ip</b>	(任意) IPv4 ルートのルート再配布情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 ルートのルート再配布情報を表示します。
<i>address</i>	(任意) 特定の IPv4 または IPv6 アドレスのルート再配布情報。IPv4 用の <i>address</i> の形式は x.x.x.x です。IPv6 用の <i>address</i> の形式は A:B::C:D です。
<i>prefix</i>	(任意) 特定の IPv4 または IPv6 アドレスのルート再配布情報。IPv4 用の <i>prefix</i> の形式は x.x.x.x/length です。ここで、length の範囲は 1 ~ 32 です。IPv6 用の <i>prefix</i> の形式は A:B::C:D/length です。ここで、length の範囲は 1 ~ 128 です。
<b>longer-prefixes</b>	(任意) プレフィクスの完全一致だけでなく、より詳しいルートも表示します。
<b>summary</b>	(任意) ルート再配布情報のサマリーを表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、ルート再配布情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis redistribute route

IS-IS process: 1 VRF: default
IS-IS IPv4 redistribute route
```



```

100.1.1.1/32, static,
  Redistributed into L1, metric 10
  Redistributed into L2, metric 10
100.1.1.2/32, static,
  Redistributed into L1, metric 10
  Redistributed into L2, metric 10
100.1.1.3/32, static,
  Redistributed into L1, metric 10
  Redistributed into L2, metric 10
100.1.1.4/32, static,
  Redistributed into L1, metric 10
  Redistributed into L2, metric 10
100.2.0.0/16, static,
  Redistributed into L1, metric 10
  Redistributed into L2, metric 10
100.2.1.0/24, static,
  Redistributed into L1, metric 10
  Redistributed into L2, metric 10
100.2.1.1/32, static,
  Redistributed into L1, metric 10
  Redistributed into L2, metric 10

```

次に、ルート 100.2.1.0 のルート再配布情報を表示する例を示します。

```

test-m10(config)# show isis redistribute route 100.2.1.0/16 longer-prefixes
IS-IS process: 1 VRF: default
IS-IS IPv4 redistribute route

100.2.0.0/16, static,
  Redistributed into L1, metric 10
  Redistributed into L2, metric 10
100.2.1.0/24, static,
  Redistributed into L1, metric 10
  Redistributed into L2, metric 10
100.2.1.1/32, static,
  Redistributed into L1, metric 10
  Redistributed into L2, metric 10

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis route

IS-IS のルート情報を表示するには、**show isis route** コマンドを使用します。

```
show isis [instance-tag] [ip | ipv6] route [address | prefix] [longer-prefixes [summary]]
[detail | summary] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>ip</b>	(任意) IPv4 ルートのルート情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 ルートのルート情報を表示します。
<i>address</i>	(任意) 特定の IPv4 または IPv6 アドレスのルート情報。IPv4 用の <i>address</i> の形式は x.x.x.x です。IPv6 用の <i>address</i> の形式は A:B::C:D です。
<i>prefix</i>	(任意) 特定の IPv4 または IPv6 アドレスのルート情報。IPv4 用の <i>prefix</i> の形式は x.x.x.x/length です。ここで、length の範囲は 1 ~ 32 です。IPv6 用の <i>prefix</i> の形式は A:B::C:D/length です。ここで、length の範囲は 1 ~ 128 です。
<b>longer-prefixes</b>	(任意) プレフィックスの完全一致だけでなく、より詳しいルートも表示します。
<b>summary</b>	(任意) ルート情報のサマリーを表示します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細なルート情報を表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、IPv4 のルート情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis route
IS-IS IPv4 routing table
```

```
10.1.1.0/24, L1, direct
  *via GigabitEthernet2/1, metric 40, L1, direct
  via GigabitEthernet2/1, metric 40, L2, direct
10.1.2.0/24, L1, direct
  *via GigabitEthernet2/2, metric 40, L1, direct
  via GigabitEthernet2/2, metric 40, L2, direct
100.0.0.2/32, L1, direct
  *via Loopback0, metric 1, L1, direct
  via Loopback0, metric 1, L2, direct
```

次に、IPv6 のルート情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis ipv6 route
IS-IS IPv6 routing table

3000:0010:0001::/48, L1, direct
  *via GigabitEthernet2/1, metric 40, L1, direct
  via GigabitEthernet2/1, metric 40, L2, direct
```

次に、10.0.0 のルート情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis ip route 10.0.0.0/8 longer-prefixes
IS-IS IPv4 routing table

10.1.1.0/24, L1, direct
  *via GigabitEthernet2/1, metric 40, L1, direct
  via GigabitEthernet2/1, metric 40, L2, direct
10.1.2.0/24, L1, direct
  *via GigabitEthernet2/2, metric 40, L1, direct
  via GigabitEthernet2/2, metric 40, L2, direct
```

次に、10.0.0 のルート情報のサマリーを表示する例を示します。

```
test-11# show isis ip route 10.0.0.0/8 longer-prefixes summary
IS-IS IPv4 routing table

Summary information for range 10.0.0.0/8

Total number of best routes   : 2
Total number of paths        : 4
Total number of best paths    : 2
Total number of backup paths  : 2

Best routes per level
  L1      total    : 2
         direct   : 2

Best paths per level
  L1      total    : 2
         direct   : 2

Backup paths per level
  L2      total    : 2
         direct   : 2

Number of best routes per mask-length
  /24 : 2
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis route-map statistics distribute

IS-IS のレベル 1 エリアとレベル 2 エリア間のルート配布に関する統計情報を表示するには、**show isis route-map statistics distribute** コマンドを使用します。

```
show isis [instance-tag] [ip | ipv6] route-map statistics distribute [level-1 | level-2] into
[level-1 | level-2] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>ip</i>	IPv4 の統計情報を表示します。
<i>ipv6</i>	IPv6 の統計情報を表示します。
<i>level-1</i>	(任意) レベル 1 配布統計情報を表示します。
<i>level-2</i>	(任意) レベル 2 配布統計情報を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、配布情報のサマリーを表示する例を示します。

```
switch# show isis route-map statistics distribute level-1 into level 2
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis rrm

IS-IS の Retransmit-Routing-Message (RRM) 情報を表示するには、**show isis rrm** コマンドを使用します。

```
show isis [instance-tag] rrm interface [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>interface</i>	インターフェイス名とインターフェイス番号。? を使用して インターフェイスのリストを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
 ネットワークオペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、RRM 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis rrm ethernet 2/3
```

```
IS-IS process: 1
```

```
IS-IS RRM information for interface Ethernet2/3:  
  No retransmission on non-P2P interface
```

```
test-m10(config)# show isis rrm eth 2/5  
IS-IS process: 1
```

```
IS-IS RRM information for interface Ethernet2/5:  
IS-IS Level-1 Link State Database  
  Retx interval: 5, Retx throttle interval: 66 ms  
  Retx queue length: 0, Next Retx: Inactive
```

```

Retx queue HWM: 5, Retx queue exceed: 0
LSPID                Seq Number    Checksum    Lifetime    A/P/O/T    Ago

IS-IS Level-2 Link State Database
Retx interval: 5, Retx throttle interval: 66 ms
Retx queue length: 0, Next Retx: Inactive
Retx queue HWM: 5, Retx queue exceed: 0
LSPID                Seq Number    Checksum    Lifetime    A/P/O/T    Ago

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis spf-log

IS-IS の SPF 情報を表示するには、**show isis srm** コマンドを使用します。

**show isis** [*instance-tag*] **spf-log** [**detail**] [*vrf vrf-name*]

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<b>detail</b>	(任意) SPF 計算に関する詳細情報を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、SPF 情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis spf-log

ITotal number of SPF calculations: 10

Log entry (current/max): 7/20
Ago      Level Reason                               Count  Total
1w0d    1     Adjust route distribution              3
1w0d    2     Adjust route distribution              3     0.000216
1w0d    1     New IP address on GigabitEthernet      1
1w0d    2     New IP address on GigabitEthernet      1     0.000229
1w0d    2     New NH to test-i2 on GigabitEthernet    1     0.000135
1w0d    2     New adj test-i2 on GigabitEthernet      4     0.000243
1w0d    1     New adj test-i2 on GigabitEthernet      3     0.000155
1w0d    1     New LSP test-i2.00-00                   2     0.000252
1w0d    1     Updated LSP test-i2.00-00               1
```



## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis srm

IS-IS の Send-Routing-Message (SRM) 情報を表示するには、**show isis srm** コマンドを使用します。

**show isis** [*instance-tag*] **srm interface** [**vrf** *vrf-name*]

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>interface</i>	インターフェイス名とインターフェイス番号。? を使用して インターフェイスのリストを表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、SRM 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis srm ethernet 2/3

IS-IS process: 1

IS-IS SRM information for interface Ethernet2/3:
IS-IS Level-1 Link State Database
  Interface is eligible for flooding LSP
  Interface is on stopped SRM list
  LSP interval: 33 ms, Next LSP: Inactive
  LSPID                Seq Number  Checksum  Lifetime  A/P/O/T

IS-IS Level-2 Link State Database
  Interface is eligible for flooding LSP
  Interface is on stopped SRM list
  LSP interval: 33 ms, Next LSP: Inactive
  LSPID                Seq Number  Checksum  Lifetime  A/P/O/T
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis ssn

IS-IS の Send-Sequence-Number (SSN) 情報を表示するには、**show isis ssn** コマンドを使用します。

**show isis** [*instance-tag*] **ssn interface** [*vrf vrf-name*]

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>interface</i>	インターフェイス名とインターフェイス番号。? を使用して インターフェイスのリストを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、SSN 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis ssn ethernet 2/5
```

```
IS-IS SSN information for interface Ethernet2/5:
IS-IS Level-1 Link State Database
  Interface is eligible for sending PSNP
  Next PSNP: Inactive
  LSPID                Seq Number   Checksum  Lifetime   A/P/O/T

IS-IS Level-2 Link State Database
  Interface is eligible for sending PSNP
  Next PSNP: Inactive
  LSPID                Seq Number   Checksum  Lifetime   A/P/O/T
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis statistics

IS-IS の統計情報を表示するには、**show isis statistics** コマンドを使用します。

**show isis** [*instance-tag*] **statistics** [*interface*] [**vrf** *vrf-name*]

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス名とインターフェイス番号。? を使用してインターフェイスのリストを表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、IS-IS 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis statistics ethernet 7/45
```

```
VRF:                default
SPF calculations:   34
LSPs sourced:       6
LSPs refreshed:    42
LSPs purged:        0
DIS elections:      10
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
	<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。

# show isis summary-address

IS-IS のサマリー アドレス情報を表示するには、**show isis summary-address** コマンドを使用します。

```
show isis [instance-tag] [ip | ipv6] summary-address [address | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>ip</i>	(任意) IPv4 のサマリー アドレス情報を表示します。
<i>ipv6</i>	(任意) IPv6 のサマリー アドレス情報を表示します。
<i>address</i>	(任意) IPv4 または IPv6 アドレス。IPv4 用の <i>address</i> の形式は x.x.x.x です。IPv6 用の <i>address</i> の形式は A:B::C:D です。
<i>prefix</i>	(任意) IPv4 または IPv6 アドレス。IPv4 用の <i>prefix</i> の形式は x.x.x.x/length です。ここで、length の範囲は 1 ~ 32 です。IPv6 用の <i>prefix</i> の形式は A:B::C:D/length です。ここで、length の範囲は 1 ~ 128 です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

ユーザ ロール  
ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、サマリー アドレス情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis summary-address
IS-IS IPv4 summary address:

20.0.0.0/8, L1-2
  Summarize 0 routes into L1
  Summarize 0 routes into L2
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature isis</b>	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
<b>router isis</b>	IS-IS をイネーブルにします。



# show isis traffic

IS-IS のトラフィック統計情報を表示するには、**show isis traffic** コマンドを使用します。

**show isis** [*instance-tag*] **traffic** [*interface*] [**vrf** *vrf-name*]

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) IS-IS インスタンスの名前。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス名とインターフェイス番号。? を使用してインターフェイスのリストを表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**ユーザロール**  
 ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、トラフィック統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show isis traffic
IS-IS process: 1
VRF: default
IS-IS Traffic:
%PDU      Received      Sent  RcvAuthErr  OtherRcvErr  ReTransmit
LAN-IIH   62156         87080      0            0            n/a
P2P-IIH   6232         6234      0            0            n/a
CSNP     11646        22356     0            0            n/a
PSNP      802          590       0            0            n/a
LSP      2385         3291      0            0            0
```

関連コマンドIS-I	コマンド	説明
	feature isis	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
	router isis	IS-IS をイネーブルにします。

# show mac-list

MAC リスト内のエントリを表示するには、**show mac-list** コマンドを使用します。

**mac-list name]**

シンタックスの説明	<i>name</i>	MAC リスト名。名前は、大文字と小文字が区別される 32 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
-----------	-------------	--

デフォルト *match* の値は定義されません。

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション

ユーザ ロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには LAN Enterprise ライセンスが必要です。

例 次の例では、Red MAC リストに関する情報を表示します。

```
switch(config)# show mac-list Red
mac-list Red: 1 entries
  seq 1 permit 0022.5579.a4c1 ffff.ffff.0000
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>mac-list</b>	MAC リストを作成します。
	<b>match mac-list</b>	OTV 用の MAC リスト内で MAC アドレスを照合します。

# show ospfv3

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ルーティング インスタンスに関する一般情報を表示するには、**show ospfv3** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。特定の OSPFv3 インスタンスに関する OSPFv3 情報を表示するのにこのタグを使用します。 <i>instance-tag</i> 引数は、任意の英数字文字列にできます。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

1 つまたは複数の OSPFv3 インスタンスに関する情報を表示するには、**show ospfv3** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、特定の 1 つの OSPFv3 インスタンスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ospfv3 201
Routing Process sd with ID 0.0.0.0 vrf default
Graceful-restart is configured
  grace period: 60, state: (null)
  Last graceful restart exit status: None
Supports only single TOS(TOS0) routes
Supports opaque LSA
Administrative distance 110
Reference Bandwidth is 40000 Mbps
Initial SPF schedule delay 200.000 msec,
  minimum inter SPF delay of 1000.000 msec,
  maximum inter SPF delay of 5000.000 msec
Minimum hold time for Router LSA throttle 5000.000 ms
Minimum hold time for Network LSA throttle 5000.000 ms
```

```

Minimum hold time for Intra-Area-Prefix LSA throttle 5000.000 ms
Minimum hold time for Link LSA throttle 5000.000 ms
Minimum LSA arrival 1000.000 msec
Maximum paths to destination 8
Number of external LSAs 0, checksum sum 0
Number of areas is 2, 2 normal, 0 stub, 0 nssa
Number of active areas is 0, 0 normal, 0 stub, 0 nssa
  BFD is enabled
    Area BACKBONE(0) (Inactive)
      Area has existed for 01:13:04
      Interfaces in this area: 1 Active interfaces: 0
      SPF calculation has run 1 times
        Last SPF ran for 0.000433s
      Area ranges are
      Number of LSAs: 0, checksum sum 0
    Area (33) (Inactive)
      Area has existed for 01:13:04
      Interfaces in this area: 0 Active interfaces: 0
      SPF calculation has run 1 times
        Last SPF ran for 0.000053s
      Area ranges are
      Number of LSAs: 0, checksum sum 0

```

表 1-40 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-40 show ospfv3 フィールドの説明

フィールド	説明
Routing Process...	OSPFv3 インスタンス タグおよび OSPFv3 ルータ ID
Stateful High Availability	ステートフル再起動機能のステータス
Graceful-restart	グレースフル リスタート設定のステータス
grace period	OSPFv3 がグレースフル リスタートを開始する必要がある秒数
Last graceful restart exit status	最後のグレースフル リスタートの終了ステータス
Supports...	サポートされるサービス タイプの数 (タイプ 0 のみ)
Reference Bandwidth	コスト計算に使用する帯域幅
Initial SPF schedule delay	SPF 計算の遅延時間
Minimum LSA arrival	Link-State Advertisement (LSA; リンクステートアドバタイズメント) の間の最小インターバル
Number of...	受信した LSA の数およびタイプ
Number of areas is...	ルータ用に設定されたエリアの数およびタイプ

# show ospfv3 border-routers

Area Border Router (ABR; エリア境界ルータ) および Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) に対して、OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ルーティング テーブル エントリを表示するには、**show ospfv3 border-routers** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] border-routers [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。特定の OSPFv3 インスタンスに関する OSPFv3 情報を表示するのにこのタグを使用します。 <i>instance-tag</i> 引数は、任意の英数字文字列にできます。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show ospfv3 border-routers** コマンドは、ABR および ASBR に関する情報を表示するために使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、境界ルータに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ospfv3 border-routers

OSPFv3 Process ID p1, vrf default internal routing table
Codes: i - Intra-area route, I - Inter-area route

i 60.60.60.60 [10], ABR, Area 0.0.0.0, SPF 9
   via fe80::0206:d6ff:fec8:a41c, Ethernet2/5
i 60.60.60.60 [10], ABR, Area 0.0.0.1, SPF 9
   via fe80::0206:d6ff:fec8:a408, Ethernet2/6
```

表 1-41 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-41 show ospfv3 border-routers フィールドの説明

フィールド	説明
40.40.40.40	宛先のルータ ID
[10]	このルートを使用するコスト
ABR	宛先のルータ タイプ。タイプは ABR、ASBR、または両方です。
Area	このルートが学習されたエリアのエリア ID
SPF 71	このルートをインストールする Shortest Path First (SPF) 計算の内部番号
via fe80::0206:d6ff:fec8:a41c	宛先に対するネクストホップ
Ethernet2/1	発信インターフェイスのインターフェイス タイプ

# show ospfv3 database

特定のルータの OSPF バージョン 3 (OSPFv3) データベースを表示するには、**show ospfv3 database** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] database [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address
| self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] database asbr-summary [area-id] [link-state-id]
[adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] database database-summary [vrf vrf-name]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] database external [ext_tag value] [link-state-id]
[adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] database network [area-id] [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] database nssa-external [area-id] [link-state-id]
[adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] database opaque-area [area-id] [link-state-id]
[adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] database opaque-as [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] database opaque-link [area-id] [link-state-id]
[adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] database router [area-id] [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] database summary [area-id] [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<i>area-id</i>	(任意) 特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) のいずれかで指定します。
<i>link-state-id</i>	(任意) アドバタイズメントによって説明されるインターネット環境の部分。入力値は、アドバタイズメントのリンクステートタイプによって異なります。IP アドレスの形式で指定します。
<b>adv-router ip-address</b>	(任意) 指定されたルータのすべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) を表示します。
<b>self-originate</b>	(任意) 自動送信 LSA (ローカル ルータから) を表示します。
<b>asbr-summary</b>	(任意) Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) サマリー LSA に関する情報を表示します。
<b>database-summary</b>	(任意) データベースの各エリアの各 LSA タイプと、LSA の総数を表示します。
<b>external</b>	(任意) 外部 LSA に関する情報を表示します。



<b>ext_tag value</b>	(任意) 外部タグに基づいた情報を表示します。範囲は 1 ~ 4294967295 です。
<b>network</b>	(任意) ネットワーク LSA に関する情報を表示します。
<b>nssa-external</b>	(任意) Not-So-Stubby Area (NSSA) 外部 LSA に関する情報を表示します。
<b>opaque-area</b>	(任意) 不透明なエリア LSA に関する情報を表示します。
<b>opaque-as</b>	(任意) 不透明な AS LSA に関する情報を表示します。
<b>opaque-link</b>	(任意) 不透明なリンクローカル LSA に関する情報を表示します。
<b>router</b>	(任意) ルータ LSA に関する情報を表示します。
<b>summary</b>	(任意) 集約 LSA に関する情報を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** すべて

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** 異なる OSPFv3 LSA に関する情報を表示するには、**ipv6 ospfv3 database** コマンドを使用します。LSA がネットワークを学習すると、*link-state-id* 引数は次のいずれかの形式を使用します。

- ネットワークの IP アドレス (タイプ 3 サマリー リンク アドバタイズメントや自律システム外部リンク アドバタイズメントなど)。
- リンク ステート ID から取得された派生アドレス (ネットワークのサブネット マスクを使用してネットワーク リンク アドバタイズメントのリンク ステート ID をマスクすることによって、ネットワークの IP アドレスが生成されることに注意してください)。
- リンク ステート アドバタイズメントにルータの説明が記載されている場合は、必ず、リンク ステート ID が、記載されたルータの OSPFv3 ルータ ID になります。
- AS 外部アドバタイズメント (LS タイプ = 5) がデフォルトのルートを説明する場合、そのリンク ステート ID はデフォルトの宛先 (0.0.0.0) に設定されます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、OSPFv3 データベースを表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 database

OSPFv3 Router with ID (40.40.40.40) (Process ID p1)

      Router Link States (Area 0)

Link ID      ADV Router      Age  Seq#           Link Count
0.0.0.0      40.40.40.40     301  0x8000006d    1
0.0.0.0      60.60.60.60     1655 0x80000a59    1

      Network Link States (Area 0)

Link ID      ADV Router      Age  Seq#           Routers
0.0.0.5      60.60.60.60     1655 0x8000005c    2

      Inter-Area Prefix Link States (Area 0)

Link ID      ADV Router      Age  Seq#           Prefix
0.0.0.2      40.40.40.40     301  0x8000006a    1111:2222::/32
0.0.0.4      40.40.40.40     291  0x80000066    1111:6666::/32
0.0.0.6      40.40.40.40     291  0x80000066    6161:6161::6161/128
0.0.0.0      60.60.60.60     147  0x800009f6    6161:6161::6161/128
0.0.0.111    60.60.60.60     1655 0x8000005c    1111:6666::/32
0.0.0.112    60.60.60.60     1655 0x8000005c    1111:2222::/32

      Intra-Area Prefix Link States (Area 0)

Link ID      ADV Router      Age  Seq#           Ref-lstyp Ref-LSID
1.0.0.0      40.40.40.40     301  0x8000006e    Router    0.0.0.0
0.0.0.0      60.60.60.60     1655 0x80000a32    Router    0.0.0.0
0.0.3.237    60.60.60.60     1655 0x8000005c    Network   0.0.0.5

      Link-Local Link States (Area 0)

Link ID      ADV Router      Age  Seq#           Interface
0.0.0.1      40.40.40.40     341  0x80000066    Enet2/1
0.0.0.3      40.40.40.40     341  0x80000066    Enet24
0.0.0.4      40.40.40.40     301  0x8000006d    Enet25
0.0.0.5      60.60.60.60     147  0x80000917    Enet25

      Router Link States (Area 1)

Link ID      ADV Router      Age  Seq#           Link Count
0.0.0.0      40.40.40.40     291  0x8000006d    1
0.0.0.0      60.60.60.60     1655 0x80000abd    1

      Network Link States (Area 1)

Link ID      ADV Router      Age  Seq#           Routers
0.0.0.4      60.60.60.60     1655 0x8000005c    2

      Inter-Area Prefix Link States (Area 1)

Link ID      ADV Router      Age  Seq#           Prefix
0.0.0.1      40.40.40.40     291  0x8000006a    1111:1111::/32
0.0.0.3      40.40.40.40     331  0x80000066    1111:4444::0001/128
0.0.0.5      40.40.40.40     291  0x80000066    6060:6060::6060/128
0.0.0.0      60.60.60.60     147  0x800009f6    6060:6060::6060/128
0.0.0.156    60.60.60.60     409  0x8000005d    1111:5555::/32
0.0.0.158    60.60.60.60     1655 0x8000005c    1111:1111::/32
0.0.0.159    60.60.60.60     1655 0x8000005c    1111:4444::0001/128
```

```

Intra-Area Prefix Link States (Area 1)

Link ID          ADV Router      Age  Seq#           Ref-lstyp  Ref-LSID
1.0.0.0          40.40.40.40    291  0x8000006e    Router     0.0.0.0
0.0.0.0          60.60.60.60    1655 0x80000a54    Router     0.0.0.0
0.0.3.236        60.60.60.60    1655 0x8000005c    Network   0.0.0.4

Link-Local Link States (Area 1)

Link ID          ADV Router      Age  Seq#           Interface
0.0.0.2          40.40.40.40    341  0x80000066    Enet2/2
0.0.0.5          40.40.40.40    291  0x8000006d    Enet2/6
0.0.0.4          60.60.60.60    1655 0x8000005d    Enet2/6

```

表 1-42 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-42 show ospfv3 database フィールドの説明**

フィールド	説明
Link ID	ルータ ID 番号
ADV Router	アドバタイズするルータの ID
Age	リンク ステート経過時間
Seq#	リンク ステート シーケンス番号 (以前の、または重複した LSA を検出します)
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Link count	ルータ用に検出されたインターフェイスの数

次に、ASBR のサマリーを表示する例を示します。

```

Router# show ospfv3 database asbr-summary

OSPFv3 Router with id(192.168.239.66) (Process ID 300)

    Displaying Summary ASB Link States(Area 0.0.0.0)

    LS age: 1463
    Options: (No TOS-capability)
    LS Type: Summary Links(AS Boundary Router)
    Link State ID: 172.16.245.1 (AS Boundary Router address)
    Advertising Router: 172.16.241.5
    LS Seq Number: 80000072
    Checksum: 0x3548
    Length: 28
    Network Mask: 0.0.0.0 TOS: 0 Metric: 1

```

表 1-43 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-43 show ospfv3 database asbr-summary フィールドの説明**

フィールド	説明
OSPFv3 Router with id	ルータ ID 番号
Process ID	OSPFv3 プロセス ID
LS age	リンク ステート経過時間
Options	サービス オプションのタイプ (タイプ 0 のみ)

表 1-43 show ospfv3 database asbr-summary フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
LS Type	リンク ステート タイプ
Link State ID	リンク ステート ID (ASBR)
Advertising Router	アドバタイズするルータの ID
LS Seq Number	リンク ステート シーケンス (以前の、または重複した LSA を検出します)
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Length	LSA の長さ (バイト単位)
Network Mask	実行されたネットワーク マスク
TOS	ToS
Metric	リンク ステート メトリック

次に、外部リンクに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 database external

OSPFv3 Router with id(192.168.239.66) (Autonomous system 300)

      Displaying AS External Link States

LS age: 280
Options: (No TOS-capability)
LS Type: AS External Link
Link State ID: 10.105.0.0 (External Network Number)
Advertising Router: 172.16.70.6
LS Seq Number: 80000AFD
Checksum: 0xC3A
Length: 36
Network Mask: 255.255.0.0
      Metric Type: 2 (Larger than any link state path)
      TOS: 0
      Metric: 1
      Forward Address: 0.0.0.0
      External Route Tag: 0
```

表 1-44 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-44 show ospfv3 database external フィールドの説明

フィールド	説明
OSPFv3 Router with id	ルータ ID 番号
Autonomous system	OSPFv3 AS 番号 (OSPFv3 プロセス ID)
LS age	リンク ステート経過時間
Options	サービス オプションのタイプ (タイプ 0 のみ)
LS Type	リンク ステート タイプ
Link State ID	リンク ステート ID (外部ネットワーク番号)
Advertising Router	アドバタイズするルータの ID
LS Seq Number	リンク ステート シーケンス番号 (以前の、または重複した LSA を検出します)

表 1-44 show ospfv3 database external フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Length	LSA の長さ (バイト単位)
Network Mask	実行されたネットワーク マスク
Metric Type	外部タイプ
TOS	ToS
Metric	リンク ステート メトリック
Forward Address	転送アドレス。アドバタイズされた宛先へのデータ トラフィックは、このアドレスに転送されます。転送アドレスが 0.0.0.0 に設定されている場合は、代わりに、データ トラフィックがアドバタイズメントの送信元に転送されます。
External Route Tag	外部ルート タグ。外部ルートごとに付加された 32 ビットのフィールド。このフィールドは、OSPFv3 プロトコルには使用されません。

次に、OSPFv3 データベースのサマリーを表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 database database-summary
```

```
OSPFv3 Router with ID (100.0.0.1) (Process ID 1)
```

```
Area 0 database summary
```

LSA Type	Count	Delete	Maxage
Router	3	0	0
Network	0	0	0
Summary Net	0	0	0
Summary ASBR	0	0	0
Type-7 Ext	0	0	0
Self-originated Type-7	0		
Opaque Link	0	0	0
Opaque Area	0	0	0
Subtotal	3	0	0

```
Process 1 database summary
```

LSA Type	Count	Delete	Maxage
Router	3	0	0
Network	0	0	0
Summary Net	0	0	0
Summary ASBR	0	0	0
Type-7 Ext	0	0	0
Opaque Link	0	0	0
Opaque Area	0	0	0
Type-5 Ext	0	0	0
Self-originated Type-5	200		
Opaque AS	0	0	0
Total	203	0	0

表 1-45 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-45 show ospfv3 database database-summary フィールドの説明**

フィールド	説明
Area 0 database summary	エリア番号
Count	最初のカラムで特定されたタイプの LSA の数
Router	エリアのルータ LSA の数
Network	エリアのネットワーク LSA の数
Summary Net	エリアの要約 LSA の数
Summary ASBR	エリアの要約 ASBR LSA の数
Type-7 Ext	タイプ 7 LSA の数
Self-originated Type-7	自動送信タイプ 7 LSA
Opaque Link	タイプ 9 LSA の数
Opaque Area	タイプ 10 LSA の数
Subtotal	エリアの LSA の合計
Delete	エリア内で「Deleted」とマークされた LSA の数
Maxage	エリア内で「Maxaged」とマークされた LSA の数
Process 1 database summary	プロセスのデータベース サマリー
Count	最初のカラムで特定されたタイプの LSA の数
Router	プロセスのルータ LSA の数
Network	プロセスのネットワーク LSA の数
Summary Net	プロセスのサマリー LSA の数
Summary ASBR	プロセスの要約 ASBR LSA の数
Type-7 Ext	タイプ 7 LSA の数
Opaque Link	タイプ 9 LSA の数
Opaque Area	タイプ 10 LSA の数
Type-5 Ext	タイプ 5 LSA の数
Self-Originated Type-5	自動送信タイプ 5 LSA の数
Opaque AS	タイプ 11 LSA の数
Total	プロセスの LSA の合計

# show ospfv3 interface

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) 関連のインターフェイス情報を表示するには、**show ospfv3 interface** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 interface [instance-tag] [interface-type interface-number] [brief] [vrf
vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。 <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	(任意) インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<b>brief</b>	(任意) ルータ上の OSPFv3 インターフェイス、ステート、アドレス、マスク、およびエリアの概要情報を表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

インターフェイスの OSPFv3 ステータスを表示するには、**show ospfv3 interface** コマンドを使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、インターフェイス Ethernet 1/2 の OSPFv3 情報を表示する例を示します。

```
switch# show ospfv3 interface ethernet 1/2
Ethernet1/2 is up, line protocol is up
  IP address 192.0.2.1, Process ID 201 vrf default, area 10
  IPv6 address 2001:0DB8::1
```

## show ospfv3 interface

```

Process ID sd vrf default, Instance ID 0, area 0
State DOWN, Network type P2P, cost 65535
Index 1, Transmit delay 1 sec
0 Neighbors, flooding to 0, adjacent with 0
Timer intervals: Hello 10, Dead 40, Wait 40, Retransmit 5
Number of link LSAs: 0, checksum sum 0

```

表 1-46 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-46 show ospfv3 interface フィールドの説明

フィールド	説明
Ethernet	プロトコルの物理リンクのステータスおよび動作ステータス
IPv6 Address	インターフェイス IPv6 アドレス
vrf	VRF インスタンス
Transmit Delay	転送遅延、インターフェイス ステート、およびルータ プライオリティ
designated router	代表ルータ ID およびインターフェイス IP アドレス
backup designated router	バックアップ代表ルータ ID およびインターフェイス IP アドレス
Timer intervals	タイマー インターバルの設定
Hello	次の hello パケットをこのインターフェイスに送信するまでの秒数



# show ospfv3 memory

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) プロトコルのメモリ使用統計情報を表示するには、**show ospfv3 memory** コマンドを使用します。

**show [ipv6] ospfv3 memory**

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードと引数はありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** すべて

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、OSPFv3 のメモリ統計情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 memory
OSPFv3 Process ID sd, Memory statistics
Process memory: 2096 KB
Byte usage:      needed 0, overhead 192, using 192 bytes
Allocations:    current 6, created 6, failed 0, free 0
Bitfields:      current 30, created 30, failed 0, free 0, using 248010 bytes
Slabs:          current 2, created 2, failed 0, free 0, using 80 bytes
Index failure:  Interface 0, Neighbor 0

Slab Memory
OSPFv3 vertex slab
Alloc 1, max allocs 1, total allocs 1, total frees 0
Total block allocs 1, total block frees 0, max blocks 1
Bytes (size/allocated) 68/69720
OSPFv3 IPv4 prefix routes slab
Alloc 0, max allocs 0, total allocs 0, total frees 0
Total block allocs 0, total block frees 0, max blocks 0
Bytes (size/allocated) 188/64
OSPFv3 router routes slab
Alloc 0, max allocs 0, total allocs 0, total frees 0
Total block allocs 0, total block frees 0, max blocks 0
Bytes (size/allocated) 100/64
OSPFv3 IPv4 next-hops slab
```

## ■ show ospfv3 memory

```
Alloc 1, max allocs 1, total allocs 1, total frees 0
Total block allocs 1, total block frees 0, max blocks 1
Bytes (size/allocated) 32/262232
```

表 1-47 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-47** show ospfv3 memory フィールドの説明

フィールド	説明

# show ospfv3 neighbors

インターフェイス単位で OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ネイバー情報を表示するには、**show ospfv3 neighbor** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] neighbors [interface-type interface-number]
[neighbor-id] [detail] [summary] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<i>area-id</i>	(任意) 特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) で指定します。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。 <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	(任意) インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<i>neighbor-id</i>	(任意) ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
<b>detail</b>	(任意) 特定のすべてのネイバーを詳細に表示します (すべてのネイバーを表示します)。
<b>summary</b>	(任意) ネイバーのサマリーを表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

この OSPFv3 インスタンスのすべての、または一部のネイバーに関する情報を表示するには、**show ospfv3 neighbors** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、ネイバー ID と一致するネイバーに関するサマリー情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 neighbors
OSPFv3 Process ID pl vrf Red
Total number of neighbors: 2
Neighbor ID      Pri State          Up Time  Interface ID  Interface
60.60.60.60     1 FULL/DR         2d03h   5             GigE2/0/5
Neighbor address fe80::0206:d6ff:fec8:a41c
60.60.60.60     1 FULL/DR         2d03h   4             GigE2/0/6
Neighbor address fe80::0206:d6ff:fec8:a408
```

表 1-48 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-48 show ospfv3 neighbors フィールドの説明

フィールド	説明
Neighbor ID	ネイバー ルータ ID
Pri State	OSPFv3 のプライオリティおよびステート
Up Time	OSPFv3 がこのネイバーとの隣接関係を確立してからの時間

# show ospfv3 policy statistics area

エリアの OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ポリシー統計情報を表示するには、**show ospfv3 policy statistics area** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] policy statistics area area id filter-list {in | out} [vrf
vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<b>area</b> <i>area-id</i>	特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号を指定します。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) で指定します。
<b>filter-list</b>	OSPFv3 エリアの間のプレフィックスをフィルタリングします。
<b>in</b>	着信ルートのポリシー統計情報を表示します。
<b>out</b>	発信ルートのポリシー統計情報を表示します。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

エリアに適用されたフィルタ リストに関する情報を表示するには、**show ospfv3 policy statistics area** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、OSPFv3 のポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ospfv3 policy statistics area
```

# show ospfv3 policy statistics redistribute

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ポリシー統計情報を表示するには、**show ospfv3 policy statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] policy statistics redistribute {bgp id | direct | isis id |
rip id | static} [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<b>bgp</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダーゲートウェイプロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
<b>direct</b>	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
<b>isis</b>	IS-IS ルーティングプロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<b>rip</b>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<b>static</b>	IP スタティックルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>id</i>	<b>bgp</b> キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。 <b>isis</b> および <b>rip</b> キーワードは、ルートの再配布元であるインスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

再配布統計情報を表示するには、**show ospfv3 policy statistics redistribute** コマンドを使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、再配布ルートのポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ospfv3 policy statistics redistribute
```

# show ospfv3 request-list

ルータが要求した、すべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) のリストを表示するには、**show ospfv3 request-list** コマンドを使用します。

**show [ipv6] ospfv3 request-list neighbor-id interface interface-number**

## シンタックスの説明

<i>neighbor-id</i>	ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
<i>interface-type</i>	インターフェイス タイプ <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ルーティング動作をトラブルシューティングするには、**show ospfv3 request-list** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、ルータが要求したすべての LSA のリストを表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 request-list 40.40.40 ethernet 2/1
OSPFv3 Process ID p1
Neighbor 40.40.40.40, interface Ethernet2/1, address 192.0.2.1
1 LSAs on request-list

Type  LS ID          ADV RTR          Seq NO          Age          Checksum
  1   192.0.2.12       192.0.2.12       0x8000020D     8            0x6572
```

表 1-49 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-49** show ospfv3 request-list フィールドの説明

フィールド	説明
Type	LSA タイプ
LS ID	ネイバー ルータの IP アドレス
ADV RTR	アドバタイズ ルータの IP アドレス
Seq NO	LSA のパケット シーケンス番号
Age	LSA の経過時間 (秒単位)
Checksum	LSA のチェックサム番号



# show ospfv3 retransmission-list

ネイバーへの再送信を待機する、すべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステートアドバタズメント) のリストを表示するには、**show ospfv3 retransmission-list** コマンドを使用します。

**show [ipv6] ospfv3 retransmission-list neighbor-id interface interface-number**

## シンタックスの説明

<i>neighbor-id</i>	ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
<i>interface-type</i>	インターフェイスタイプ <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイスタイプの情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。この引数に対して使用可能なオプションに関するヘルプについては、CLI 上で ? を入力します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ルーティング動作をトラブルシューティングするには、**show ospfv3 retransmission-list** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、ネイバーへの再送信を待機するすべての LSA を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 retransmission-list 192.0.2.11 ethernet 2/1

      OSPFv3 Router with ID (192.0.2.12) (Process ID 1)

Neighbor 192.0.2.11, interface Ethernet2/1 address 209.165.201.11
Link state retransmission due in 3764 msec, Queue length 2

Type  LS ID          ADV RTR          Seq NO          Age          Checksum
  1   192.0.2.12      192.0.2.12      0x80000210      0            0xB196
```

表 1-50 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-50** show ospfv3 retransmission-list フィールドの説明

フィールド	説明
Type	LSA タイプ
LS ID	ネイバー ルータの IP アドレス
ADV RTR	アドバタイズ ルータの IP アドレス
Seq NO	LSA のパケット シーケンス番号
Age	LSA の経過時間 (秒単位)
Checksum	LSA のチェックサム番号

# show ospfv3 routes

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) トポロジ テーブルを表示するには、**show ospfv3 routes** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] routes [prefix/length | summary] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<i>prefix /length</i>	(任意) IP プレフィクス。特定のルートへの出力を制限します。スラッシュ (/) と 1 ~ 255 の数値として長さを示します。たとえば、/8 は、IP プレフィクスの最初の 8 ビットがネットワーク ビットであることを示します。
<b>summary</b>	(任意) すべてのルートのサマリーを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

OSPFv3 プライベート ルーティング テーブル (OSPFv3 によって計算されるルートのみを含む) を表示するには、**show ospfv3 routes** コマンドを使用します。ルーティング情報ベース (RIB) 内のルートに異常がある場合、ルートの OSPFv3 コピーをチェックして、RIB 内容と一致するかどうか判断してください。一致しない場合、OSPFv3 と RIB の間に同期化問題があります。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、OSPFv3 ルートを表示する例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show ospfv3 routes
OSPFv3 routing table
1111:1111::/32 (i) area 0
    via directly connected
1111:2222::/32 (i) area 1
    via directly connected
1111:4444::0001/128 (i) area 0
    via directly connected
```

```

1111:5555::/32 (i) area 0
1111:6666::/32 (i) area 1
    via directly connected
6060:6060::6060/128 (i) area 0
    via fe80::0206:d6ff:fec8:a41c/Enet2/5, cost 10
6161:6161::6161/128 (i) area 1
    via fe80::0206:d6ff:fec8:a408/Enet2/6, cost 10

```

表 1-51 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

**表 1-51** show ospfv3 route フィールドの説明

フィールド	説明
1111:1111::/32	このルートをアドバタイズしたルータのルータ ID。
via...	任意のプレフィクス宛てのパケットは、リストされたインターフェイスを介して送信されるか、このデバイスに直接接続されます。

# show ospfv3 statistics

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) Shortest Path First (SPF) 計算統計情報を表示するには、**show ospfv3 statistics** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] statistics [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	すべて
---------	-----

ユーザ ロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
---------	----------------------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** LSA に関する情報を表示するには、**show ip ospfv3 statistics** コマンドを使用します。この情報は、OSPFv3 ネットワークのメンテナンスとトラブルシューティング両方に役立ちます。たとえば、LSA フラッピングのトラブルシューティングの第一段階として **show ospfv3 statistics** コマンドを使用することを推奨します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、SPF 計算に関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 statistics
OSPFv3 Process pl vrf default, Event statistics (cleared 2w3d ago)
```

```
Router ID changes: 0
DR elections: 5
Older LSAs received: 0
Neighbor state changes: 10
Neighbor dead postponed: 0
Neighbor dead interval expirations: 0
Neighbor bad lsreqs: 0
Neighbor sequence number mismatches: 0
SPF computations: 9 full, 0 summary, 0 external
```

```
LSA Type Generated Refreshed Flushed Aged out
```

## show ospfv3 statistics

```

Router          4      202      0      0
Network         0         0      0      0
Inter-Area-Prefix 0      606      7      0
Inter-Area-Router 0         0      0      0
AS External     0         0      0      0
Link-Local      7      505      0      0
Intra-Area-Prefix 6      202      0      0
Unknown         0         0      0      0

```

Following counters can not be reset:

```

LSA deletions: 0 pending, 2 hwm, 16 deleted, 0 revived, 2 runs
Hello queue: 0/200, hwm 2, drops 0
Flood queue: 0/100, hwm 2, drops 0
LSDB additions failed: 0

```

```

Buffers:      in use      hwm permanent      alloc      free
128 bytes    0          2          1      142512    142512
512 bytes    0          2          2         779      779
1520 bytes   0          1          0         1         1
4500 bytes   0          1          1         891      891
huge         0          0          0         0         0

```

表 1-52 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-52 show ospfv3 statistics フィールドの説明

フィールド	説明
OSPFv3 process	設定内の OSPFv3 インスタンスに割り当てられた一意な値
vrf	この OSPFv3 インスタンスの VRF
DR elections	新しい代表ルータが選択された回数
Neighbor...	ネイバーの詳細
LSA Type	各タイプの LSA が送信された数

# show ospfv3 summary-address

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) インスタンスに設定されたすべてのサマリー アドレス再配布情報のリストを表示するには、**show ospfv3 summary-address** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] summary-address [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、サマリー アドレスに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 summary-address

OSPFv3 Router with ID (40.40.40.40) (Process ID p1Configured summary-address

2000::/8 Pending
6161::/16 Pending
```

表 1-53 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-53 show ospfv3 summary-address フィールドの説明

フィールド	説明
10.2.0.0/255.255.0.0	OSPFv3 プロセスのルータの IP アドレスおよびマスク
Metric -1	OSPFv3 メトリック タイプ

表 1-53 show ospfv3 summary-address フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Type 0	LSA のタイプ
Tag 0	OSPFv3 プロセス タグの ID



# show ospfv3 traffic

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) トラフィック統計情報を表示するには、**show ospfv3 traffic** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] traffic [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	instance-tag	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
	vrf vrf-name	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

デフォルト なし

コマンドモード すべて

ユーザ ロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** 1 つまたは複数の OSPFv3 インスタンスのトラフィック統計情報を表示するには、**show ospfv3 traffic** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、OSPFv3 トラフィック統計情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 traffic

OSPFv3 Process ID p1, vrf Red, Packet Counters (cleared 2w3d ago)
Total: 1690 in, 349230 out
LSU transmissions: first 100, rxmit 108, for req 16
Flooding packets output throttled (IP/tokens): 0 (0/0)
Ignored LSAs: 0, LSAs dropped during SPF: 0
LSAs dropped during graceful restart: 0
Errors: drops in      0, drops out      0, errors in      0
      errors out     0, unknown in    0, unknown out    0
      no ospfv3      0, bad version  0, bad crc        0
      dup rid       0, dup src      0, invalid src    0
      invalid dst   0, no nbr      0, passive       0
      wrong area    0, nbr changed rid/ip addr 0
      bad auth      0
```

## show ospfv3 traffic

```

          hellos      dbds      lsreqs      lsus      acks
In:      1411        70        16         136       57
Out:     348871      62         4          224       69

```

表 1-54 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-54 show ospfv3 traffic フィールドの説明

フィールド	説明
OSPFv3 Process	これらのトラフィック統計情報の OSPFv3 インスタンス タグ
vrf	この OSPFv3 インスタンスの VRF
エラー	
drops	ドロップされたパケットの数
bad version	間違ったバージョンで受信されたパケットの数
dup rid	重複したルータ ID のあるパケットの数
dup src	重複した送信元アドレスのあるパケットの数
no nbr	フル ネイバーではないルータからのパケットの数
nbr changed rid/ip addr	ネイバーの値と一致しないルータ ID/IP アドレスのペアのあるパケットの数
lsreq	タイプ LSREQ のパケットの数 (必要な LSA)
lsacks	タイプ LSACK のパケットの数 (確認応答された LSA)

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear ipv6 ospfv3 traffic</b>	OSPFv3 トラフィック統計情報をクリアします。

# show ospfv3 virtual-links

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) 仮想リンクのパラメータと現在のステータスを表示するには、**show ospfv3 virtual-links** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] virtual-links [brief] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。特定の OSPFv3 インスタンスに関する OSPFv3 情報を表示するのにこのタグを使用します。
<b>brief</b>	(任意) 設定済み仮想リンクのサマリーを表示します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

設定済み仮想リンクに関する情報を表示するには、**show ospfv3 virtual-links** コマンドを使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、仮想リンクに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 virtual-links

Virtual link 2 to router 40.40.40.40 is up
  Process ID p1 vrf default, Transit area 1, via interface Ethernet1/2, cost 10
  Transit area 33, remote addr 0::
  IPv6 address 0::
  Process ID sd vrf default, Instance ID 0, area 0
  State DOWN, Network type P2P, cost 65535
  Index 1, Transmit delay 1 sec
  0 Neighbors, flooding to 0, adjacent with 0
  Timer intervals: Hello 10, Dead 40, Wait 40, Retransmit 5
  Number of link LSAs: 0, checksum sum 0
  Adjacency Information
```

表 1-55 に、この出力で表示される重要なフィールドに関する説明を示します。

表 1-55 show ospfv3 virtual-links フィールドの説明

フィールド	説明
Virtual Link	OSPFv3 ネイバーと、そのネイバーへのリンクがアップまたはダウンであるかを示します。
vrf	この OSPFv3 インスタンスの VRF
Transit area...	仮想リンクが形成される通過エリア
via interface...	仮想リンクが形成されるインターフェイス
cost	仮想リンクによって OSPFv3 ネイバーに到達するコスト
Transmit delay	仮想リンク上の送信遅延 (秒単位)
Timer intervals...	リンク用に設定されたさまざまなタイマー インターバル
Hello timer due in 0:00:04	次の hello をネイバーから送信する時間

# show routing

ルーティング情報を表示するには、**show routing** コマンドを使用します。

**show routing** [**ip** | **ipv4** | **ipv6**] [*address* | *hostname* | *prefix* | *route-type* | **clients** | **hidden-nh** | **interface** *type number* | **next-hop** *addr* | **recursive-next-hop** [*addr*]] [**vrf** *vrf-name*]

## シンタックスの説明

<i>address</i>	(任意) IPv4 または IPv6 アドレス。IPv4 アドレスの形式は x.x.x.x です。IPv6 プレフィックスの形式は A:B::C:D です。
<i>hostname</i>	ホスト名。name は、大文字と小文字が区別される 80 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>prefix</i>	(任意) IPv4 または IPv6 プレフィックス。IPv4 プレフィックスの形式は、x.x.x.x/length です。IPv6 プレフィックスの形式は A:B::C:D/length です。
<i>route-type</i>	(任意) ルートタイプ。? を使用してタイプのリストを表示します。
<b>clients</b>	(任意) すべてのルーティングクライアントを表示します。
<b>hidden-nh</b>	(任意) 非表示になっているネクストホップ情報を表示します。
<b>interface</b> <i>type number</i>	(任意) インターフェイスのルートを表示します。? を使用してサポートされているインターフェイスを表示します。
<b>next-hop</b> <i>addr</i>	(任意) このネクストホップアドレスを持つルートを表示します。形式は x.x.x.x です。
<b>recursive</b> <b>next-hop</b> <i>addr</i>	(任意) この再帰ネクストホップアドレスのあるルートを表示します。形式は x.x.x.x です。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.1(2)	<i>hostname</i> 引数が追加されました。
4.2(1)	<b>hidden-nh</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

---

**例**

次の例では、ルート テーブルを表示します。

```
switch(config)# show ip routing
IP Route Table for VRF "default"
'*' denotes best ucast next-hop      '**' denotes best mcast next-hop
'[x/y]' denotes [preference/metric]

0.0.0.0/32, 1 ucast next-hops, 0 mcast next-hops
  *via Null0, [220/0], 00:45:24, local, discard
255.255.255.255/32, 1 ucast next-hops, 0 mcast next-hops
  *via sup-eth1, [0/0], 00:45:24, local
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>clear ip route</b>	ルート テーブルのエントリをクリアします。

---

# show routing memory estimate

ルーティングメモリ要件の見積もりを表示するには、**show routing memory estimate** コマンドを使用します。

**show routing memory estimate** *num-routes* | *next-hops* *num-hop-addresses*

## シンタックスの説明

<i>num-routes</i>	ルート数。範囲は 1000 ~ 112000 です。
<i>num-hop-addresses</i>	ルート当たりのネクストホップアドレス数。範囲は 1 ~ 16 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワークオペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show routing memory estimate** コマンドは、選択されたルート数とルート当たりのネクストホップアドレス数に必要なメモリを見積もるために使用します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、ルートテーブルを表示します。

```
switch# show routing memory estimate routes 110000 next-hops 16
Shared memory estimates:
  Current max    32 MB; 26125 routes with 16 nhs
    in-use      1 MB;   11 routes with 1 nhs (average)
  Configured max 32 MB; 26125 routes with 16 nhs
  Estimate      135 MB; 110000 routes with 16 nhs
```

# show routing-context

すべての EXEC コマンドの VRF 範囲を表示するには、**show routing-context** コマンドを使用します。

## show routing-context

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードと引数はありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC

**ユーザ ロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドにはライセンスは必要ありません。

**例** 次に、現在のルーティング コンテキストを表示する例を示します。

```
switch%management# show routing-context
Current Route Context: management
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>routing-context vrf</b>	ルーティング コンテキストを設定します。



# show routing hash

特定の送信元および宛先アドレス用に選択されたルートを表示するには、**show routing hash** コマンドを使用します。

```
show routing hash source-addr dest-addr [source-port dest-port]] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<i>source-addr</i>	送信元 IPv4 アドレス。IPv4 アドレスの形式は x.x.x.x です。
<i>dest-addr</i>	宛先 IPv4 アドレス。IPv4 アドレスの形式は x.x.x.x です。
<i>source-port</i>	(任意) 送信元ポート。有効範囲は 1 ~ 65535 です。
<i>dest-port</i>	(任意) 宛先元ポート。有効範囲は 1 ~ 65535 です。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前は、大文字と小文字が区別される 63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、10.0.0.5 から 30.0.0.2 に到達するために選択したルートを表示します。

```
switch# show routing hash 10.0.0.5 30.0.0.2
Load-share parameters used for software forwarding:
load-share mode: address source-destination port source-destination
Universal-id seed: 0xe05e2e85
Hash for VRF "default"
Hashing to path *20.0.0.2 (hash: 0x0e), for route:
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear ip route</b>	ルートテーブルのエントリをクリアします。

# show sockets client

ソケットクライアントに関する情報を表示するには、**show sockets client** コマンドを使用します。

**show sockets client [pid id] [raw | tcp | udp ] [detail]**

シンタックスの説明	pid id	(任意) 特定のプロセスのソケット クライアント情報を表示します。id の範囲は 1 ~ 65535 です。
	raw	(任意) 未加工クライアントに関する情報を表示します。
	tcp	(任意) TCP クライアントに関する情報を表示します。
	udp	(任意) UDP クライアントに関する情報を表示します。
	detail	(任意) 詳細クライアントに関する情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

ユーザ ロール  
 ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、UDP ソケット クライアント情報を表示する例を示します。

```
switch# show socket client udp
Total number of UDP clients: 8

client: syslogd, pid: 3307, sockets: 1
client: ntp, pid: 3577, sockets: 2
client: ntpd, pid: 3660, sockets: 3
client: snmpd, pid: 3579, sockets: 2
client: hsrp_engine, pid: 3786, sockets: 2
client: pim, pid: 3782, sockets: 1
client: glbp, pid: 3783, sockets: 1
client: radiusd, pid: 3572, sockets: 2
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear sockets statistics</b>	ソケット統計情報を消去します。
<b>show sockets connection</b>	ソケット接続に関する情報を表示します。
<b>show sockets statistics</b>	ソケット統計情報を表示します。

# show sockets connection

ソケット接続に関する情報を表示するには、**show sockets connection** コマンドを使用します。

**show sockets connection** [*pid id*] [*local address* | *foreign address* | *raw* | *tcp* | *udp*] [*detail*]

## シンタックスの説明

<b>pid id</b>	(任意) 特定のプロセスのソケット クライアント情報を表示します。id の範囲は 1 ~ 65535 です。
<b>local address</b>	(任意) ローカル アドレスが指定されたすべての TCP 接続に関する情報を表示します。address は IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスにできます。
<b>foreign address</b>	(任意) 外部アドレスが指定されたすべての TCP 接続に関する情報を表示します。address は IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスにできます。
<b>raw</b>	(任意) 未加工クライアントに関する情報を表示します。
<b>tcp</b>	(任意) TCP クライアントに関する情報を表示します。
<b>udp</b>	(任意) UDP クライアントに関する情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細クライアントに関する情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、TCP ソケット接続情報を表示する例を示します。

```
switch# show socketx connection tcp
Total number of tcp sockets: 10
Active connections (including servers)
Protocol State/      Recv-Q/   Local Address (port)/
          Context   Send-Q    Remote Address (port)
tcp6     LISTEN      0         *(22)
          Wildcard   0         *(*)
tcp6     LISTEN      0         *(23)
```

	Wildcard	0	* (*)
tcp	LISTEN	0	* (161)
	Wildcard	0	* (*)
tcp6	LISTEN	0	* (161)
	Wildcard	0	* (*)
tcp	LISTEN	0	* (179)
	Wildcard	0	* (*)
tcp6	LISTEN	0	* (179)
	Wildcard	0	* (*)
tcp	ESTABLISHED	0	172.28.230.85 (22)
	management	0	172.28.254.254 (1055)
tcp	ESTABLISHED	0	172.28.230.85 (22)
	management	0	172.28.254.254 (3353)
tcp	ESTABLISHED	0	172.28.230.85 (23)
	management	0	10.82.232.102 (2390)
tcp	ESTABLISHED	0	172.28.230.85 (23)
	management	4	161.44.67.127 (1242)

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear sockets statistics</b>	ソケット統計情報を消去します。
<b>show sockets client</b>	ソケット クライアントに関する情報を表示します。
<b>show sockets statistics</b>	ソケット統計情報を表示します。

# show sockets statistics

ソケット統計情報を表示するには、**show sockets statistics** コマンドを使用します。

**show sockets statistics** [**all** | **raw** | **raw6** | **rawsum** | **tcp** | **tcp6** | **tcpsum** | **udp** | **udp6** | **udpsum**]

## シンタックスの説明

<b>all</b>	(任意) すべてのソケット統計情報を表示します。
<b>raw</b>	(任意) 未加工 IPv4 プロトコル ソケット統計情報を表示します。
<b>raw6</b>	(任意) 未加工 IPv6 プロトコル ソケット統計情報を表示します。
<b>rawsum</b>	(任意) 未加工 IPv4 および IPv6 プロトコル ソケット統計情報のサマリーを表示します。
<b>tcp</b>	(任意) TCP IPv4 プロトコルに関するソケット統計情報を表示します。
<b>tcp6</b>	(任意) TCP IPv6 プロトコルに関するソケット統計情報を表示します。
<b>tcpsum</b>	(任意) TCP IPv4 および IPv6 プロトコルに関するソケット統計情報のサマリーを表示します。
<b>udp</b>	(任意) UDP IPv4 プロトコルに関するソケット統計情報を表示します。
<b>udp6</b>	(任意) UDP IPv6 プロトコルに関するソケット統計情報を表示します。
<b>udpsum</b>	(任意) UDP IPv4 および IPv6 プロトコルに関するソケット統計情報のサマリーを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、TCP ソケット統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show sockets statistics tcp
TCP v4 Received:
    36490 packets total
    0 checksum error, 0 bad offset, 0 too short, 0 MD5 error
```

```
18711 packets (950071 bytes) in sequence
2 duplicate packets (136 bytes)
0 partially dup packets (0 bytes)
1 out-of-order packets (0 bytes)
0 packets (0 bytes) with data after window
0 packets after close
0 window probe packets, 0 window update packets
17 duplicate ack packets, 0 ack packets with unsent data
26130 ack packets (8137813 bytes)
TCP v4 Sent:
44602 total, 0 urgent packets
6 control packets
43908 data packets (8137790 bytes)
0 data packets (0 bytes) retransmitted
688 ack only packets
0 window probe packets, 0 window update packets
TCP v4:
0 connections initiated, 21 connections accepted, 21 connections established
18 connections closed (including 11 dropped, 0 embryonic dropped)
0 total rxmt timeout, 0 connections dropped in rxmt timeout
12 keepalive timeout, 12 keepalive probe, 0 connections dropped in keepalive
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>clear sockets statistics</b>	ソケット統計情報を消去します。
<b>show sockets client</b>	ソケット クライアントに関する情報を表示します。
<b>show sockets connection</b>	ソケット接続に関する情報を表示します。

# show track

オブジェクト トラッキングに関する情報を表示するには、**show track** コマンドを使用します。

```
show track [object-id] [interface | {ip | ipv6} route] [brief]
```

## シンタックスの説明

<i>object-id</i>	(任意) トラッキング ID。範囲は 1 ~ 500 です。
<b>interface</b>	(任意) 追跡対象インターフェイスに関する情報を表示します。
<b>ip route</b>	(任意) 追跡対象 IP ルートに関する情報を表示します。
<b>ipv6 route</b>	(任意) 追跡対象 IPv6 ルートに関する情報を表示します。
<b>brief</b>	(任意) 追跡対象オブジェクトに関する簡単な情報を表示します。

## デフォルト

すべての追跡対象オブジェクトに関する情報を表示します。

## コマンド モード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	<b>ipv6</b> キーワードが追加されました。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、追跡対象インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show track interface
Track 1
  Interface Ethernet1/2 IP Routing
  IP Routing is DOWN
  1 changes, last change 00:35:14

Track 2
  Interface Ethernet2/2 Line Protocol
  Line Protocol is DOWN
  1 changes, last change 00:33:55

Track 4
  Interface Ethernet2/45 IP Routing
  IP Routing is DOWN
  1 changes, last change 00:17:03
```



```
Track 6
  Interface Ethernet2/34 Line Protocol
  Line Protocol is DOWN
  1 changes, last change 00:15:12
```

次に、追跡対象 IP ルートに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show track ip route
Track 3
  IP Route 10.10.10.0/8 Reachability
  Reachability is DOWN
  1 changes, last change 00:22:09
```

次に、追跡対象オブジェクトに関する簡単な情報を表示する例を示します。

```
switch# show track brief
Track Type      Instance          Parameter         State  Last Change
1      Interface    Ethernet1/2      IP Routing       DOWN   00:36:42
2      Interface    Ethernet2/2      Line Protocol    DOWN   00:35:22
3      IP Route      10.10.10.0/8    Reachability     DOWN   00:22:47
4      Interface    Ethernet2/45    IP Routing       DOWN   00:18:31
6      Interface    Ethernet2/34    Line Protocol    DOWN   00:16:40
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>track interface</b>	インターフェイスのステータスを追跡します。
<b>track ip route</b>	IP ルートのステータスを追跡します。
<b>track ipv6 route</b>	IPv6 ルートのステータスを追跡します。

# show vrrp

Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP; 仮想ルータ冗長プロトコル) に関する情報を表示するには、**show vrrp** コマンドを使用します。

```
show vrrp [detail | statistics | summary] [interface if-number] [vr id] [master | backup |
init]
```

## シンタックスの説明

<b>detail</b>	(任意) VRRP に関する詳細情報を表示します。
<b>statistics</b>	(任意) VRRP 統計情報を表示します。
<b>summary</b>	(任意) VRRP サマリーを表示します。
<b>interface <i>if-number</i></b>	(任意) インターフェイス上の VRRP に関する情報を表示します。? を使用してサポートされているインターフェイスのリストを表示します。
<b>vr <i>id</i></b>	(任意) グループの VRRP に関する情報を表示します。 <i>id</i> の範囲は 1 ~ 255 です。
<b>master</b>	(任意) マスター ステートの VRRP グループに関する情報を表示します。
<b>backup</b>	(任意) バックアップ ステートの VRRP グループに関する情報を表示します。
<b>init</b>	(任意) 初期ステートの VRRP グループに関する情報を表示します。

## デフォルト

すべての VRRP グループに関する情報を表示します。

## コマンドモード

すべて

## ユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
5.0(2)	<b>summary</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

## 例

次に、VRRP に関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show vrrp
      Interface  VR IpVersion Pri    Time Pre State  VR IP addr
-----
      Ethernet7/45 33  IPV4    100   1 s  Y   Init
      Ethernet7/45 99  IPV4    100   1 s  Y   Init
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>feature vrrp</code>	VRRP 機能をイネーブルにします。
<code>clear vrrp</code>	VRRP 統計情報を消去します。

